

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和60年度

京 都 市 文 化 観 光 局
財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

序

多数の文化財と優れた伝統文化の継承に幾多の労をついやしている歴史都市「京都」は、より活力ある豊かな近代都市建設にむかって発展の取り組みを強めているところであり、更に平安建都1200年の歴史的節目を8年後に迎えようとしております。

この平安建都1200年記念事業並びに21世紀の理想のまちづくり計画は、都市の優れた伝統のうえに新しい創造を加えるもので、市民が一体となって取り組んでいるところです。

しかしながら、まちづくりの基幹としての「都市建設事業」は、歴史的文化遺産の保存と継承に大きな影響を与えるもので、本市では埋蔵文化財の保存については、市民の理解と協力を得て行っており、また保存し難い遺跡の調査についても市民の協力を得ているものです。

この調査概報は、昭和60年度国庫補助事業として実施した試掘・立会調査の概要をまとめたものであり、本書が埋蔵文化財の研究に、また有用な資料としてご活用いただければ幸いです。

本調査の実施にあたり調査を受託された財団法人京都市埋蔵文化財研究所、及び御指導いただいた文化庁をはじめ御協力いただいた関係各位、並びに市民のみなさまに心から感謝の意を表します。

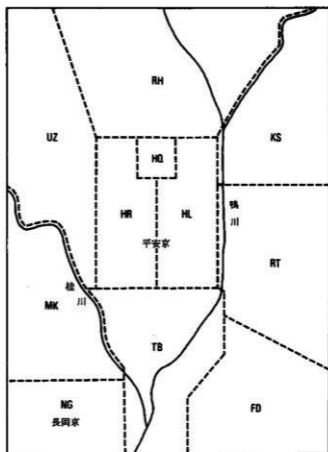
昭和61年3月

京都市文化観光局

例 言

1. 本書は京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う昭和60年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。
2. 本書の執筆分担は次の通りである。
Ⅰ・Ⅳ 家崎孝治 Ⅱ 長宗繁一 Ⅲ 梅川光隆 Ⅴ 鈴木廣司 Ⅵ 平尾政幸・家崎 Ⅶ 辻 純一 Ⅷ 野村篤美・家崎 K 加納敬二・辻 裕司
3. 写真は遺構の一部を除き牛嶋 茂が担当した。
4. 本書に使用した遺跡、遺構の記号は奈良国立文化財研究所の使用例に従った。
5. 位置の記載は平面直角座標系Ⅵによる。京都市遺跡測量記準点を使用し、記載した数値はX、Yともm単位で、水準はT・Pである。
6. 本書作成にあたっては、大槻明義、児玉光世、近藤章子、卜田健二、野村篤美、端美和子、尾藤徳行、松尾雅章、山形頼子、吉本健吾、竜子正彦が参加した。
7. 本書に掲載した地図は、京都市都市計画局の地図を調整し、以下のごとく使用した。
平安宮跡 図版2 8000分の1（京都市都市計画局発行 聚楽廻、壬生各2500分の1）
平安京跡 図版3～12 10000分の1（同上、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、烏原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅各2500分の1）
植物園北遺跡、中臣遺跡、白河街区、岡崎遺跡 図版13 10000分の1（同上、幡枝植物園、山科、勤修寺、御所、吉田、三条大橋、岡崎各2500分の1）
烏羽離宮跡、下烏羽遺跡 図版14 10000分の1（同上、城南宮、下烏羽各2500分の1）
中久世遺跡、大藪遺跡、長岡京跡、東土川遺跡 図版15 10000分の1（同上、寺戸、久世、向日町、久我各2500分の1）
大原野南春日町遺跡 図版16・17 5000分の1（同上、大原野、岡新田各2500分の1）
長岡京跡・東土川遺跡 図4 5000分の1（同上、久世、久我2500分の1）
東衣手町遺跡 図5 5000分の1（同上、上桂2500分の1）
長岡京跡 図9 5000分の1（同上、羽東節各2500分の1）
栗栖野瓦窯跡 図12 2500分の1（同上、幡枝2500分の1）
北野庵寺跡 図17 5000分の1（同上、花園2500分の1）
室町殿跡 図21 5000分の1（同上、相国寺2500分の1）

地区設定図



目 次

I 調査概要	1	VI 北野庵寺跡 (RH36)	25
II 長岡京跡・東土川遺跡 (NG3)	3	1 調査経過	25
1 調査経過	3	2 遺構	25
2 遺構	3	3 遺物	26
3 遺物	5	4 まとめ	29
4 まとめ	8	VII 室町殿跡 (RH18)	30
III 東衣手町遺跡 (UZ20)	13	1 調査経過	30
1 調査経過	13	2 遺構・遺物	30
2 遺構	13	3 まとめ	30
3 遺物	14	VIII 主要な出土遺物	32
4 まとめ	16	1 平安京左京二条二坊 (HL99)	32
IV 長岡京跡 (NG4)	17	2 平安京左京四条三坊 (HL125)	34
1 調査経過	17	3 平安京左京五条三坊 (HL159)	36
2 遺構	18	4 平安京出土の軒瓦	40
3 遺物	18	IX 大原野南春日町遺跡	43
4 まとめ	19	1 調査経過	43
V 栗栖野瓦窯跡 (RH11)	21	2 遺構	43
1 調査経過	21	3 遺物	45
2 遺構	21	4 まとめ	47
3 遺物	23		
4 まとめ	24		

図版目次

- 図版1 平安京区画分割図
図版2 平安宮
図版3 右京 北辺・一・二・三条 三・四坊
図版4 右京 北辺・一・二・三条 一・二坊

- 図版5 左京 北辺・一・二・三条 一・二坊
- 図版6 左京 北辺・一・二・三条 三・四坊
- 図版7 右京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版8 右京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版9 左京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版10 左京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版11 右京 八・九条 三・四坊。左京 八・九条 一・二坊
- 図版12 左京 八・九条 三・四坊。右京 八・九条 一・二坊
- 図版13 植物園北遺跡 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡
- 図版14 鳥羽離宮跡 下鳥羽遺跡
- 図版15 中久世遺跡 大藪遺跡 長岡京跡 東土川遺跡
- 図版16 大原野南春日町遺跡
- 図版17 大原野南春日町遺跡
- 図版18 遺物 大原野南春日町遺跡
- 図版19 遺跡 長岡京跡・東土川遺跡(NG3)
- 図版20 遺跡 東衣手町遺跡(UZ20)
- 図版21 遺跡 長岡京跡(NG3)
- 図版22 遺跡 栗栖野瓦窯跡(RH11)・北野麩寺跡(RH36)
- 図版23 遺跡 室町殿跡(RH18)
- 図版24 遺跡 大原野南春日町遺跡
- 図版25 遺跡 大原野南春日町遺跡
- 図版26 遺跡 大原野南春日町遺跡
- 図版27 遺物 長岡京跡・東土川遺跡(NG3)
- 図版28 遺物 長岡京跡・東土川遺跡(NG3)
- 図版29 遺物 東衣手町遺跡(UZ20)・栗栖野瓦窯跡(RH11)
- 図版30 遺物 栗栖野瓦窯跡(RH11)
- 図版31 遺物 北野麩寺跡(RH36)
- 図版32 遺物 平安京左京四條三坊(HL125)
- 図版33 遺物 平安京左京五條三坊(HL159)・平安京出土軒瓦
- 図版34 遺物 平安京出土軒瓦

図版35 遺物 大原野南春日町遺跡

図版36 遺物 大原野南春日町遺跡

挿 図 目 次

図1 調査遺構図	4	図16 遺物実測図	23
図2 SD1・SD6 遺物実測図	6	図17 調査位置図	25
図3 SD6 遺物実測図	7	図18 調査区位置図	26
図4 東土川遺跡関連調査位置図	9	図19 SX4 北壁断面図	26
図5 調査位置図	13	図20 SX4 出土遺物実測図	28
図6 調査地付近地形測量図	14	図21 調査位置図	30
図7 遺構実測図	15	図22 遺構平面図	31
図8 棺材実測図	16	図23 遺物実測図	33
図9 調査位置図	17	図24 遺物実測図	35
図10 遺構実測図	18	図25 遺物実測図	37
図11 遺構配置図	20	図26 遺物実測図	38
図12 調査位置図	21	図27 遺物実測図	39
図13 調査区平面図	22	図28 軒瓦拓影・実測図	41
図14 13号竈断面図	22	図29 竪穴住居址実測図	44
図15 A区北壁断面図	23	図30 竪穴住居址出土土師器	45

表 目 次

表1 調査一覧表	10
表2 東三坊大路東側溝検出位置	11
表3 SX4 出土遺物破片数量表	29
表4 試掘調査地点一覧表	48
表5 調査一覧表	53

I 調査概要

本報告では、昭和60年1月4日より昭和60年12月28日までの間に実施した試掘・立会調査の概要を報告する。

調査件数は、試掘調査が145件、立会調査が846件の計991件である。その内訳は、平安宮(HQ)地区99(内試掘19)件、平安京右京(HR)地区215(同29)件、平安京左京(HL)地区336(同26)件、太秦(UZ)地区27(同5)件、洛北(RH)地区43(同4)件、北白川(KS)地区38(同5)件、洛東(RT)地区87(同13)件、伏見・醍醐(FD)地区45(同6)件、鳥羽(TB)地区61(同25)件、南・桂(MK)地区11(同4)件、長岡京(NG)地区29(同9)件である。以上のなかで、特に遺跡の保存状態が良好な16件については発掘調査に切り換えた。以下、本年度の試掘・立会調査で知り得た新たな成果について、平安宮・京城と京城外とに分けて概説する。

平安宮・京城地区 平安宮内においてはまず朝堂院北廊基壇の発見(HQ25)が挙げられる。北隣接地(昭和59年2月発掘調査済)の成果と合わせて朝堂院の北回廊は幅12mの基壇をもつものと判明した。今ひとつの大きな発見は、大極殿の東軒廊基壇の検出(HQ58)がある。発掘調査に切り換えられたのち、基壇化柱石の抜き取り跡が溝状に検出された。中和院の調査(HQ75)では、掘り込み地梁の版築遺構を検出した。該地は中和院の正庁神嘉殿付近に推定される。また、59年度の調査(HQ83)ではあるが、平安宮の西限壁を検出し、発掘調査に切り換えられたのち、平安時代中～後期にわたる数条の障跡が発見された。

次に平安京城において得られた成果のうち、まず条坊遺構の主なものは、右京三条二坊五町の試掘調査(59年度HR149)における跡小路路面及び南側溝の検出がある。また左京三条二坊九町の試掘調査(HL87)では、二条大路の路面を検出、左京八条三坊七町の試掘調査(HL18)では八条坊門小路の路面を検出し、いずれも発掘調査に切り換えた。条坊遺構以外のものとしては、左京八条二坊九町の試掘調査(HL76)で、平安時代前期から室町時代の良好な遺構・遺物を検出、左京四条四坊五町の試掘調査(HL269)では、平安時代後期から室町時代の良好な遺構を検出し、いずれも発掘調査に切り換えた。左京二条二坊九町の試掘調査(HL99)では、池状遺構を検出し平安時代前期の良好な遺物が出土した。左京四条三坊十五町(HL125)、左京五条三坊十四町(HL159)の試掘調査においては、江戸時代の陶磁器の良好な資料を得た。

平安京城外の地区 栗栖野瓦窯跡の立会調査（RH11）において、造成地法面に窯体の一部が露呈しているのを発見、またその灰原とみられる灰層より須恵器、緑釉陶器、窯道具等を検出した。植物園北遺跡の試掘調査（84年度RH31）では、弥生時代末から古墳時代前期の堅穴住居址を3戸以上検出し、発掘調査の必要性が考慮されたが、建物の基礎変更が行われ、遺跡を現状のまま保存することとなった。一乗寺向畑町遺跡の試掘調査（KS27）では、縄文時代後から平安時代中期の遺構・遺物を検出し発掘調査に切り換えた。北野鹿寺の立会調査（RH36）では、平安時代中期の良好な遺物を得た。室町殿跡の立会調査（RH18）では、庭石とみられる石3個検出し、確認調査を実施したところ庭園遺構の一部が明らかとなった。尊勝寺跡の試掘調査（KS17）では、平安時代後期の整地層を検出し発掘調査に切り換えた。鳥羽離宮跡の試掘調査（TB13、TB24、TB32）においては、庭園遺構の一部を検出しそれぞれ発掘調査に切り換えた。その一方で、鳥羽離宮跡の試掘調査（TB12）では、建物基礎の一部を検出し発掘調査の必要性が考慮されたが、業者が故意に遺跡を破壊するといった事態が生じた。長岡京跡の試掘調査（NG3）では、東三坊大路東側溝及び弥生時代後期の溝を検出、同じく長岡京跡の試掘調査（NG4）では、四条第二小路北側溝及び建物2棟以上の柱穴を検出したが、いずれも建物基礎深度が浅く、現状のまま保存することとなった。そのほかでは、今まで周知の遺跡として知られていなかった右京区西京極東衣手町において、飛鳥時代の合わせ口甕棺墓が出土し、新たな遺跡の発見となった。大原野南春日町遺跡の調査においては、奈良時代の堅穴住居址、平安時代から室町時代の土壇、柱穴、溝、井戸等を検出し、各時代にわたる遺跡分布がより明確となった。

以上が本年度における試掘・立会調査の主要な成果の概要である。それらの中で、平安宮大極殿東野鹿墓の検出は、大極殿の位置を決定づける画期的な発見となった。また、足利將軍の邸宅・通称花の御所（室町殿跡）における庭園遺構の発見は、今後周辺での調査に注意を促すものとなった。このように試掘・立会調査の成果には大きなものがあり、その置かれている立場も年を追って重要性が増し、遺跡の保存、調査研究をおし進めていく上で数多くの基礎資料を提供するものとなっている。

II 長岡京跡・東土川遺跡 (NG3)

1. 調査経過

南区久世大蔵町552番地で倉庫建設が計画され、長岡京跡および東土川遺跡に相当することから、工事に先立ち試掘調査を行うことになった。調査は昭和60年5月2日～3日に実施した。調査地は、弥生時代の東土川遺跡と長岡京跡左京南一条四坊一町の推定地である。京跡では東三坊大路東側溝と一条大路南側溝が推定される場所にも当る。したがって調査はまず東三坊大路東側溝の推定部を東西に切るように東西方向のトレンチ(幅2m×長16m)を設定し、盛土・耕土を重機にて掘り下げた。耕土下約0.7mまで掘り下げたところ、弥生土器の散布がみられ、これ以下を精査した。結果、長岡京期の遺構面は耕土面約0.4m下の灰色泥土より成立することがわかり、同期の遺構面を掘り過ぎてしまったことがわかった。遺構としては、柱穴2個、東三坊大路東側溝を検出することができた。一方弥生時代の土器片は、トレンチ全体に散布しており、特にトレンチ中央部西側と東部に主にみられた。この散布層を除去すると、溝3本を検出し各々から遺物を出土した。

上述のように長岡京期の遺構、弥生時代の土器を多量に含む溝が検出され、敷地全体の調査が必要と判断できたため各遺構の写真・実測を終了し埋め戻した。この後、本発掘調査への切り換えを要望しがかなえられなかった。

2. 遺構

まず基本層序からみると、標高13m前後に現耕土があり、これより約50cm下に長岡京期の遺構面となる灰色泥土、さらに約30cm下に弥生時代の遺構面となる灰オリーブ色泥砂、緑灰色粘土層の堆積がみられる。したがって、当地付近の長岡京期遺構面はT. P12.5m、弥生時代遺構面はT. P12.2m前後に位置することがわかった。

検出した遺構には長岡京期・弥生時代後期のものがあり、他には認められなかった。以下各期について述べる。

長岡京期 当期の遺構としては、SD1、Pit2・3がある。SD1は東三坊大路東側溝に比定される溝で、幅1.2m深さ0.5mを測る(座標X=-117,027、Y=-25,231)。Pit2・3は同規模の東西に並ぶ柱穴で、掘形は一辺1.1m深さ0.5mを測る規模の大きい柱穴である。心々間は約4.7mを測る。おそらくは、南北棟の建物跡で梁間の柱穴一列を検出し

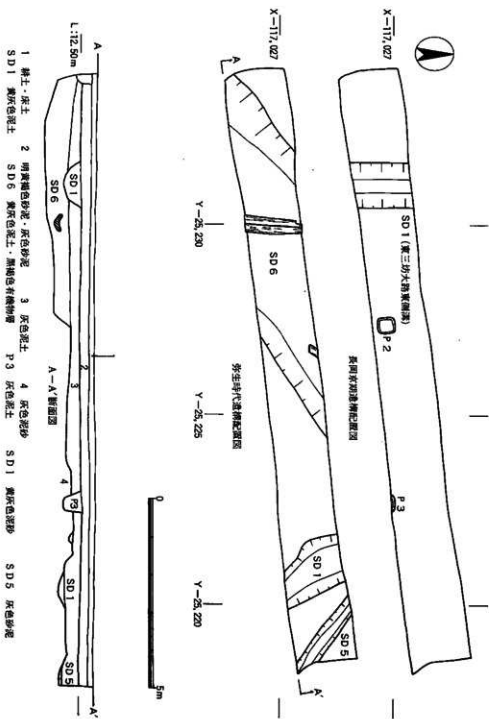


图 1 调查遺構图 (1/100)

たものであろう。

弥生時代 遺構としては、SD1・5・6を検出した。SD1は、幅1.2m深さ0.2mを測り南東方向に走る。SD5は、幅0.5m深さ0.2mを測り、SD1と同方向に走る。このSD1・5は、自然流路と思われるが、これに直交するようにSD6が走る。トレンチ内ではどちらに流れたか判断できる状況でもないし、また溝下半は各種の大小の自然木を含む有機物層の堆積で埋まっており、流れたような状況ではない。幅3m深さ0.7mを測る。

3. 遺物

弥生時代の遺物を整理箱3箱分出土した。土器の他に石製品・木製品がある。土器の大半は、SD6から出土し、SD1上層とSD6西側部分にも散布していた。以下主要なものについて述べる。

SD1出土遺物 (図2-1~3)

壺1は黄褐色を呈し外部はタテ方向の刷毛目調整がみられる。

壺2は「受口状口縁」を持ち、口縁部には施文がなく肩部に縄描文とこの下に列点文を配すが施文状況は雑である。

壺3は「く」の字に屈折する口縁をもつ。2・3とも外面全体に煤が付着する。SD1およびこの上層で出土した土器には上述した以外に水平口縁をもつ高杯、「受口状口縁」をもち口縁部に列点文を配した壺などがある。

SD6出土遺物 (図2-4~9、図3)

SD6からは半完形に近い個体が良好な状態で出土した。特に下層の有機物層からの出土遺物は保存状態が良かった。この有機物層から長方形の穴をもつ板状木製品が出土した。さらに大小の自然木片が大量に堆積していた。

壺4は口縁部が剝離し接合方法がよく観察できる。体部は中位下半が火を受けたらしく破損し明確に接合できていない。体部外面は丁寧なタテ方向の磨きを底部まで施す。内面は刷毛目調整し、肩部に輪積み痕が残る。

壺5は他の土器が褐色系を呈すのに対しうすい橙色を呈し、大粒の白色砂粒を含む。外面は摩滅し調整は明確でないがわずかに刷毛目が残る。

壺6は長頸壺で口縁部が欠損している。外面は刷毛目調整し頸部外面にヘラ記号を刻む。内面体部下半と上半とが明確に異なり、下半が刷毛目調整するのに対し上半は輪積み痕を残す指オサエのみで終っている。

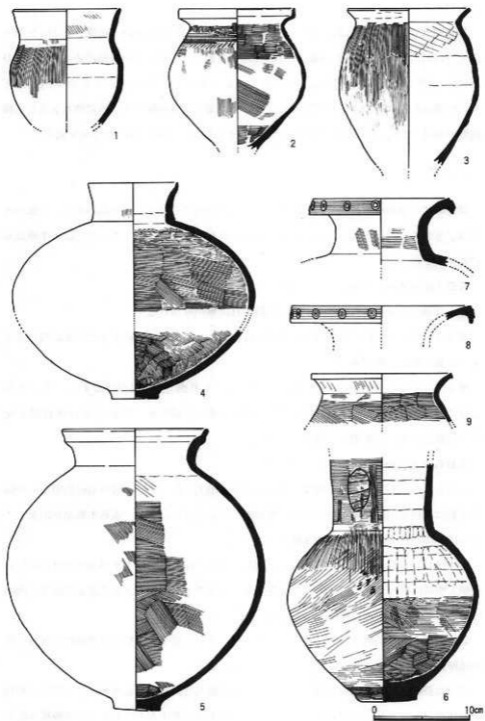


图2 SD1 (1~3) SD6 (4~9) 遗物实测图(1/4)

壺7・8は口縁端部に円形浮文を貼り付ける。

壺9は口縁端部に平坦面をもつ。体部内外面とも刷毛目調整されている。

壺10は3と同型で体部内面下半はオサエのみで同じだが、上半は10が横撫でで仕上げるのに対し、3は肩部をヘラ削りしている。外面には煤が付着する。

壺11は「受口状口縁」をもつ。口縁部外面に列点文、肩部に櫛描文と列点文を施す。体部外面は、底部近くにタタキ痕が残り、一部中位にもタタキ痕が残るが、全体にタテ方向の刷毛目で調整されている。外面全体に煤が付着する。

壺12も「受口状口縁」をもつもので、施文が一部異なり、口縁外面下端にヘラによる刻

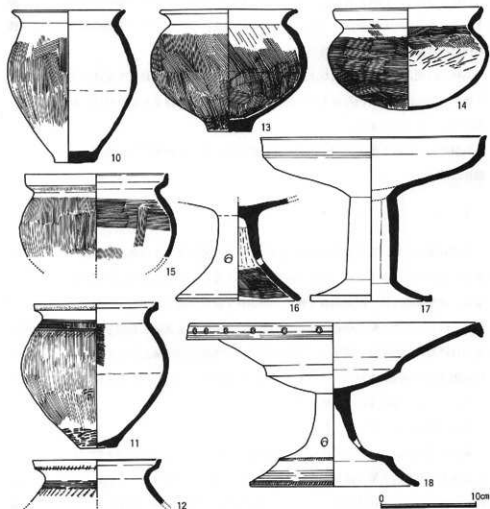


図3 SD6遺物実測図(1/4)

目文を施す。

鉢には13・14・15があるが、各々特徴がある。13は「く」の字状に外反する口縁をもち、平底で体部外面底部近くにタタキ痕が残る。14は明確な平底をもたず、口縁は外傾させさらにつまみあげ丸くおさめている。体部内面中位に削りと思われる痕跡がある。13・14とも外面全体に煤が付着する。15は受け口状に口縁をつくり、体部外面はタテ方向の刷毛目で調整している。

高杯16は裾部に3個の円孔をもち、タテ方向の丁寧なヘラ磨きを施す。脚台内面にはシボリ目を残す。

高杯17は非常に焼成が良好で、直立する口縁、やや膨れする円筒状の脚台をもつ。脚と杯との接合は平板充填法による。外面は口縁部を除き、密にタテ方向の磨きを施す。脚台内面には粘土板のつなぎ目痕がそのまま残る。

高杯18は類例を見ない特異な土器である。17とともに焼成が良好で全体に密にヘラ磨きを施す。脚には3個の円孔をもつ。施文は口縁端部に円形浮文を貼り付け、裾部上端と下端に刻目文を丁寧に施す。

石製品 SD6上層より扁平片刃石斧の破片と、SD6西側部の包含層より石庖丁の小破片が出土している。

4. まとめ

当調査地は、桂川右岸沖積平野に位置している。最近まで水田地帯の景観を保っていたが、市街化の波が押し寄せ、住宅・商業区域へと変化してきている。付近の既往調査としては、発掘調査4件、試掘調査6件、立会調査7件が実施されている。左京第63次調査で付近では初めて弥生時代中期の遺物を出土し、一帯に弥生遺跡が想定され「東土川遺跡」と名付けた。長岡京跡に関係する遺構の検出は発掘調査では確認されていないが、わずかに試掘調査（今回調査地のすぐ北側で実施された82NG-14）で柱穴を検出するにとどまっている。以下遺跡別にまとめて説明する。

東土川遺跡について

東土川遺跡の範囲についてはいまだ明確になっていない。当初範囲と推定した西方にも立会調査の結果包含層や遺構が発見され西へ拡大する必要があることがわかった。さらに向日市内の左京第36次調査地でも川跡の発見があり土器を多量に出土している。当初は東土川遺跡とは別のものとしてとらえ、向日市遺跡地図では「東土川西遺跡」と名付けられ



図4 東土川遺跡関連調査位置図(1/5000)

調査番号	種別	調査概要	
左京36次	発掘調査	長岡京期建物跡、弥生時代中～後期流路、縄文時代晩期土器	註4
◦ 50B次(80NG-AY)	◦	中世の溝跡、弥生土器1片出土	註5
◦ 63次(80NG-XA)	◦	弥生土器出土、流路からも他の時期の遺物とともに弥生土器出土	註6
◦ 139次(85NG-SD6)	◦	長岡京期建物跡・南一条第二小路、弥生土器はなし。	註7
82NG-3	立会調査	盛土のみの掘削のため未確認	註8
◦ -9	◦	弥生中～後期の溝・土壇・柱穴・土器多量出土	註9
◦ -11	試掘調査	表土下2.1mにて長岡京期の包含層	◦
◦ -14	◦	長岡京期と思われる柱穴2、溝跡、弥生時代包含層確認	◦
◦ -15	立会調査	遺構・遺物の検出なし	◦
83NG-3	◦	長岡京期溝・柱穴、弥生時代の土壇を検出。	註10
◦ -9	試掘調査	中世の柱穴を確認	◦
◦ -19	◦	弥生～古墳前期の溝を検出。	◦
84NG-10	◦	彌生時代溝跡を検出。	註11
◦ -12	◦	時期不明の包含層	◦
◦ -13	立会調査	盛土のみ。	◦
82-立会調査	◦	上水道管布設に伴う広域立会で弥生～古墳時代の遺構・遺物を確認	註12
85NG-31	◦	弥生時代の溝・土壇・住居址状の露込みを確認	註13

表1 調査地一覧表(番号は図4と同一)

ている。しかし出土する遺物は、弥生時代中～後期を中心としたもので、上述したように東土川遺跡の調査内容と変えることはないし、さらに当遺跡が西に延びることが確実となつたいま、「東土川西遺跡」と「東土川遺跡」は同一の遺跡と考えたい。こうした時、この遺跡の立地は、向日市物集女から南東方向に流れていた旧西羽東部川の水系に沿って集落が点在していたものと考えられる。現西羽東部川は東土川で南流するが、久我御旅町の西部水田地帯に今も残る南東方向に向く畦畔・水路のみだれが旧水系の残りであろう。したがって当遺跡の範囲はこの水系に沿うことになる。表1が示すように現在までに確認された地点を図に記し、範囲を推定すると図4のようになる。北西方向の限界は向日市の調査から国道171号線のあたりと推定されるが、南東方向への拡がりには名神高速道路以南の調査がなく不明である。

出土土器について

桂川右岸旧乙訓郡域内での後期遺跡および出土遺物、さらに土器編年については種々の調査例・報告がある。他の弥生時代の遺跡と比し後期の遺跡は増大しているものの土器編年については後期全体を見渡すまでにはいたっていない。発表されている編年試案^{註1}によると、長岡京市今里遺跡^{註2}その次に向日市中海道遺跡^{註3}の出土土器につながり庄内式へ移行することがわかる。当調査出土土器は今里遺跡出土土器群と類似する点もあるが、古い様相をもつものと新しい様相をもつものが見られ、溝の規模も大きく注意を要するが全体的には弥生時代後期の土器群と言える。

長岡京東三坊大路について

当研究所の既往調査例で最も検出例の多い条坊制遺構が東三坊大路である。その個所は四条区で2個所、三条区で2個所、二条区で1個所の計5個所を数える。最も南に位置するものは、四条三坊三町で東側溝を、最も北に位置するのが今回の試掘調査の東側溝である。この間の距離は、約1.9kmを測る。各々とも東側溝を検出しており、この位置関係を表2に示す。

調査NO.	座標 X (第6系) (-)	Y (-)	X 差	Y 差		備 考
85BB-NG3 (試掘調査)	117,027.0	25,231.0	1879.33	+1.93		当報告
85NG-KS (左京133次)	117,915.0	25,229.2	991.33	+0.13		西側溝(X=-117,915・Y=-25,253.5)も検出。溝心々間は24.3mを測る。(註14)
83NG-SD (左京104次)	118,195.4	25,228.45	710.93	-0.62		西側溝(X=-118,160.0・Y=-25,253.24)も検出。溝心々間は24.8mを測る。(註15)
82NG-BA (左京99次)	118,828.0	25,228.5	78.33	-0.57		西側溝(X=-118,828.0・Y=-25,253.0)も検出。溝心々間は24.5mを測る。(註16)
81NG-PV (左京59次)	118,906.33	25,229.07	0	0		外環状線内調査(D・E区)。西側溝は平安時代流路で削平。(註17)

表2 東三坊大路東側溝検出位置(北から南の順へ示す)

この表のY差で見ると、81NG-PV東側溝中心点を0として各々の溝中心点との差は、約700m北の83NG-SDの溝までわずかに東偏しながら続くことがわかる。これに反し、これより以北では、逆にかなり西偏することがわかる。したがって東側溝のみでこの大路を論じれば曲折することになるが、実際は備考の中で示すように各々検出地で道路巾が少しづつではあるが異なることが普通の現象としてみられるので注意を要する。

長岡京の造営尺・振れについては、現在までに検出された遺構から、五条大路以南の東西路について問題は残るものの、平均された数値を得ることができている^{註18}。これによると、造営尺は29.60cm、振れはNO°3'25"Eの数値を出している。この数値はあくまで平均されたもので、表2に示すように一本の側溝のみで追うとある区間では東偏し、ある区間では西偏する結果をもたらす。これが全体の条坊の中で考慮して特異なものであるのか、普通の現象なのか、さらにまた造営時の測量技術・施工誤差、さらには我々が考えている別途の造営プランがあるのか解決すべき問題は多く、今後も資料の増加と検討が必要である。

- 注1 岩崎 誠「長岡京市内の資料による〔編年試案〕」『埋蔵文化財研究会第15回研究集会・資料』1984. 1. 21
 岩崎 誠「桂川右岸の弥生遺跡」『長岡京』第29号 1983 長岡京跡発掘調査研究所ニュース
- 注2 吉岡博之・高橋美久二他「長岡京跡昭和53年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報』1979 京都府教育委員会
- 注3 高橋美久二・金村允人・森毅「中海遺跡発掘調査報告」『向日市埋蔵文化財調査報告書』第3集 1979 向日市教育委員会・長岡京跡発掘調査研究所
- 注4 竹原一彦「長岡京跡左京第36次発掘調査略報」『長岡京』第18号 1980 長岡京跡発掘調査研究所ニュース
- 注5 菅田 薫『長岡京跡発掘調査概要』昭和55年度 京都市埋蔵文化財調査センター・(財)京都市埋蔵文化財研究所
- 注6 (財)京都市埋蔵文化財研究所が、1979. 11に発掘調査を実施、未報告
- 注7 本報告執筆中に、(財)京都市埋蔵文化財研究所が西羽東筋川河川改修に伴う発掘調査を実施中で今年度調査区のうち、北寄り約100mの区間では弥生時代の遺物は出土していない。
- 注8-1 『京都市遺跡試掘立会調査概報』昭和57年度 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所
 -2 『京都市埋蔵文化財調査概要』昭和57年度 (財)京都市埋蔵文化財研究所
- 注9 吉村正親「東土川遺跡(NG9)」注8-1所収
- 注10 『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和58年度 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所
- 注11 『京都市内遺跡・試掘立会調査概報』昭和59年度 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所
- 注12 加納敏二「長岡京跡・東土川遺跡」注8-2 所収
- 注13 本報告執筆中に、(財)京都市埋蔵文化財研究所が立会調査を実施した。
- 注14 1985年に、工場建設予定地内で(財)京都市埋蔵文化財研究所が発掘調査を実施した。未報告
- 注15 1983年に、西羽東筋川河川改修に伴う発掘調査を実施した。未報告
- 注16 平田 泰『長岡京』昭和58年度 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所
- 注17 吉崎・本・吉川・長宗他『長岡京跡』外環状線整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 昭和55年度 (財)京都市埋蔵文化財研究所
- 注18 内田賢二「長岡京奈坊復元のための平均計算」『長岡京』第31号 1984 長岡京跡発掘調査研究所ニュース

III 東衣手町遺跡 (UZ20)

1. 調査経過

昭和60年12月6日、右京区西京極東衣手町55に所在する尾上宅新築工事中に人骨を納めた棺が土中から発見されたとの通報を受けた。同月7日午後から墓の年代及び埋葬状況を確認し、遺物を採取することを目的として、緊急調査を行った。調査地点は新築工事中の家屋内にあり、広面積の調査は無理と判断し、埋葬墓壇を把握できる程度の狭面積を調査した。墓壇の掘り込み部位を地層で確認したのち、棺の埋納状況を記録し、棺を取り上げた。実際の調査は同月8日で完了し、同月10日、調査地点付近の地形測量を行った。

2. 遺 構

墓壇は厚さ15cmの現代層下直ちに検出された。従って、この掘り込み状況のみからは、墓の新旧を判断できなかった。



図5 調査位置図 (1/5000)

墓墳は、素手でも掘削できるような軟弱な粗砂・礫層を掘り込んでいるため、南北約1.8m、東西1.2mの平面不整な楕円形、断面摺鉢状の凹みを呈し、墳底は埋納棺の大きさとほぼ同じであった。

棺は須恵器甕2個体を合わせ口にしたもので、その軸線は北々西～南々東の方位であった。北棺が南棺よりも少し小さく、その口縁を南棺の口縁に埋め込んでいた。さらに合わせ部を別の須恵器甕腹でもって外から幾重にもしっかりと覆っていた。このため、棺内への土砂の流入は全くなかった。北棺の西側体部側面に径1cmほどの小孔を穿っていた。

人骨は、すでにほとんど採取されてしまっていた。調査時には、北棺には人骨は全く遺存せず、南棺にのみ頭骨・指骨などの残片が少量遺存していた。発見当初の状況の聞き取りでも、人骨は南棺に集中していたとのことであった。従って、遺体の上半身を南棺側に、下半身を北棺側に納れたが、北棺体側の小孔などに原因して、北棺側の遺体の腐敗・人骨の溶解がより早く進行し、ために人骨が遺存していないのであろう。

副葬品は全く遺存していなかった。

3. 遺物

棺材として用いた須恵器甕2個体は発見時の破損部分を除き完存する。南棺の内面には、

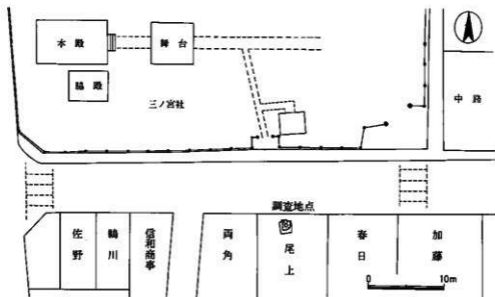


図6 調査地付近地形測量図 (1/500)

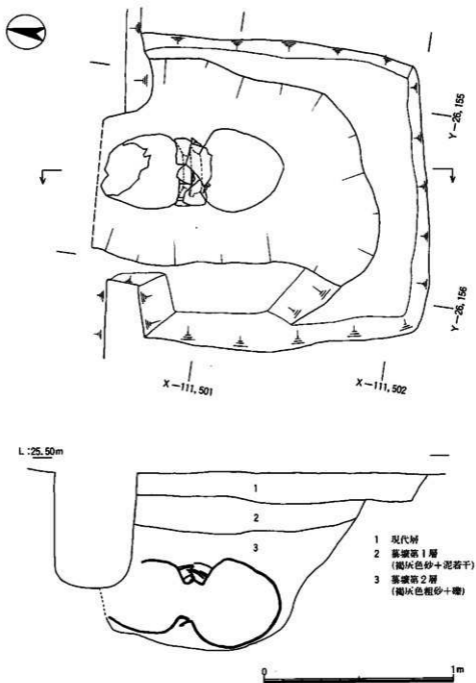


圖7 遺構實測圖(1/20)

器体成形時の当て板の痕跡が明瞭に残り、成形過程がよく分る。特に、胴上部を頸部近くまで1度叩いて成形したのち、再度胴中位に向って叩き直し、肩をはらましている状況が観察できる。

墓壇埋土から出土した須恵器杯の小片は7世紀初頭の特徴を示す。

人骨は、頭骨片の遺存が多く、縫合は未発達である。歯骨は永久歯3本のほかは乳歯である。遺体は10歳前後の小児と考えられる。

4. ま と め

尾上宅新築工事中に見えられた人骨を遺存する墓は、槨棺墓である。その埋葬時期は棺材及び墓壇埋土の土器片の特徴から判断して、7世紀初頭と見られる。棺は須恵器甕2個体を合わせ口にしたものである。



0 10 20cm

図8 棺材実測図(1/6)

IV 長岡京跡 (NG 4)

1. 調査経過

京都市伏見区羽東師菱川町189-1の田地を造成し倉庫を建築する計画がたてられた。当該地は、長岡京跡・推定左京四条三坊三町に相当し、敷地南部に四条第二小路北側溝が推定されるため、昭和60年5月9日に試掘調査を実施した。調査の対象となる面積は約453㎡であるが、試掘という制約上、四条第二小路北側溝の検出に重点を置いた。まず南北方向に幅2mのトレンチを設定し、南部から北へ向って重機により掘削を開始した。耕土下約60cmで砂礫層からなる遺構面が認められた。この深さで約8.5m掘り進んだ時点で柱穴等を検出するに至った。ここでトレンチの延長を中断し、精査に取りかかった。

その結果、トレンチ南端部で東西方向の浅い溝、これより北で柱穴7基を検出した。うち東側の南北に並ぶ柱穴は、従来の近辺の調査では類例をみない規模の掘形を持つことがわかった。これらの遺構の調査ののち、写真撮影・実測を行い試掘調査を終了した。

この成果は無視できないものと考え86BBNG3(東三坊大路東側溝・弥生土器を多量に含む溝を検出)と同様に、発掘調査への移行を要望したが、原因者側の設計変更と、調査費用が得られないことが相いまって発掘調査の実施には至らなかった。



図9 調査位置図(1/5000)

2. 遺構

基本層序は、耕土・床土直下に遺物をほとんど含まない厚さ約30cmの黄褐色泥砂がみられ、ついで褐色砂礫を主体とする長岡京期の遺構面となる。検出したすべての遺構はこの層を切り込んで成立している。周囲の状況からして、この下層には古墳時代・弥生時代の遺構・遺物が推定できるが、ここでは長岡京期の遺構を検出したこと、および試掘という性格上、下層へ掘り進むことを断念した。

溝(SD1) 幅35cm、深さ10cmの東西溝。西側は後世の掘り込みのため不明瞭になる。

柱穴(2~5) 東部がトレンチ外に延びるため全体の規模は不明であるが、1辺75~95cmの隅丸方形と考えられる。断面形は1.2mで南北に3間分検出した。2~5の柱穴はすべて炭化した木片が出土している。

柱穴(6~8) 径65~70cmの円形をなす。深さは35~40cm。柱間2.4mで、南北に2間分検出した。柱穴6には柱根が残存する。

3. 遺物

溝・各柱穴・砂礫層上面から整理箱に1箱の遺物が出土した。すべて原形を保つものもなく、ほとんどが小破片である。特に土師器では摩滅の進んでいるものが多い。

器種は土師器・須恵器に限られる。器形は土師器が皿・杯・宝珠つまみ蓋・高杯・壺お

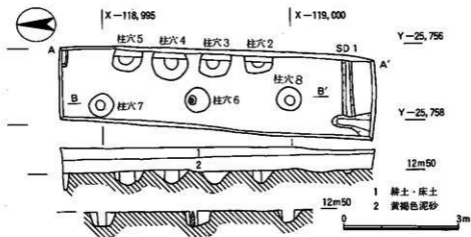


図10 遺構実測図 (1/100)

よび製塩土器が、須恵器は杯A・杯B・蓋・瓶子・丸底壺・甕がみられる。これらは、遺構面精査中に出土した10世紀代とみられる2点を除き、すべて長岡京期とみられる遺物である。いずれも長岡京域では普遍的に出土するタイプであり特異なものはない。

4. まとめ

ここでは今回の試掘調査で検出した遺構について触れておきたい。

四条第二小路

トレンチ南端部で検出した東西の浅い溝(SD1)が、四条第二小路北側溝に比定されるが明確ではない。これまでの当小路の調査は、向日市教育委員会が左京第106次調査^{註1}で検出された南・北両側溝がある。この両側溝の位置は、推定された計画心の位置に北側溝(SD10601: X=-118,996.20)がある、これより南へ8.9mで南側溝(SD10602: X=-119,005.1)が検出された。さらにこの両側溝は埋められ、道路上に建物跡・井戸跡などが検出されており、宅地斑給の変化があったとみられる。

当調査でも、第106次調査と同様に推定した道路上に建物が位置しており、このような事例が偶然にも同一小路上でみられ、しかも約530m(4町分)離れた場所であることがわかった。これを偶然とみるか小路全体の変化とみるかは今後の調査を待たねばならない。

建物跡

柱穴の形状と柱間の違いにより、2棟の建物が考えられる。東側の建物は、柱穴の構成からみて倉庫と推定できる。おそらく3×3間の総柱建物であり、トレンチの東側に拡がるものと思われる。もう一棟の建物は2間分を検出したのみである。この建物の柱間2.4mは東西どちらに延びるともトレンチ外になり、また北方向へも続く可能性があり、建物の規模・棟方向を限定することはできない。これら2棟の建物の前後関係は出土遺物でも、位置関係においても求めることはできなかった。

当調査地の近辺の調査には、調査地東南で昭和51年に行われた日本専売公社関西工場^{註2}(現日本たばこ産業株式会社)敷地内の発掘調査および菱川町集落の南側を走る京都市外環状線内の昭和55年以来継続的に行っている発掘調査^{註3}などがある。

これらの調査では、長岡京期の遺構を始めとして、弥生時代から古墳・奈良・平安時代さらに中世に至る各種の遺構が発見されている。従って、この付近一帯は弥生時代から、現地表にみられる条里制の名残りまで埋蔵文化財の複合した地域と言える。

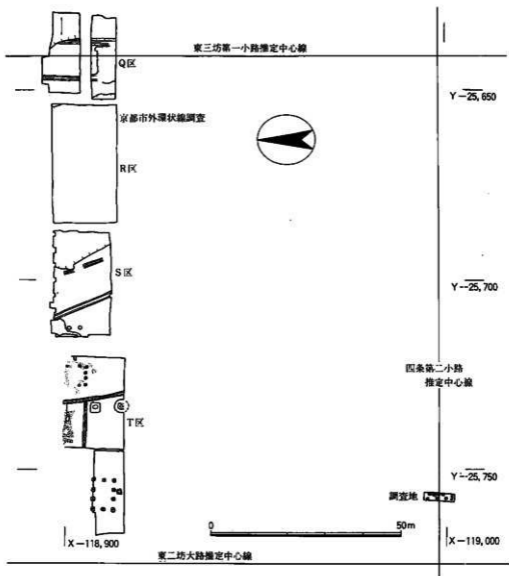


図11 遺構配置図 (1/1000)

- 註1 向日市埋蔵文化財調査報告書 第17集 1985 向日市教育委員会
- 註2 日本専売公社工場地内埋蔵文化財発掘調査概報 1977 鳥羽離宮跡調査研究所
- 註3 長岡京跡-京都市計画道路1等大路第3類第46号外環状線整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 1980 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 (以下同じ)
- 長岡京跡 1980
- 昭和56年度 京都市埋蔵文化財調査概要 (発掘調査編) 1981
- 昭和57年度 京都市埋蔵文化財調査概要 1982

V 栗栖野瓦窯跡 (RH11)

1. 調査経過

左京区岩倉幡枝町661-1に木造建物の新築工事が計画された。当該地は栗栖野瓦窯跡に含まれるため、昭和60年6月19日に基礎工事の立会調査を実施した。その結果、地表下30cmにおいて須恵器、緑釉陶器、三叉トチン、窯道具等を包含する灰層を検出した。灰層の深さ、拡がりを確認するため、2ヶ所の調査区を設定し、6月20・21日の両日試掘調査を行った。また、当該地に北面する造成地法面に赤変した窯体の一部が露呈しているのを発見した。

2. 遺 構

A区の基本層序は、上から盛土、旧耕土、黒色砂泥(灰層)、褐灰色砂泥層となる。灰層より多量の遺物が出土した。灰層は20cm程の厚さで現地形と同じく南へ下がる。B区では灰層を検出できなかった。造成地法面で発見した窯体(13号窯)は地山を掘り込んでつくられ、残存高は35cm程であった。窯底部が厚さ6cm程赤変しており、その直上に平瓦片が数点凸面を上にして露出しているのが認められた。周辺地形より判断して南東方向に開口しているものと思われる。

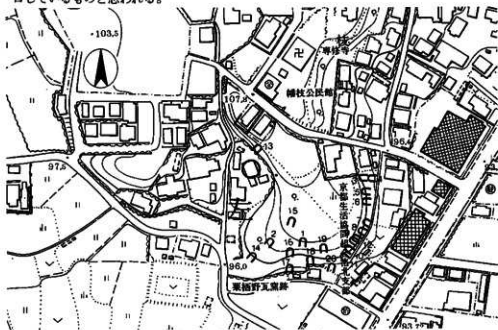


図12 調査位置図(1/2500) 註1

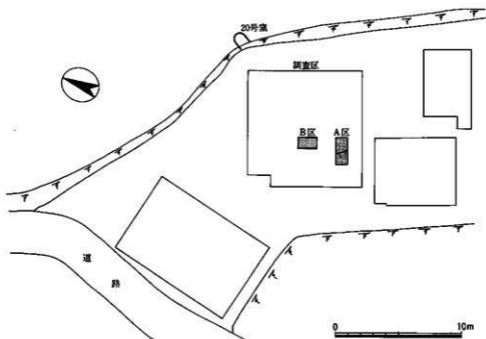


图13 调查区平面图 (1/300)

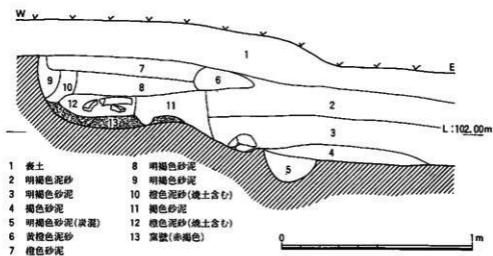


图14 13号窑断面图 (1/20)

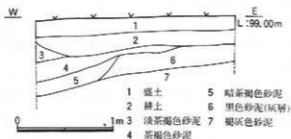


図15 A区北壁断面図 (1/40)

3. 遺物

灰層から整理箱3箱分の遺物が出土した。内容は少量の瓦類と土器類、および窯道具などの他、窯体の一部と見られる焼土塊がある。数の上では土器類が主体を占めるが、瓦類の中には均整唐草文軒平

瓦の破片や、単弁八葉蓮華文軒丸瓦(図版29-17)があり、また焼台に使用されたと見られる緑釉の付着した平瓦片(図版30-15・16)が数点含まれている。土器類には緑釉陶器やその素地と見られるものと、須恵器の他、少量の土師器、黒色土器がある。緑釉陶器および素地には、碗、皿、杯、火舎、鈎釜あるいは甌、蓋、瓶の高台と思われる破片などが

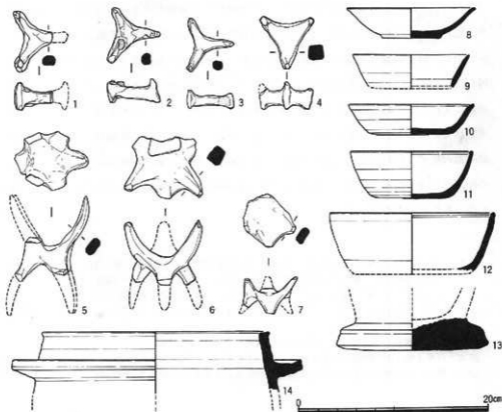


図16 遺物実測図 (1/4)

あり、これらのうち碗、皿、蓋、瓶などには緑釉が施されているが、他のほとんどは素地のままである。碗皿類の底部は円盤高台と蛇ノ目高台のものがある。杯類は無高台で、口径のわかるものには12.8cmと17.3cmの二種がある。罍釜あるいは口縁の形態から甗（図16-14）と思われるものは数個体分出土しているが、いずれも全形を知り得るものはない。また火舎の一部と思われる体部と高台の破片が出土している。蓋は一般的な須恵器の杯蓋と同形のもので、小片ではあるが、内外面ともにていねいに緑釉が施されている。須恵器には高台の付く杯、無高台の杯（図16-9～11）、摺鉢（図16-13）等がある。窯道具としてはトチンと焼台に転用された瓦片がある。トチンには、いわゆる三叉トチンと上下に三方ずつ支脚を作るものがあり、後者には大小の二種がある。窯道具類にはいずれも一部に緑釉が付着している。

4. ま と め

今回の調査により発見された窯跡は、その規模や出土遺物などから緑釉陶器を焼成した窯と思われる。従来この地域では瓦窯や須恵器窯が分布し、栗栖野瓦窯跡が知られていた^{註3}が、新たに緑釉陶器を焼成した窯跡が確認されたことは大きな成果であるといえよう。灰層から出土した遺物には平安京内で出土例のある緑釉陶器類の素地が多く含まれ、特に碗皿類に先行して現われる、火舎、罍釜類があり、この窯が少なくとも平安時代初頭から操業されていたことをうかがわせる。このことは平安京の官窯である栗栖野瓦屋の一角で緑釉陶器の生産が行われていたことを示すものであり、西賀茂鎮守庵瓦窯跡や大阪府吹田市^{註4}の岸部瓦窯跡^{註5}の例とならんで、官営の瓦窯と緑釉陶器生産の関連を知るうえで重要な資料が得られたといえるだろう。

註1 1・2号窯は昭和5年調査済（『京都府史跡名勝天然記念物調査報告書』第15冊）、3～12号窯は昭和60年4～6月に京都市埋蔵文化財調査センターが発掘調査で確認、14～20号窯は磁気探査により存在が推定されるもの（昭和61年 京都市埋蔵文化財研究所）。

註2 一般に緑釉が施されるもので、同系統のものが大阪府吹田市岸部瓦窯跡、京都市北区西賀茂親船の森瓦窯跡で出土。

註3 註1に同じ。3～12号窯の調査で須恵器窯が発見されている。

註4 百瀬正恒「灰釉陶器窯の編年について」『京都考古』第29号 昭和58年

註5 藤沢一夫・堀江門也「岸部瓦窯跡発掘調査概報」大阪府教育委員会 昭和43年

VI 北野廃寺跡 (RH36)

1. 調査経過

北区北野上白梅町34に鉄骨建物の新築工事が計画された。当該地は、北野廃寺の寺域内に推定されるため、昭和60年12月19日に基礎工事の立会調査を行った。その結果、敷地東部において表土下0.8mにて平安時代の遺物を多量に包含する土壌状遺構を検出した。遺構の遺存状況が良好なため京都市埋蔵文化財調査センターに連絡し、調査の必要性を要請した。センターは土地所有者との協議の上、12月19、20日の両日調査を行うこととした。

2. 遺 構

基本層序は、上から盛土、黒褐色混礫砂泥、黒色砂泥、黄褐色砂泥層となる。

黒褐色混礫砂泥層は平安時代中期の遺物を包含する。黒色砂泥層以下は無遺物層である。遺構は、黒褐色混礫砂泥層を掘り込む土壇3基、黒色砂泥層を掘り込む土壇2基を検出した。

SX4 短径1.6m、深さ0.5m、長径2.2m以上の規模をもつ。埋土は黒褐色砂泥層で



図17 調査位置図 (1/5000)

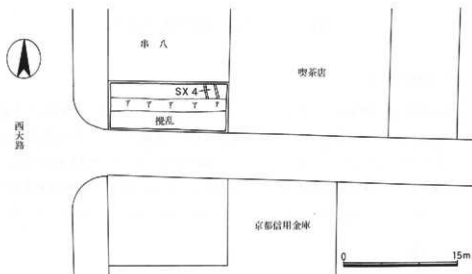


図18 調査区位置図 (1/500)

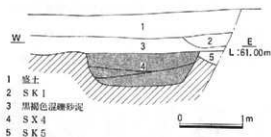


図19 SX 4北壁断面図 (1/60)

ある。掘形底面は平らで、埋土及び遺物出土状態等より判断して、土坑状遺構と考えられる。

3. 遺物

出土遺物は整理箱に9箱ある。大半が土器類で、瓦類は2箱程である。こ

こではSX 4出土遺物について現在まで知り得たことを報告する。

出土遺物には土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、無釉陶器、黒色土器、青磁、白磁、製塩土器、軒平瓦、軒丸瓦、平瓦、丸瓦、埴、鉄釘、鉄滓等がある。

土師器 (図20-1~12, 23~26)

皿・杯・蓋・高杯・甕の器種がある。

皿 (1~4) 口径12.3~13.1cm, 器高1.4~1.9cmのもので、平らな底部をもち、口縁部が外反し端部が内側に肥厚する。口縁部を横方向にナデ、底部内面をハケ調整、外面は指圧痕顕著に残り不調整である。胎土は微砂粒を含み精良、橙色ないし橙灰色を呈する。

杯 (5~12) 口径13.2~16.0cm, 器高2.2~3.1cmのものがある。平らな底部をもち、やや内湾しながらひらく体部に外反する口縁部をもち、端部は内側に小さく肥厚する。調整は皿と同じ。9の内面に炭化物(漆?)が全面に付着する。12は扁平な輪高台が付く。

甕 (23~26) いずれも口径20cm前後のもので、体部は球形に近く、口縁部はつよく外反し、口縁端部が内側に肥厚する。23は体部外面を斜め縦方向にナデ、体部内面を横方向に密な目の板でナデる。頸部内面に粘土つなぎ痕が残る。24は体部外面に異形印き目痕を残す。体部内面上半を粗い目の板で横方向にナデる。内面下半は指圧痕残り不調整である。25は体部外面上半を密な目の板で横方向にナデ、下半を縦方向にナデる。体部内面は指圧痕が顕著に残る。26は体部内面上半を粗い目の板で横方向にナデ、下半を上方向にナデる。

須惠器 (図20-13,14,18,19)

椀・杯・皿・蓋・壺・鉢・甕・硯の器種がある。

椀・杯 (13, 14) 13は口径12.4cm、器高4.4cmで、内弯しながらひらく体部をもち、口縁部は外反する。高台は削り出しの輪高台で、やや蛇ノ目状を呈する。内外面に粗いヘラ磨きを施す。胎土は緻密で焼成は良好、淡青灰色を呈する。14は口径14.6cm、器高4.1cmで、内弯しながらひらく体部をもち、口縁端部は内側に縦長の肥厚部をもつ。ロクロ成形時の凹凸が顕著に残る。底部外面はヘラ切り離しである。胎土は砂粒を含むが精良で焼成はやや甘く灰白色を呈する。

壺 (18) 口径4.6cm、胴部最大径8.5cmで底部を欠く。内外面の凹凸が著しく残る。胎土は緻密で焼成は良好、暗青灰色を呈する。

鉢 (19) 口径20.0cmで、外上方にひらく体部をもち、口縁部が上方に立ち上がり口縁端部が外側に大きく肥厚する。胎土は黒色微粒子を多く含む緻密、焼成は良好で、青みを帯びた灰色を呈する。

灰輪陶器 (図20-15, 16)

皿 (15)・椀 (16) いずれも平らな底部と外上方にひらく体部をもち、口縁部は外反する。高台は貼り付け輪高台である。底部内面に重ね焼き痕が残り、15の底部外面には糸切り痕が残る。釉は体部内外面を刷け塗りする。胎土は黒色微粒子を含み精良、焼成は良好で灰白色を呈する。15・16の底部外面にそれぞれ「仏所」、「素立」の墨書がある。

黒色土器 (図20-20~22)

杯 (20~23) 口径17.5cm前後、器高5~6cmで、平らな底部と内弯しながらひらく体部をもつ。口縁端部内側に一条の沈線が入る。底部には断面三角形の低い輪高台がつく。体部外面は、20・21はヘラ削り、22は粗いヘラ磨きを施す。体部内面は横方向に密なヘラ磨きし、底部内面は一定方向のヘラ磨きする。20・21は内面全体及び口縁部外面に炭素を吸着させる。22は内面全体のみ炭素付着。胎土は砂粒を含むが精良、クサリレキを含む。

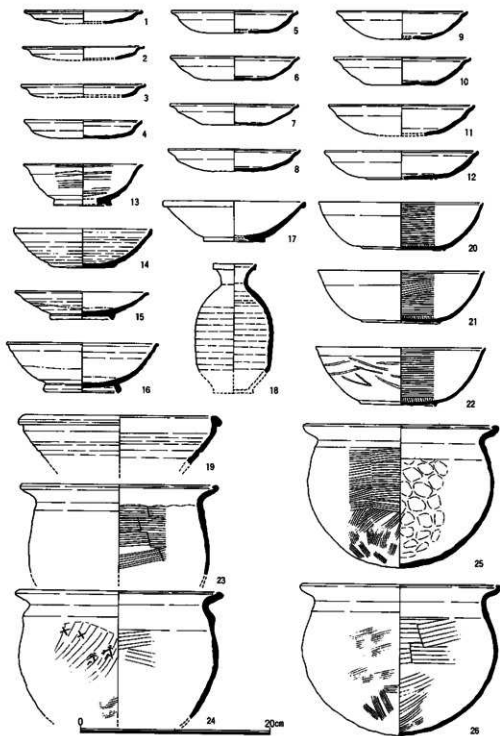


图20 SX 4 出土遗物实测图 (1/4)

焼成は良好で赤橙色を呈する。20・21の底部外面に「田口」の墨書がある。21の体部外面には4ヶ所に墨書が認められるが、解読不能である。

白磁(図20-17)

碗(17) 口径15cm、器高4.3cm、高台径6.5cmを測る。小さな平底と内弯しながらひらく体部をもち、口縁端部は玉縁になる。蛇ノ目高台である。釉は高台・唇部を除く全体に施す。胎土はやや黄味を帯びた白色、釉はやや青みを帯びた白色である。邢州窯系白磁。

青磁

碗 直にひらく口縁部をもつ。釉はオリーブ色を呈する。越州窯系青磁である。

以上のほかに、SX4より出土した土器には、無釉陶器碗・皿、緑釉陶器の碗・皿・壺、黒色土器壺、製塩土器の小片がある。黒褐色混雑砂泥層より邢州窯系白磁碗が1点出土している。底部外面を除く全体に施釉する。釉は黄味を帯びた白色を呈する。

4. まとめ

狭い敷地のため、SX4の遺構全体を知ることではできなかったが、「仏所」「桑立」の墨書土器が出土し、当地付近に造仏所等の施設があったことが伺える。また、SX4より出土した土器群は、平安時代中期の良好な資料で、10世紀前半の特徴を有する。

表3 SX4出土遺物破片数量表

種類	器種	破片数	数量比(%)	重量(g)	重量比(%)
土器	皿	2294	87.0	4904	71.5
	高杯	39		606	
	壺	700		4544	
灰釉陶器	碗	55	5.2	382	16.3
	皿	3		15	
	壺	53		443	
	杯	1		5	
	鉢	27		309	
	鉢	42		1130	
	鉢	83		2.4	
緑釉陶器	碗	59	1.7	340	2.5
	壺	1		6	
無釉陶器	碗	17	0.5	137	1.0
青磁	碗	1	0.03	4	0.03
白磁	碗	1	0.03	33	0.23
黒色土器	杯	103	3.0	631	4.5
製塩土器	壺	8	0.2	54	0.4
計		3487	100.06	14053	100.06
瓦		402		24120	

Ⅶ 室町殿跡 (RH18)

1. 調査経過

上京区烏丸通今出川上る西入岡松町254-1でマンション建設が計画された。当該地は室町殿跡（花の御所）推定地にあたることから、工事掘削に伴って立会調査を実施した。

結果、調査中に庭石と思われる巨石を3個発見するに至り、基礎掘削の終了をまって、確認調査を行った。確認調査は、昭和60年7月30・31の両日行い、庭園遺構を検出した。調査面積は55㎡である。



図21 調査位置図(1/5000)

2. 遺構・遺物

今回の調査で確認できたものは、庭石4個及び池の汀である。庭石は北のものから東西1.2m、南北0.6mを測るチャートのもの、東西2.4m、南北2.0mを測る珪質千枚岩のもの、東西1.5m、南北1.2mを測るチャートのもの、東西2.5m、南北1.0mを測るチャートのものである。いずれも東西方向に長く、掘形をもっている。調査区南端では、拳大の石を敷いた池の汀を検出した。池は緩やかに南に下っている。これら庭園にともなうと思われるものの成立面は、標高51.90mである。(図22)

出土した遺物は、室町時代後期から江戸時代に至るものが整理箱に3箱である。大半は、土師器皿及び瓦である。室町時代後期の遺物は、池の堆積土から出土している。その内容は、土師器皿・陶器壺・瓦である。庭園上を覆う整地層からは、桃山時代後期から江戸時代にかけての土師器皿・陶器・瓦などが出土した。

3. まとめ

室町殿跡の推定地は今出川通以北、上立売通以南、烏丸通以西、室町通以東とされ、現代の地名としても御所八幡町、裏築地町、岡松町、築山北半町、築山南半町の名を留める。今回は確認調査という制約の大きい調査であり、満足のいくものではなかったにせよ、室町殿跡内での庭園遺構の発見の意義は大きく、室町殿の解明に寄与するものであり、今後の計画的な調査に期待したい。

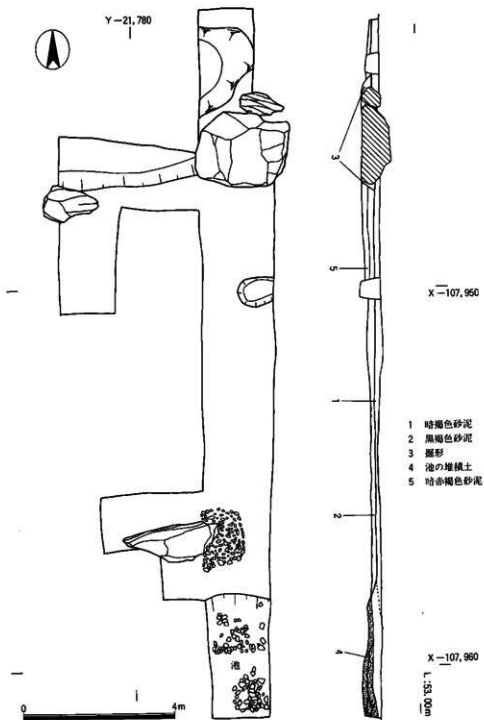


図22 遺構平面図 (1/100)

VIII 主要な出土遺物

1. 平安京左京二条二坊 (HL99)

中京区丸太町通油小路西入る丸太町14番地に鉄骨建物の新築が計画された。当該地は、左京二条二坊九町に相当するため、昭和60年6月26日に工事に先立ち試掘調査を行った。調査の結果、地表下1mにて固く礫を数つめた整地層及び東へ落ちる池状遺構を検出した。池状遺構より平安時代前期の遺物が出土した。ここでは土器類に限って報告する。

土師器碗(図23-1~3) 口径12.6~13.0cm、器高3.6~4.2cmで、小さな平底と内弯しながらひろく体部をもち、口縁をまるくおさめる。外面全体をヘラ削りする。

土師器杯(図23-4~6) 口径16.6~18.2cm、器高3.5~4.1cmで、平らな底部と斜め上方にひろく体部をもち、口縁端部は内側に小さく肥厚する。外面全体をヘラ削りするもの(4,5)と、体部外面を横方向にナデ、底部外面をヘラ削りするもの(6)がある。底部に高台がつく杯(12)は、体部外面をヘラ磨きする。胎土は微砂粒を含み赤橙色を呈する。

土師器皿(図23-7~10) 口径16.0~21.4cm、器高2.4~2.9cmで、平底とわずかに内弯しながらひろく体部をもち、口縁端部は内側に小さく肥厚する。外面全体をヘラ削りする。

土師器蓋(図23-11) 口径20.4cmで、まるくふくらみをもった天井部に宝珠形のつまみをもつ、受け端部は内側に肥厚する。天井部外面は四分割にヘラ磨きし、さらに縁辺4ヶ所をヘラ磨きする。胎土は微砂粒を含み、精良で赤橙色を呈する。

土師器甕(図23-13~15) 口径15.3~26.6cmのものがある。いずれも口縁部は外反し、体部外面上半を粗い目の板でナデる。

須恵器蓋(図23-17) 口径14.7cmで、ややふくらんだ天井部をもち、受端部が屈曲する。胎土は緻密で、淡灰色を呈する。

須恵器杯(図23-18~21) 無高台のものと高台がつくものがある。いずれも外上方にひろく体部をもち、口縁端部をまるくおさめる。底部はヘラ切り離しである。

灰釉陶器蓋(図23-16) 口径10.1cmで葉蓋の蓋である。受け端部はやや外側に反る。天井部上面に釉薬が認められる。胎土は緻密で、セビア色を呈する。

以上の土器類は9世紀前半の特徴を示すものである。当地は、平安時代後期の高陽院に推定されるところで、今回検出した池状遺構は、高陽院に先行する邸宅跡の存在を示すものである。

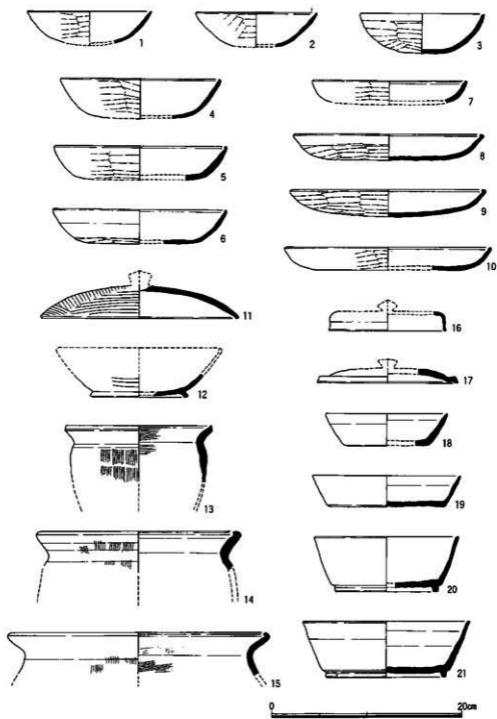


图23 遗物实测图 (1/4)

2. 平安京左京四条三坊 (HL 125)

中京区烏丸通六角下る七観音町634に鉄骨建物の建設が計画された。当該地は平安京左京四条三坊十五町にあたり、工事に先立ち昭和60年8月28日に試掘調査を実施したところ敷地北部において江戸時代の遺物を包含する池状遺構を検出した。断面観察の結果層序は地表下-2.55mまでは焼土層を含む近・現代層、その下層約0.65mは炭・ヘドロ層、以下は淡緑灰色砂礫層で無遺物層である。炭・ヘドロ層からは18世紀中葉の陶磁器の良好な資料が出土した。出土遺物は土師器・陶器・磁器などがある。土師器及び土師質陶器には皿・蓋・ひょうそく等があり、陶磁器類は伊万里焼系と京焼系が大半を占め、他に唐津焼系、瀬戸・美濃焼系、丹波焼系、備前焼系等がある。伊万里焼系は碗、皿、鉢、仏飯器、京焼系は碗、皿、唐津焼系は鉢、瀬戸・美濃焼系は碗、丹波焼系は鍋、備前焼は播鉢がある。

図24のうち31を除きすべて伊万里焼系である。22~30は碗である。22は器壁が厚く体部全体に草花文を施す。呉須は濃青色を呈し釉調は乳白色で光沢を帯る。疊付に熔着痕が残る。高台裏に銘を有する。23は色絵である。器壁は薄く紅柄で花籠文を1対施す。呉須は高台脇部構文と高台部の圏線及び高台裏銘「富貴長春」に用い発色は濃青色を呈す。上絵付は紅柄の他金泥、緑、紫、黒を使う。釉調は乳白色でやや失透気味である。疊付の釉はていねいに拭き取る。24は高台が極端に低く体部は丸い。梅花文を施し呉須は濃青色を呈しにじむ。釉調はやや青味を帯び光沢を有するが気泡を含む。疊付の釉はていねいに拭き取る。25の体部は丸く口縁部外周に雨降柳文を施す。呉須は薄く暗青色、釉調は青味を帯び光沢が無い。疊付には熔着痕が残る。26は腰の張りが強く口縁端部が外反する。器壁は薄く岩と草花文を施す。呉須は淡青色を呈しにじむ。釉調はやや青味を帯び光沢がある。疊付の釉はていねいに拭き取る。27~29は印判(コンニャク判)で文様を散らす碗である。底部の器壁が厚く文様の印判はいずれも潰れ粗雑である。27は桐文である。呉須は黒味がかかった青色で釉調は乳青色ににごる。体部外面に釉なだれが見られ疊付には熔着痕が残る。高台裏に銘を施す。28は松文である。呉須は薄い青色で釉調は乳青色ににごる。体部外面にクロ目釉なだれが見られる。疊付にわずかに熔着痕が残る。29は藁文で底部を欠損する。呉須は青色を呈し、釉調は乳白色で光沢を帯るが気泡を含む。30は腰の張りが強く体部は直線的で短い。草花文を配し呉須は濃青色、釉調はやや青味がかかり光沢を帯る。高台は蛇ノ目高台で中央部の釉は残し他をカキ取っている。口縁部内面は露胎する。32は内面に五葉文を施す皿である。器壁は薄く内底部に目痕、疊付にわずかに熔着痕が残る。呉須

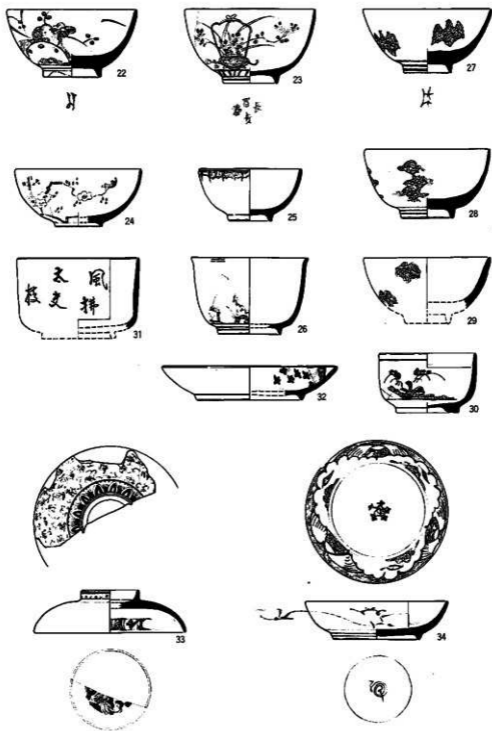


图24 遗物实测图 (1/3)

は暗青色、釉調はやや青味を帯び光沢がある。34は深めの皿である。内面に文様を配し、見込重圏内に印判で五弁花文を施す。外面は4分割した唐草を施す。呉須の発色は悪く黒味がかかった青色、釉調は青味を帯び光沢は薄い。高台裏圏線内に「福」の削れ銘を施す。疊付に熔着痕が残る。33は蓋である。表文は七草唐草を配しつまみ脇には蓮弁文、つまみには機可学文を施す。内面口縁部には帯文、天弁部重圏内に草花文を施す。呉須は青色を呈し、釉調はやや青味がかり気泡を含むが光沢を帯る。31は京焼系の碗である。鉄釉を口縁端部に、体部には文字文を施す。胎土は黄味を帯び釉は乳黄色で光沢、貫入が見られる。

3 平安京左京五条三坊 (H.L.159)

下京区烏丸通裏高辻上る匂天神町684・689に鉄骨建物の建設が計画された。当該地は平安京左京五条三坊十四町に相当するため、昭和60年8月26日に試掘調査を実施したところ敷地北端地表下-1.1mの深さで江戸時代後期の遺物を包含する土壌を検出した。断面観察の結果この土壌は幅2.3m・深さ0.9mの規模を持ち埋土は3層に分層することが出来、上層より灰黄褐色泥砂層、黒褐色泥砂層、灰黄褐色泥砂層であった。

出土した遺物(図25~27)は土師器、土師質陶器、陶磁器、ガラス等の日常雑器類の他、銅製品、獣骨、貝殻等である。陶磁器類では伊万里焼系が40%を占め、続いて京焼系、瀬戸・美濃系、丹波、備前、常滑、信楽焼等の製品が見られた。伊万里焼系の35~38は碗である。35は紅猪口で笹文を施し器壁が厚い。呉須は暗青色を呈し釉調は乳青色、光沢は鈍い。疊付にわずかに熔着痕が残る。36は岩と草花文を施し背景をダミで漬す。高台脇に蓮弁、内面口縁部には七宝文帯を配す。見込重圏内にも文様を施す。呉須の発色は青く良好、釉調は乳白色で光沢がある。37・38は色絵である。紅柄で輪郭を描き背景は塗り漬す。器壁は薄く口縁端部が外反し釉調は乳白色で光沢がある。37は原文。上絵の紅柄は濃赤色を呈し、他に金泥、黄緑、黒、紫を用いる。38は穂と羽子板文。紅柄は黄味がかり一部に金泥を用いる。45~47は筒形の碗である。45は蓮草文を配しており、外面底部には蓮草状の文を施す。内面口縁部に斜格子文帯を見込に五弁花文(印判か)を施す。呉須は暗青色、釉調はやや青味がかり光沢がある。疊付にわずかに熔着痕が残る。46は漁船出漁風景である。外面底部には松葉状の文様を五ヶ所に配す。内面口縁部に斜格子文帯、見込に文を施す。呉須は暗青色、釉は白濁し失透する。疊付に熔着痕を残す。47は双竹文である。見込に五弁花様の文を施す。呉須は濃青色、釉調は青味がかり失透気味である。39~43は碗である。39は草花文を施す。呉須は暗青色、釉調は白濁し失透する。40は器壁が薄く口縁部

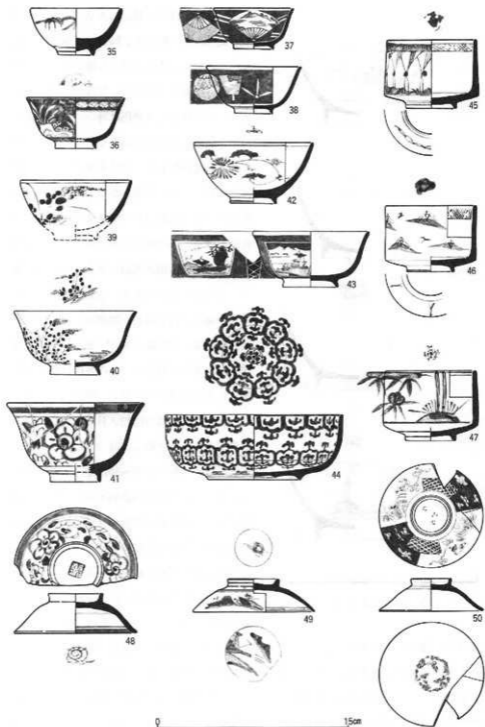


图25 遗物实测图 (1/3)

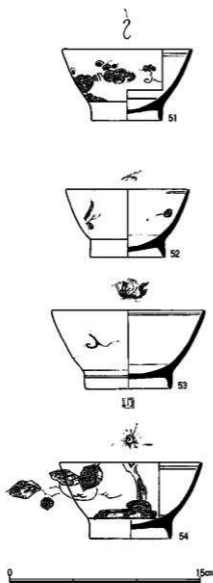


図26 遺物実測図(1/3)

つまみ内に海浜風景を施す。天井部、口縁部は内弯する。呉須は淡青色、釉調は乳白色で光沢がある。50は岩と蔓草、市松文と花文を2分割した色絵である。紅柄を基調とし黒、白、黄を用いる。又内面天井部に環状に花文を、つまみ内に銘を施す。釉調は乳白色を呈しやや失透する。焼継が認められる。51~54は腰の張りが無く高台の高いいわゆる広東碗と呼ばれるものである。文様は葡萄文(51)、柿の木文(54)などがあり、それぞれ見込に

が外反する。体部、見込に水草文を施す。呉須の発色は悪く暗青色、釉調は青味がかり光沢がある。41は底部が厚く口縁部は外反し肥厚する。体部に花唐草文、口縁部に横帯文を施す。呉須はにじみ発色は薄い。釉調は青味がかり気泡を含み光沢がある。疊付に熔着痕が残る。焼継痕有り。42は菊唐草文を巡らす。体部に口口目、釉垂れが見られる。呉須は暗青色、釉調は乳白色で失透する。疊付に熔着痕が残る。43は体部がやや浅く口縁部は外反する。文様は扇面窓絵である。体部を縦帯文で3分割し文様を施す。空間はダミで潰す。呉須の発色は良く青色、釉調は乳白色を呈し光沢がある。44は鉢である。器壁は薄く口縁端部がわずかに外反する。内外面に嬰路文を施す。呉須は濃青色を呈し、釉調は青味がかり光沢を持つ。高台は蛇ノ目高台をなし軸は中央部を残し拭き取る。高台内にわずかに熔着痕が認められる。48~50は蓋である。つまみは逆「ハ」字状に開き48・50は口縁部が外反する。48は外面に花唐草文、口縁部に横帯文を施す。又内天井部に簡略化した文様、つまみ内に銘をそれぞれ施す。呉須は青色でややにじみ、釉調は青味を帯び気泡を含むが光沢がある。41とセットか。49は外面、内面、

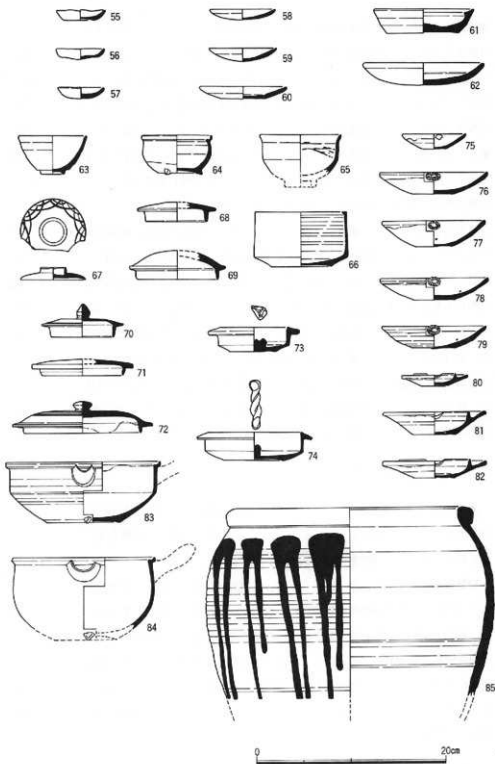


图27 遗物实测图(1/4)

葉(53)及び簡略化した絵文を施す。53は高台裏に銘を施す。呉須の発色は53が淡青色で他は暗青色を呈する。釉調は青味を帯び51・53は光沢を持つ。52・54は疊付に熔着痕が残る。

土師器皿は手づくねの小皿(55~57)と口縁部を撫るレンズ状の中皿(58,59)内底立ち上り部分に沈線を持つ大皿(60)に分類でき、いずれも口縁部に灯芯痕を残す。61・62は土師質陶器である。61は口縁部内面に小さな受部を持つ。62は皿で外面底・体部はへら削り調整を行う。内面体部には沈線が巡り墨が多量に付着する。75~82は瀬戸・美濃系の灯明皿で胎土は磁化し硬質である。外面底・体部にへら削りを施し底部は凹ませる。釉は内面、口縁部外面に施す。75~79は内面口縁部に貼花を持ち体部は内弯する。76~79は内底に3ヶ所目痕を残し、4条の櫛目が1~2ヶ所見られる。胎土は灰色、釉調は黄灰色を呈し貫入が認められる。75は緑灰色。80~82は体部が外反し内面に灯芯受が付く。受の一部は「U」字状に切り込まれる。胎土は灰色、釉調は緑灰色を呈し貫入が認められる。その他の瀬戸・美濃系の製品は蓋(68・71)と鉢(66)がある。京焼系には碗(63)と蓋(70)。唐津系には三足壺(64)、刷毛で白泥を施した碗(65)、蓋(67,69,72,73,74)及び行平(83,84)がある。83は内面、84は内外面に緑灰色の釉を施す。85は丹波焼系の壺である。体部最下位に注ぎ口用の径2cmの円孔を持つ。内外面に茶褐色の釉を施し、肩部から黒褐色の釉をたらず。底部外面に「ニ」の墨書がある。以上の他には、「仁清」銘のある信楽写しの壺(図版33-97)がある。頸部及び両耳の取れた痕跡がある。

4. 平安京出土の軒瓦

重画文軒平瓦(図28-86) 右京七条二坊九町(HR88)出土。瓦当外周は横方向にへら削りし、平瓦部凹面及び側面は縦方向にへら削りする。胎土は砂粒を含み、焼成は良好で、灰色を呈する。難波宮6574型式系瓦。

均整唐草文軒平瓦(図28-87) 平安宮民部省(HQ75)出土。瓦当外周上部は横方向にへら削りし、平瓦部凹面は横方向にへら削りしたのちナゲル。胎土は微砂粒を多く含むが、精良で堅緻、やや青味を帯びた灰色を呈する。平城宮6681-B型式瓦。

均整唐草文軒平瓦(図28-88) 平安宮民部省(HQ75)出土。珠文は密に配されるが、脇区には珠文はない。瓦当外周上部は横方向にへら削りし、平瓦部凸面及び側面は縦方向にへら削りする。胎土は砂粒を多く含む、粗い。焼成はやや甘く灰白色を呈する。平城宮6721-C型式瓦。

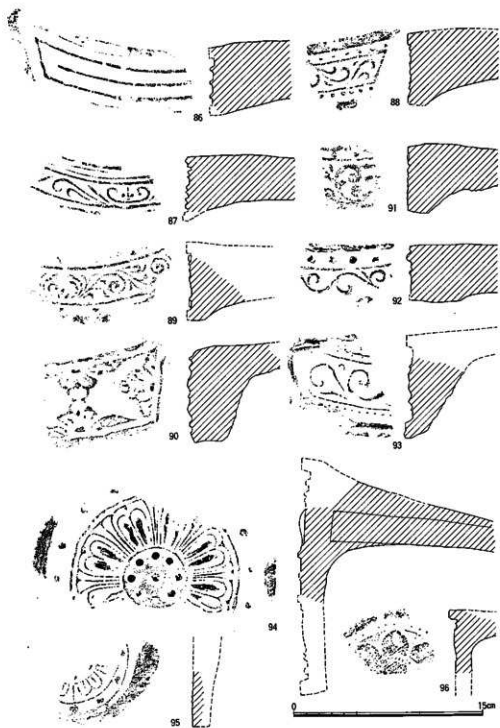


图28 軒瓦拓影·实测图 (1/3)

均整唐草文軒平瓦(図28-89) 右京九条一坊十四町・西寺跡(H R 79)出土。瓦当外周下部は横方向にヘラ削りし、平瓦部凸面は縦方向にヘラ削りする。胎土は砂粒を多く含み、粗い。焼成はやや甘く、灰白色を呈する。

宝相華文軒平瓦(図28-90) 平安宮中和院(H Q 68)出土。半截の宝相華文を配する。瓦当外周上部及び側面は横方向にヘラ削りする。平瓦部凹面は布目圧痕が残る。瓦当外周下部は縦方向に平行叩き、瓦当裏及び平瓦部凸面は横方向に平行叩きを施す。胎土は微砂粒を含み、堅緻、焼成は固く淡褐色を呈する。

均整唐草文軒平瓦(図28-91) 右京二条三坊二町(H R 14)出土。瓦当外周上・下部及び瓦当裏は横方向にヘラ削りする。平瓦部凹面は布目圧痕が残る。凸面は指圧痕が顕著に残り、一部にヘラ削りがみられる。胎土は砂粒を含み、堅緻、焼成は良好で須恵質を呈する。森ヶ東瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦(図28-92) 平安宮中和院(H Q 4)出土。上下区に径8mm程の珠文を配する。瓦当外周上部は横方向にヘラ削りし、平瓦部凹面に布目圧痕と糸切り痕を残す。頸部及び平瓦部凸面はナデ調整を施す。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良く黄灰色を呈する。

均整唐草文軒平瓦(図28-93) 平安宮中和院(H Q 4)出土。瓦当部に范が著しくズレる。外区に小さな珠文を密に配す。瓦当外周上端まで布目圧痕が残る。側面は縦方向にヘラ削りする。頸部及び平瓦部凸面は縦方向に縄目叩き、瓦当裏は横方向に縄目叩きを施す。胎土は精良で堅緻、焼成は良好で淡黄灰色を呈する。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦(図28-94) 平安宮中和院(H Q 80)出土。丸瓦部凸面は、幅2cm前後の縦方向にヘラ削りする。胎土は砂粒を含み、精良、焼成は良く黄白色を呈する。

複弁六葉蓮華文軒丸瓦(図28-95) 左京六条三坊五町(H L 173)出土。范割れの状態から『平安京古瓦図録』(平安博物館編)の218・民部省出土のものと同范である。それによれば、中房の蓮子は1+6で、花卉は六葉である。全形は楕円形を呈する。胎土は砂粒を少し含み、精良、焼成は良く灰白色を呈する。

単弁八葉蓮華文軒丸瓦(図28-96) 平安宮中和院(H Q 4)出土。外区に小さな珠文を密に配す。花卉は八葉になる。瓦当外周上部はナデ調整。瓦当部と丸瓦部を接合して成形する。胎土は砂粒を含み粗い、焼成はやや甘く、灰白色を呈する。

IX 大原野南春日町遺跡

1. 調査経過

京都市西京区大原野南春日町、石作町、灰方町で農業構造改善事業に伴う試掘調査を1984年11月1日から1985年4月3日まで実施した。調査対象面積は約61万 m^2 である。

調査地域は西山から南東にかけて延びる段丘にあたり、北は府道灰方中山線、南が善峰寺川にはさまれた地域である。調査地域東北部に近接する地点では1981年当研究所が発掘^{註1}調査を行い、奈良時代から平安時代の塔跡、建物跡等寺院の一部と考えられる遺構を検出した南春日町遺跡が位置する。さらに調査地域西北部に西接する地点には飛鳥、奈良時代の須恵器窯である南春日町窯跡^{註2}がある。また、調査地域西北部には平安時代に創建された大原野神社がある。調査地域南西部の丘陵には八幡宮古墳^{註3}、円山古墳群^{註4}が立地する。調査地域及び周辺一帯では1982年当研究所が遺跡分布調査^{註5}を行い、新たに遺物散布地を確認している。調査地域北西の田、畑では1982年同事業に伴う試掘調査^{註6}を、さらに調査地域以北の広域で1984年同事業に伴う試掘調査^{註7}を行っている。

試掘調査は前年度と同様、分布調査の成果に基づいて行い、地区設定・地点表示及びトレンチの設定・規模等についても前年度の調査に準拠した。今回の試掘調査地域は北からD地区、E地区、F地区の3地区に分け、調査を実施した。

2. 遺 構

D地区は調査対象地域の西北部に該当する。D地区で遺構を検出した地点は№154、157、160、169、195、196、197の7地点である。D地区東北部の№154、157、160では室町時代後期のビット、土壌を検出した。それらの3地点に南接する№169ではビットを検出した。さらにD地区のほぼ中央部にあたる№195、196でもビットを検出した。また№197では平安時代の焼土壌を検出した。焼土壌の形状は楕円形で、検出面での規模は長径0.9m、短径0.6m、深さ0.26mである。底面はよく焼けている。また№201では奈良時代の須恵器が多量に出土した。D地区東半部の10地点では旧耕土を含む中世の遺物包含層を検出した。

E地区は調査対象地域の中央から東部を占める。E地区で遺構を検出した地点は№60、125、137、190、191、213、222、251、253、270、284、412、427、456、462の15地点である。E地区西北部の№60では平安時代の包含層を検出した。E地区のほぼ中央部№125、190、191、270の

4地点では鎌倉時代のビット、土壌、井戸、溝を検出した。それらの4地点に近接した№137でも鎌倉時代のビットを検出した。E地区中央部東の№213では平安時代のビットを検出した。ビットには炭を多量に含むものもある。E地区東部北の№222では中世のビットを重複した状態で検出したことから、トレンチを3×9mに拡張し、さらにビットと土壌を検出した。

E地区西部№251では奈良時代の竪穴住居址を検出した。竪穴住居址の平面形は、やや東西に長い歪な長方形を呈し、中央で、長軸約6.1m、短軸約5.1mある。検出面からの深さは12~25cmある。主柱穴は4箇所あり、平面形は円形を呈し、柱当たり径は14~20cm、床面からの深さ24~38cmある。柱間隔は長軸方向が3.2m、短軸方向が2.6mある。北壁中央にカマドがある。西袖部及び焚口部はよく焼けている。中央東寄りに貯蔵穴と考えられる土壌がある。平面形は小判形を呈し、長径163cm、短径75cm、床面からの深さ約40cmある。

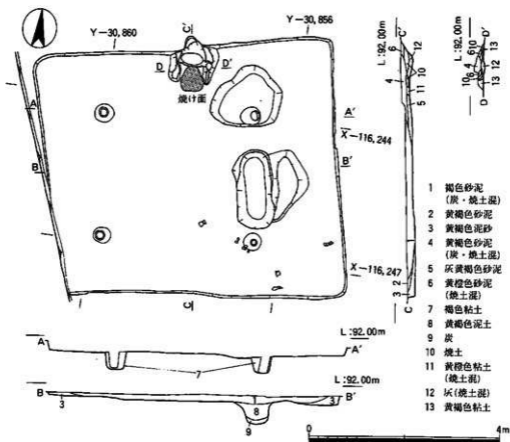


図29 竪穴住居址実測図 (1/80)

る。底面には8cmの厚さで炭層がある。土壌東縁に沿って床面からの高さ約7cmの高まり部がある。遺物は褐色砂泥・黄褐色砂泥などから土師器・須恵器・鉄片などが出土した。

№251の南に近接する№253では鎌倉時代の溝を検出した。E地区中央部南の№284で平安時代のビット、土壌を検出し、さらにトレンチを3×9mに拡張した結果、土壌を検出した。E地区東部№412、427、462の3地点では鎌倉時代のビットを検出した。E地区南東部の№456では2カ所のトレンチで平安時代のビット、土壌、溝を残存良好な状態で検出した。またE地区で旧耕土を含む中世の遺物包含層を西部で32地点、東部では22地点にわたり検出した。E地区東南部の4地点では平安時代の遺物包含層を検出した。包含層の厚さは№456で0.2m、№457では0.8mと厚くなり、残存状況も良好である。

F地区は調査対象地域の南西部に該当する。F地区で遺構を検出した地点は№322、430、460、463の4地点である。F地区東部№322では中世のビットを検出した。F地区西部№430、460、463の3地点ではビット、土壌、溝を検出した。F地区で旧耕土を含む中世の遺物包含層は西部で11地点、東部で16地点にわたり検出した。

3. 遺物

各調査地点から遺物整理箱で22箱出土した。土師器・須恵器・黒色土器・緑陶器・灰釉陶器・瓦器・陶磁器・銭貨・金属製品・サスカイト片などがある。遺物は後述する竪穴住居址出土遺物を除き、細片が多数を占め図示できるものは少ない。

竪穴住居址から、土師器・須恵器・鉄製品など遺物整理箱で6箱出土した。

土師器(図30-2) 皿・甕などがある。

皿(1) 平底にやや屈曲する口縁部がつく。内面に2段放射暗文を施す。底部外面はヘラ削り、他はナデを行う。口径10.8cm、器高2.5cm。

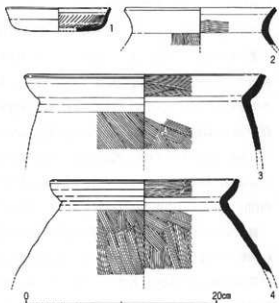


図30 竪穴住居址出土土師器(1/4)

甕(2~4) 2は口縁部がやや開き、口縁端部をつまみ上げる。口縁内面と胴部外面をハケメ調整する。口径15.5cm。3・4は口縁部がやや内弯する。4は胴部が大きく膨らむ。3・4とも口縁外面はナデ、他は細かいハケメ調整する。口径は3が24.6cm、4が19.2cm。

須臾器(図版18) 杯A・杯B・蓋・壺・甕・鉢・高杯などがある。

杯A(5~16) 口径により3種ある。5~7は平底に直立する口縁部がつく。口径10.0cm。器高3.9~4.2cm。8~15は、口縁部が開く8~13と内弯する14・15がある。15は口縁端部がさらに内弯する。口径11.2~12.6cm、器高3.9~5.0cm。16は平底に直立する口縁部がつく。口径14.7cm、器高4.4cm。底部内面及び口縁部はヨコナデを行う。底部外面は16が回転ヘラ削り、5~15はヘラギリ。10~13・15・16は底部内面に直線あるいは不定方向のナデを行う。9・11は焼成不良。なお14は重ね焼きの状態で出土した。

杯B(26~33) 口径により5種ある。26は口縁部が直立し断面台形の高台がつく。口径9.9cm、器高4.8cm。27は口縁部が腰折れ状を呈し、高台は断面台形でやや外に張る。口径14.3cm、器高4.6cm。28~31は口縁部の形態から、腰折れ状の28、内弯する29、開く30・31がある。高台は断面台形を呈しやや外に張る。口径15.3~15.9cm。器高4.5~4.9cm。32は口縁部が開き、高台は断面台形を呈しやや外に張る。口径16.6cm、器高4.8cm。33は口縁部が直立し、高台はL字形を呈し外に張る。口径24.8cm、器高6.3cm。底部内面及び口縁部はヨコナデ、底部外面はヘラギリ。なお27・28・30~32は底部内面中央に直線あるいは不定方向のナデを行う。27・31~33は焼成不良。26は口縁部外面に自然釉が付着する。

蓋(17~25) 口径により4種ある。17~24は天井部がやや膨らみ、口縁端部は僅かに屈曲するものがある。扁平な宝珠つまみがつく。天井部外面は回転ヘラ削り、内面はヨコナデを行う。18・20・22は天井部内面中央に直線あるいは不定方向のナデを行う。17は口径12.2cm、器高3.1cm。18は口径15.8cm、器高3.4cm。20~22は口径17.5~18.2cm、器高1.8~3.8cm。23は口径19.0cm、器高2.9cm。25は平坦な天井部に強く屈曲する口縁部がつく。天井部には扁平な宝珠つまみがつき、周縁に高台状の突帯が巡る。天井部外面はヘラギリ、内面はヨコナデ、内面中央は直線方向のナデを行う。18・21・23・24は焼成不良。

壺(35・36) 35は肩部と体部の境界上方に1条、下方に3条の凹線が巡る。体部下方は回転ヘラ削り、他はヨコナデする。底部外面には爪状圧痕が高台に沿って巡る。肩部及び底部内面に自然釉が付着する。高台径9.2cm。36は扁平な体部に短かい口縁部がつく。肩部と体部の境界の上・下に凹線を巡らす。底部外面はヘラギリ、他はヨコナデ。ほぼ全面に自然釉が付着。口径10.2cm、器高5.1cm。

鉢(34) 鉄鉢形の体部と平坦な底部からなる。体部内外面はヨコナデ、底部内面は直線方向のナデ、底部外面は工具を使用したナデを行う。口径18.2cm、器高11.1cm。焼成不良。

甕(37) 口縁部下はやや肥厚する。肩部外面はカキメ、内面は同心円文タタキを行う。口縁部はヨコナデを行う。口径22.9cm。

4. ま と め

ここでは今回の調査結果に基づきD、E、F地区全体を概観していきたい。

調査地区全体で奈良時代から中世にいたる遺構及び遺物包含層を検出した。検出した遺構分布をみると中世遺構が比較的高く、さらに中世遺物包含層(旧耕土を含む)の分布も、ほぼ調査地全域に認められる。中世遺構の分布傾向は調査地全域の現況からみて現集落の近縁部に比較的高いといえる。現集落の近縁部にあたるD地区東北部、南部、E地区西半部東、南、F地区東部でピット、土壌、溝等集落の一部を示す遺構を検出しており、現集落との関連も注目できる。また対照的に現集落と離れた地点での遺構分布も見逃せない。E地区西半部東ではピット、土壌、溝、井戸をまとまった状態で検出し、その検出地点を結ぶ範囲に小規模な集落が想定できる。さらにF地区東部で検出した小数のピットの点在がみられ、分布傾向からすれば調査地域での中世集落の動向を追求する上で、興味深い。平安時代の遺構及び遺物包含層はE地区東半部北西№138地点から南東№456地点を結ぶ一帯に多く分布する。ただD地区南部、E地区西半部北にも遺構が点在しており、北西方向への広がりも留意せねばならない。遺構の密度については、いずれの地点もピット、土壌、溝を重複した状態で検出しており、濃密である。またE地区東半部北の№142では現耕作溝から蔵骨器を完形の状態で採集した。蔵骨器は須恵器薬壺で壺内から骨の細片を確認しており、近接地に墓塚が想定できる事例として重要である。それらのことから今回の調査で検出した平安時代の遺構及び遺物包含層は調査地北東にあたる南春日町遺跡との関連で把握する必要があるだろう。

竈穴住居址は、南春日町窯跡から南東方向に直線距離で約250mの地点にある。住居址からは大量の須恵器が出土したが、生焼け・融着・歪変したものが多数含まれる。奈良時代前半と考えている。なお飛鳥時代に属する須恵器も出土している。当該期の須恵器は、窯跡周辺から住居址の西方までの丘陵沿い耕作地に広範・多数分布することが判明した。この地域にはなお、窯・住居・付属施設などの存在する可能性があり、西山裾野一帯に展開する各期の窯跡の変遷・立地を考えるうえで重要な地域と言える。

表4 試掘調査地点一覧表 (図版16・17)

地区	地点	遺構	遺物	備考	
D	88	なし	土師器 須恵器		
	91	なし	土師器 瓦器		
	96	なし	土師器 瓦器		
	97	なし	瓦器		
	154	ビット・土坑検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 灰釉陶器	トレンチ2カ所	
	156	なし	土師器 瓦器 陶磁器 緑釉陶器 瓦	トレンチ2カ所	
	157	ビット・土坑検出	なし		
	158	なし	なし		
	159	なし	土師器 瓦器 瓦		
	160	ビット・土坑検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	トレンチ2カ所	
	161	なし	なし		
	167	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
	169	ビット・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
	170	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 瓦	トレンチ3カ所	
	172	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
	174	なし	なし		
	178	なし	須恵器 陶磁器		
	180	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
	184	なし	土師器 瓦器 陶磁器		
	195	ビット・遺物包含層検出	土師器 須恵器 陶磁器	トレンチ2カ所	
	196	ビット・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	トレンチ2カ所	
E	197	焼土塊・遺物包含層検出	土師器、須恵器、瓦器、陶磁器 黒色土器 瓦		
	199	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器		
	200	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
	201	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
	205	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
	218	遺物包含層検出・遺構なし	なし		
	E	1	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
		5	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器	
		6	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
		44	なし	なし	
45		なし	なし		
59		遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 鉄 鉄製品		
60		なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦		
66		遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦		
68		遺物包含層検出・遺構なし。	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
87		なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦		
88	なし	陶磁器			

地区	地点	遺構	遺物	備考
E	93	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	94	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦	
	111	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	115	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	116	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	123	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器 銭	
	124	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 銭	
	125	溝・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	135	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	136	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	137	ピット検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦 銭	トレンチ3×9mに拡張
	140	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	148	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 緑釉陶器 灰釉陶器 瓦	
	149	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	158	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 灰釉陶器 瓦	
	169	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	171	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	172	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	187	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所
	190	ピット・井戸・土坑・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
191	ピット・土坑・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 鉄片		
213	ピット検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 灰釉陶器		
217	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 灰釉陶器 瓦		
222	ピット・土坑・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
227	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	トレンチ3カ所	
228	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 灰釉陶器 瓦 鉄製品 銭		
234	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ5カ所	
235	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 瓦 石製品	トレンチ2カ所	
243	なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所	
245	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
248	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 銭		
250	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	トレンチ3カ所	
251	竈穴住居址・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	トレンチ2カ所 1カ所5.5×5m西へ拡張	
252	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器		

地区	地点	遺構	遺物	備考
E	253	溝・遺物包含層検出	なし	トレンチ2カ所
	266	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	270	ピット・遺物包含層検出	なし	トレンチ2カ所
	271	なし	なし	トレンチ2カ所
	273	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	275	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	281	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	282	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 鉄製品	
	283	なし	なし	
	284	ピット・土壇・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土師 緑釉陶器、無釉陶器、瓦	トレンチ3×9mに拡張
	286	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器	
	295	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	302	遺物包含層検出・遺構なし	須恵器 陶磁器 瓦	
	304	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 緑釉陶器	
	307	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 無釉陶器	
	312	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 灰釉陶器 瓦	
	326	なし	陶磁器	
	354	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器 無釉陶器	
	360	なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦	
	367	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	391	溝検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 無釉陶器 瓦	
	403	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 無釉陶器	トレンチ2カ所
	404	なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦	
	410	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所
	412	ピット検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 緑釉陶器 瓦	トレンチ3カ所
	415	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	420	なし	なし	
	421	なし	須恵器 瓦器 陶磁器	
427	溝・遺物包含層検出	土師器 瓦器 陶磁器		
428	なし	なし		
431	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
435	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器	トレンチ2カ所	
436	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
440	なし	土師器 瓦器 陶磁器 石器片		
450	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
451	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 緑釉陶器 灰釉陶器 瓦		

地区	地点	遺構	遺物	備考
E 地 区	452	ピット・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 灰釉陶器	トレンチ2カ所
	454	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 緑釉陶器 瓦	トレンチ2カ所
	455	溝・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 緑釉陶器 灰釉陶器	トレンチ2カ所
	456	ピット・土塚・溝・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 緑釉陶器 灰釉陶器	トレンチ3カ所
	457	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 黒色土器 緑釉陶器 灰釉陶器 瓦	
	462	ピット・遺物包含層検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 緑釉陶器 瓦	トレンチ2カ所
	465	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	467	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	468	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	472	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所
F 地 区	98	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 陶磁器	
	127	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	148	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	182	なし	土師器 瓦器 瓦	
	246	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	250	なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦	
	284	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	291	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所
	295	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	299	なし	陶磁器	
	300	なし	なし	
	322	ピット検出	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	トレンチ5カ所
	324	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦	
	325	遺物包含層検出 遺構なし	土師器 瓦器	
	326	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 鉄	トレンチ2カ所
	328	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 赤土器	トレンチ2カ所
	329	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器	
	331	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器 灰釉陶器 瓦	
	334	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 陶磁器 瓦	トレンチ2カ所
	343	なし	陶磁器	
345	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦		
349	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
350	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 瓦		
351	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		
359	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器		

地区	地点	遺構	遺物	備考
F 地 区	363	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	364	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦	
	365	なし	なし	
	366	なし	なし	
	376	なし	土師器 陶磁器	
	395	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器	
	406	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器	
	411	遺物包含層検出・遺構なし	なし	
	414	なし	土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 土製品	3×3m西へ拡張
	425	なし	陶磁器 鉄製品	
	428	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器 瓦 弥生土器	
	430	溝検出	土師器 瓦器 陶磁器	
	438	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器	
	441	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 瓦器 陶磁器	
457	遺物包含層検出・遺構なし	土師器 須恵器 瓦器		
460	ビット・溝検出	土師器 瓦器 陶磁器 灰輪陶器	トレンチ2カ所	
462	なし	なし		
463	ビット・土坑検出	土師器 瓦器 陶磁器	3×3m西へ拡張	
467	なし	なし		

註1 「南春日町遺跡発掘調査概報」 財団法人京都市埋蔵文化財研究所（1981）

註2 「南春日町窯跡発掘調査の概要」財団法人京都市埋蔵文化財研究所（1979）

註3 「京都市の地名」『日本歴史地名大系27』 平凡社（1979）

註4 「京都市遺跡地図」 京都市文化観光局（1980）

註5 註4 前掲

註6 「京都市内遺跡試掘立会調査概報」 財団法人京都市埋蔵文化財研究所（1982）

註7 「京都市内遺跡試掘立会調査概報」 財団法人京都市埋蔵文化財研究所（1983）

註8 「京都市内遺跡試掘立会調査概報」 財団法人京都市埋蔵文化財研究所（1984）

調査一覧表

I 59年度1～3月期

平安宮 (H Q)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安宮跡	上、中立売通智恵光院西入多門町445-7	立	2 / 21	検出できず。	2 - 20
*	上、仁和寺街道六軒町西入四番町117	立	1 / 9	盛土のみ。	2 - 72
*	上、下立売通大宮西入浮田町613	試	1 / 11	GL-0.6mにて聚楽第の盛り層、 -1.7mにて平安初期の盛り層。	2 - 73
*	上、七本松通下長者町下る三番町274-10	立	1 / 9・ 25-26	GL-0.0mにて時期不明の包含層。	2 - 74
*	上、千本通下立売上る田中町414	立	1 / 30、 2 / 2・8	GL-0.92mにて平安前期の盛り層。	2 - 75
*	上、御前通下立売上る仲之町303-2	立	2 / 1	盛土のみ。	2 - 76
*	上、仁和寺街道七本松西入二番町194	立	2 / 7	盛土のみ。	2 - 77
*	上、松屋町通下長者町上る東郷町615-19	立	2 / 7	検出できず。	2 - 78
*	上、七本松通出水上る三番町278	立	2 / 8	盛土のみ。	2 - 79
*	上、千本通一条下る東石橋町23	立	2 / 22	GL-0.78mにて平安中期の落ち込み。	2 - 80
*	中、聚楽園西町119	立	2 / 25	盛土のみ。	2 - 81
*	上、下長者町通智恵光院東入西辰巳町116-8	立	2 / 25	検出できず。	2 - 82
*	上、御前通下立売上る三丁目西之上町253-1、2	試	3 / 7	GL-0.1mにて平安中期の南北溝、 推定平安宮西側築地の礎。発掘調査 に切り換える。	2 - 83
*	上、丸太町通日暮西入北伊勢屋町742	立	3 / 7	検出できず。	2 - 84
*	上、裏門通中立売下る高台院整町207、208	立	2 / 14	盛土のみ。	2 - 85
*	中、聚楽園松下町17	立	3 / 16	盛土のみ。	2 - 86
*	上、中立売通土曜町東入田丸町375-2 376-4、5他	試	3 / 20	GL-0.6m以下溝2、土塀6、平安2、 宝町-江戸6。発掘調査に切り換える。	2 - 87
*	中、聚楽園南町19-6	立	3 / 20	盛土のみ。	2 - 88
*	上、千本通竹屋町下る聚楽町857他	試	3 / 28	GL-2.3mにて平安の包含層。	2 - 89
*	上、下長者町通智恵光院東入西辰巳町116-6	立	3 / 30	盛土のみ。	2 - 90

平安京東京 (H R)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺二坊 五町	北、大將軍川端町地先	立	2 / 27	掘込みのみ。	4 - 146
一条三坊 十町	右、花園馬代町10地先	立	3 / 23	巡回時工事終了。	3 - 187
二条二坊十一町	中、西ノ京上合町96	立	3 / 19	巡回時工事終了。	4 - 184
二条二坊十二町	中、西ノ京南上合町109	立	2 / 15	GL-0.3m以下包含層3、平安後期1、 室町1、時期不明1。	4 - 167
二条三坊 四町	中、西ノ京南壹井町24	立	3 / 12	GL-1.04m以下平安後期・時期不 明の包含層各1。	3 - 182
二条三坊 六町	中、西ノ京塚本町4-8	立	2 / 1	GL-0.6m以下時期不明の包含層2。	3 - 162
二条四坊 三町	右、太康安井藤ノ木町8-2	立	2 / 27	GL-0.1mにて時期不明の包含層、 -0.25mにて平安前期の井戸。	3 - 173
二条四坊 七町	右、太康安井東裏町地先	立	3 / 23	巡回時工事終了。	3 - 188
三条一坊 一町	中、西ノ京栴尾町(国鉄二条駅構内)	立	1 / 17-19	検出できず。	4 - 152
三条二坊 一町	中、西ノ京綱鉾町20	立	1 / 16	盛土のみ。	4 - 159
三条二坊 三町	中、西ノ京樋口町76-47	立	1 / 17	検出できず。	4 - 153
三条二坊 五町	中、西ノ京北小路4〜7、16-2・3、17-2・3	試	1 / 9-12	姉小路路面・南側溝、平安前-中期 の土塀・溝・包含層、古墳前期の包 含層。発掘調査に切り換える。	4 - 149
四条一坊 三町	中、壬生花井町3	試	2 / 20	GL-0.8mにて江戸の包含層。	8 - 169

四条一坊	四町	中,壬生御所ノ内町35,35-4	試	3/11	G L-1.4mにて鎌倉の包含層、-1.5m以下路面3、平安末期1、時期不明2。	8-180
四条二坊	五町	中,壬生淵田町18-2	立	2/21	盛土のみ。	8-171
四条二坊	八町	中,壬生上大竹町13	試	3/25	G L-1.2mにて平安前期〜鎌倉の湿地堆積。	8-189
四条三坊	一町	右,西院上花田町37-2	立	3/1	盛土のみ。	7-174
五条一坊	四町	中,壬生松原町1-1	立	3/12	検出できず。	8-181
五条一坊	八町	中,壬生高樋町24-1	立	2/16	盛土のみ。	8-168
五条一坊	十五町	中,壬生森前町19	立	3/28	検出できず。	8-191
五条二坊	三町	中,壬生土器ノ内町42	立	1/16	巡回時工事終了。	8-158
五条三坊	四町	右,西院矢張町202	立	1/21	G L-0.38mにて時期不明の土壌。	7-157
五条三坊	七町	右,西院北井御料町地先	立	3/26	巡回時工事終了。	7-190
五条三坊	十三町	右,西院久田町地先	立	2/7	G L-0.85mにて江戸の包含層。	7-164
六条一坊	二町	下,中堂寺北町1-3	立	1/16	G L-0.53mにて平安中期の包含層。	8-151
六条二坊	五町	下,西七条御前田町7-1,2 57-58	立	3/5	G L-0.9mにて江戸の包含層。	8-177
六条三坊	四町	右,西院溝崎町12地	立	2/12	G L-0.93mにて平安前期の包含層。	7-166
		右,西院溝崎町12 他7筆	立	2/12	84-BB-HR-166に隣接、内容は同じ。	7-178
六条三坊	四町	右,西院溝崎町21	立	2/13	検出できず。	7-179
七条一坊	六町	下,朱雀北ノ口町58-1・2,59,60-1,2	試	2/22	G L-0.3mにて鎌倉の包含層、-0.5mにて鎌倉の井戸。	8-172
七条一坊	十六町	下,西七条西八反町20	試	3/4	G L-0.65mにて平安前期の包含層、-0.8mにて弥生の包含層。	8-175
七条三坊	十町	右,西京極南庄渡町5	立	1/17	G L-0.56mにて平安末期の包含層。	7-154
七条三坊	十三町	右,西京極大門町地先	立	3/20	G L-1.0m以下時期不明の流れ堆積。	7-185
七条四坊	十町	右,西京極東池田町12	試	1/31	G L-0.74mにて湿地状堆積。	7-161
七条四坊	十五町	右,西京極西池田町20	立	1/21	盛土のみ。	7-156
		右,西京極池田町29地先	立	2/5	擾乱のみ。	7-163
八条一坊	十三町	下,柳小路東中町42	立	3/4	G L-0.4m以下路面4、平安前期1、時期不明3。	12-176
八条二坊	十町	下,七条御所ノ内北町92	試	1/25	G L-1.08m以下平安前期の包含層2、-2.1mにて古墳前期の包含層。	12-160
九条三坊	四町	南,吉祥院西ノ庄猪之馬場町1	試	1/14	江戸の流れ堆積のみ。	11-150
九条三坊	八町	南,吉祥院西ノ庄西中町7,10,11	試	3/22	G L-0.7m以下時期不明の流れ堆積。	11-186
九条四坊	五町	南,吉祥院新田参ノ段町1	立	3/13	盛土のみ。	
九条四坊	六町	南,吉祥院内河原町20	試	1/21	G L-0.5m以下時期不明の流れ堆積。	11-155
		南,吉祥院中河原里西町16	立	2/7	G L-0.9m以下時期不明の流れ堆積。	11-165
九条四坊	八町	南,吉祥院宮ノ西町地先	立	2/20	検出できず	11-170

平安京左京 (H L)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図番番号	
北辺一坊	八町	上,一条通大宮西入下石橋南半町40	試	2/6	G L-1.0m以下江戸の整地層。	5-281
北辺一坊	八町	上,一条通智恵光院東入鏡石町38	試	2/6	85-BB-H L-281と同一敷地。	5-282
一条二坊	一町	上,下長者町通馬門西入吉野町715	立	3/7	G L-1.55mにて江戸の土壌。	5-298
一条二坊	九町	上,東堀川通上長者町下二町目29-2	立	3/16	G L-0.54mにて麓山の土壌3。	5-305
一条二坊	十町	上,東堀川通下長者町下三町目12	試	2/12	G L-0.3mにて江戸末期の包含層。	5-284
一条二坊	十四町	上,小川通上立上る勸兵衛町121	試	2/25	G L-1.2mにて室町後期の土壌。	5-292
一坊三坊	四町	上,新町通丸太町上る善善町355-5	立	3/25	盛土のみ。	6-314
二条二坊	十町	中,東堀川通丸太町下る七町目地先	立	3/30	盛土のみ。	5-320
二条三坊	七町	中,衣通通竹屋町上る玉輪町239-2	立	3/29	G L-0.95mにて鎌倉の包含層。	6-319
二条四坊	二町	中,間之町通竹屋町上る大津町661-1	立	2/12	G L-0.9m以下平安末期・室町前期の包含層各1。	6-286
二条四坊	三町	中,竹屋町通高倉西入堀之内町642	立	1/19	盛土のみ。	6-268

二条四坊 三町	中、間之町通美川上る榎町596、596-11	立	1 / 19	盛土のみ。	6 - 269
二条四坊 四町	中、高倉通二条上る天守町750-1・2	立	2 / 12	盛土のみ。	6 - 285
二条四坊 七町	中、高倉通竹屋町上る坂本町698	立	1 / 17-19	G L-0.85m以下江戸の包含層3。	6 - 284
三条一坊 二町	中、西ノ京朝司町26-13・14・16	立	3 / 12-13	G L-0.6mにて時期不明の溝、推定 糸雀大路西側溝。	5 - 300
三条二坊 十町	中、油小路通御池上る押油小路町233	立	2 / 9	G L-0.77m以下包含層3、平安後期 2、鎌倉1、平安後期の路面、平安後 期・時期不明の土壌各2。	5 - 283
三条二坊十三町	中、油小路通師小路下る宗林町110	立	1 / 18-19	G L-0.66m以下平安中期・後期・ 鎌倉・室町の包含層各1。	5 - 266
三条三坊 一町	中、並座通二条下る上松屋町703	立	2 / 4・5	G L-1.11mにて江戸の包含層。	6 - 280
三条三坊 七町	中、女權通御池上る西横町179-7	立	3 / 15	検出できず。	6 - 304
三条三坊 八町	中、女權通二条下る大恩寺町245	立	1 / 25	検出できず。	6 - 277
三条四坊 一町	中、高倉通二条下る夏町550	立	3 / 25-29	G L-1.95mにて江戸の池跡。	6 - 313
三条四坊十六町	中、二条通熱屋町東入丁子屋町689	立	3 / 6	盛土のみ。	6 - 297
四条一坊 五町	中、壬生坊城町27-5	立	3 / 28	G L-1.1mにて室町の包含層。	9 - 317
四条一坊十五町	中、大宮通六角下る六角大宮町234	立	1 / 31	G L-0.9mにて室町の包含層。	9 - 278
四条一坊十六町	中、大宮通三条下る三条大宮町271	立	2 / 15	検出できず。	9 - 288
四条二坊十四町	中、油小路通晴菜師下る山田町	立	1 / 18-24	盛土のみ。	9 - 285
四条三坊 二町	中、晴菜師通新町西入不動町181	立	3 / 18	G L-1.24mにて鎌倉の包含層。	10 - 308
四条三坊 十町	中、室町通晴菜師上る煙山町	立	3 / 22	G L-1.5mにて鎌倉の包含層。	10 - 310
四条三坊十二町	下、因条通鳥丸西入函谷鐘町85-1	立	1 / 25	G L-1.43mにて江戸の包含層。	10 - 275
四条四坊 一町	中、室町通四条上る菊水鐘町585	立	3 / 18	盛土のみ。	10 - 307
四条四坊 一町	中、東洞院通三条下る三文字町200	立	3 / 5	G L-1.3m以下鎌倉・室町の包含層 各1。	10 - 295
四条四坊 三町	中、西魚屋町607	立	3 / 28	検出できず。	10 - 318
四条四坊 五町	中、高倉通鐘小路下る帯屋町572	立	3 / 20	G L-2.2mにて土壌5、平安中期1、 鎌倉1、室町5、時期不明2。	10 - 309
四条四坊十四町	中、晴菜師通御幸町東入船屋町363-1	立	3 / 7	G L-1.65m以下平安後期・室町の 包含層各1。	10 - 299
五条一坊 八町	中、壬生實陽御所町61-8、13	立	1 / 9	盛土のみ。	9 - 262
五条一坊十四町	下、仏光寺通大宮西入坊町7829	立	3 / 15	G L-0.67m以下包含層3、江戸2、 時期不明1。	9 - 303
五条二条 一町	下、綾小路通播磨東入松本町284-5	立	2 / 27	巡回時工事終了。	9 - 294
五条二坊 二町	下、綾小路通黒門東入丸屋町556	立	3 / 13	G L-0.42m以下包含層3、平安後期 1、室町1、江戸1。	9 - 301
五条二坊 十町	下、油小路通綾小路下る黒早町566	立	3 / 25	巡回時工事終了。	9 - 315
五条二坊十二町	下、堀川通高辻下る東洲五軒町384	立	1 / 25	G L-1.2mにて時期不明の路面。	9 - 276
五条二坊十五町	下、仏光寺通油小路東入黒早町	立	3 / 22	G L-1.05mにて時期不明の包含層。	9 - 312
五条三坊 一町	下、西洞院通四条下る妙伝寺町714	立	1 / 23、 2 / 1	G L-1.07mにて平安後期の包含層。	10 - 272
五条三坊 一町	下、新町通四条下る四条町366	立	2 / 23-27、 3 / 2・4	G L-1.4m以下平安前期・平安末期 ・室町の包含層各1。平安前期・室町 の土壌11、室町の井戸。	10 - 291
五条四坊十三町	下、松原通御幸町西入石不動之町680-2	立	1 / 22	G L-1.15m以下平安末期・室町の 包含層各1。	10 - 270
五条四坊十五町	下、寺町通綾小路下る中之町560	立	1 / 24-28	検出できず。	10 - 273
六条一坊 三町	下、中堂寺坊城町17-2	試	2 / 27	G L-0.65mにて平安前期の溝。	9 - 293
六条一坊 三町	下、中堂寺坊城町12-2	立	3 / 6	G L-0.6mにて鎌倉～室町の包含層、 -1.3mにて平安の土壌。	9 - 296
六条一坊十五町	下、中堂寺御筋町23-1	立	2 / 22	G L-0.45mにて鎌倉の包含層、 -0.75mにて時期不明の土壌3。	9 - 289
六条二坊 九町	下、松原通油小路西入樋口町319他2筆	立	1 / 17	G L-1.2mにて平安末期の包含層。	9 - 263
六条三坊 九町	下、塚跡町通松原下る弁財天町335	立	3 / 22	G L-1.27mにて室町の包含層。	10 - 311
六条四坊 八町	下、高倉通松原下の樋之下町32	立	1 / 24-29	G L-0.8mにて江戸の包含層。	10 - 274

七条二坊十五町	下、油小路通花屋町下る仏具屋町214	立	1 / 18・ 19・21	G L-0.75m 以下平安後期～江戸の 路面8、-0.95m 以下包含層3、平安 中期1、後期1、時期不明1。	9-267
七条三坊 五町	下、七条通新町東入西境町160	立	3 / 18	G L-0.85m にて時期不明の包含層。	10-306
七条四坊 九町	下、河原町通五条下る本福地町584	立	2 / 13	検出できず。	10-287
八条三坊 一町	下、七条通新町西入南之町687-1～4、689	立	3 / 30	盛土のみ。	12-321
八条三坊十五町	下、烏丸通堀小路上る東堀小路町719	立	1 / 23	検出できず。	12-271
八条四坊 七町	下、小橋町78	立	2 / 1	G L-1.2m にて江戸の包含層。	12-279
九条二坊 三町	南、東寺東門前町33	立	3 / 15	G L-0.5m にて時期不明の包含層。	11-302
九条二坊十二町	南、西九条春日町44地先	立	3 / 30	G L-0.7m 以下時期不明の流れ堆積。	11-322
九条三坊 三町	南、東九条中殿田町10	立	3 / 25・26	G L-1.8m にて古墳の遺物を含む流 れ堆積。	12-316

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
常盤東ノ町古墳群	右、太秦和泉式部町5、5-7	立	2 / 12	検出できず。	
蜂岡寺跡隣接地	右、太秦多敷町13-4、20-3	立	2 / 14	G L-0.5m にて鎌倉の包含層。	
円教寺跡	右、花園天授ノ町町16-5	立	2 / 27	検出できず。	
○	右、花園円成寺町	立	3 / 18～ 25	G L-0.35m にて平安後期の南北溝。	
仁和寺院家跡	右、常盤古御所町15-2	立	3 / 1	盛土のみ。	

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
紫野斎院跡	北、紫野東藤ノ森町	立	3 / 12	G L-0.85m にて時期不明の包含層。	
上賀茂遺跡	北、上賀茂変之森町	立	2 / 21	G L-0.1m 以下時期不明の路面3。	
植物園北遺跡	北、上賀茂畔橋町60-1	立	1 / 22	検出できず。	13-30
○	左、下鴨水口町47	試	1 / 29	G L-0.21m にて古墳前期の壁穴柱 居址3戸。	13-31
○	北、上賀茂板井町50-2	立	2 / 2	検出できず。	13-32
○	北、上賀茂岡本町63	立	3 / 30	G L-1.15m にて古墳前期の包含層。	13-36
北野庭寺	上、西町今出川通御前西入南側地先	立	1 / 18～ 3 / 20	G L-0.4m にて桃山の土壌。	

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
一乗寺向畑遺跡跡	左、一乗寺向畑町地先	立	2 / 2・4-5 14・15	検出できず。	
岡崎遺跡	左、岡崎法勝寺町90-4	立	1 / 26	検出できず。	13-30
○	左、岡崎法勝寺町(京都市動物園)	立	1 / 31	盛土のみ。	13-31
○	左、岡崎法勝寺町(京都市動物園)	立	2 / 14	盛土のみ。	13-33
追分町古墳群	左、北白川久保田町60-11	立	3 / 18	G L-0.0m にて室町の包含層。	
白河南殿跡	左、聖護院道華蔵町4-6	立	2 / 21	盛土のみ。	13-34
○	左、杉本町259-3	立	3 / 30	盛土のみ。	13-36

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中臣遺跡	山、勤修寺東金ノ嶋68-1	試	1 / 18	検出できず。	13-61
○	山、勤修寺東栗原野町87	立	1 / 18	盛土のみ。	13-62
○	山、西野山中臣町地先	立	2 / 6 12・15	G L-0.75m 以下古墳後期の遺物を 含む旧安祥寺川の流れ堆積。	13-70

中 臣 造 跡	山、勸修寺西栗橋野町47	試	2 / 18	検出できず。	13 - 72
*	山、勸修寺西金ヶ崎地内67-1号地 (保留地)	試	2 / 28	G L-2.2mにて時期不明の包含層2。	13 - 75
*	山、勸修寺風呂尻町17-3	試	3 / 1	G L-1.9m以下室町の包含層2。	13 - 76
*	山、西野山中臣町71-9	立	3 / 7	盛土のみ。	13 - 77
大 塚 造 跡	山、小山中ノ川町39-31	立	1 / 18	検出できず。	
後山階陸造跡	山、安米稲荷山町18-1	立	2 / 28	盛土のみ。	
山科本願寺跡	山、西野広見町24-1	立	3 / 26	検出できず。	
六液羅政庁跡	東、山城町地先	立	1 / 24-29	擾乱のみ。	
*	東、五条橋東二丁目27	立	2 / 6	盛土のみ。	
*	東、三盛町170-3	立	3 / 22	G L-0.65mにて江戸の包含層。	
法住寺殿跡	東、本町1660-5	立	1 / 17	巡回時工事終了。	
法性寺跡	東、泉涌寺門前町地先	立	1 / 21~ 24、26、 2 / 6・8	検出できず。	
*	東、本町十一丁目718	試	2 / 4	G L-0.26mにて江戸の整地層。	
*	東、本町十一丁目718	試	2 / 4	G L-1.48m以下整地層3、室町後期1、時期不明2。	
*	東、泉涌寺五薬ノ辻町5地先	立	2 / 6	G L-0.05mにて室町の包含層。	
*	東、本町十一丁目205	立	2 / 16-20	G L-0.3mにて時期不明の土壌2。 -0.46mにて鎌倉の井戸、室町の土壌。	
*	東、本町十五丁目76-16	立	2 / 21	G L-1.25mにて時期不明の包含層。	
*	東、本町十九丁目427	立	3 / 13-15	検出できず。	
*	東、一橋野本町94	立	3 / 29	擾乱のみ。	

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
伏見城跡	伏、風呂屋町241	立	1 / 21	盛土のみ。	
*	伏、桃山井伊掃部西町7-1	立	1 / 28	盛土のみ。	
*	伏、桃山井伊賀東町47地	試	2 / 25	検出できず。	
*	伏、深草中ノ島町31	立	2 / 25	検出できず。	
*	伏、柿ノ木浜町	立	3 / 2	擾乱のみ。	
*	伏、桃山町編島6-41.42	立	3 / 4	G L-0.76mにて時期不明の包含層。	
*	伏、京町六丁目51	立	3 / 20	G L-0.4mにて江戸の土壌。	
*	伏、桃山井伊掃部東町地先	立	3 / 20	巡回時工事終了。	

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
深草造跡	伏、深草野田町17	試	1 / 23	G L-0.4mにて室町の包含層、-0.5mにて土壌5、室町3、時期不明2。	
*	伏、深草西浦町六丁目43-1	試	2 / 1	G L-0.78m以下時期不明の流れ堆積。	
下鳥羽造跡	伏、竹田泓ノ川町4-2	立	2 / 8	検出できず。	14 - 40
*	伏、中島外山町19	試	3 / 11	G L-0.9m以下時期不明の流れ堆積。	14 - 45
*	伏、竹田松林町38	試	3 / 13	G L-0.93m以下時期不明の包含層5、 -1.75m以下池伏堆積。	14 - 46
*	伏、下鳥羽城ノ越町29の一部	立	3 / 20	G L-0.59m以下時期不明の包含層2。	14 - 48
鳥羽離宮跡	伏、中島宮ノ後町	立	1 / 30	検出できず。	14 - 37
*	伏、竹田小屋ノ内町43-1	試	2 / 8	G L-1.11mにて平安後期の包含層。	14 - 38
*	伏、竹田小屋ノ内町43-2	試	2 / 8	G L-1.08mにて平安後期の包含層。	14 - 39
*	伏、竹田中殿町58	試	2 / 14	G L-0.55m以下時期不明の包含層3、溝。	14 - 41

鳥羽離宮跡	伏、中島宮ノ前町2-1、中島北ノ口町11~4,31	立	2 / 15	GL-1.6mにて時期不明の整地層。	14 - 42
＊	伏、竹田小屋ノ内町19-1	立	3 / 1	盛土のみ。	14 - 43
＊	伏、竹田小屋ノ内町地先	立	3 / 1	検出できず。	14 - 44
＊	伏、竹田内畑町79	立	3 / 25	盛土のみ。	14 - 49
＊	伏、中島中道町20	試	3 / 29	GL-1.53mにて芥生~平安の湿地状堆積。	14 - 50
＊	伏、竹田小屋ノ内町地先	立	3 / 29	GL-0.8mにて釈迦堂の基壇北西部分。	14 - 51
西飯食町遺跡	伏、深草池ノ内町10地先	立	3 / 15	GL-1.6mにて桃山の包含層。	

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
遺跡外	西、牛ヶ瀬車ヶ瀬牛ヶ瀬公園内	立	1 / 16	盛土のみ。	
中久世遺跡	南、久世中久町730, 731	試	1 / 16	検出できず。	15 - 9
＊	南、久世中久世町三丁目96-1, 96-2	立	2 / 18	GL-0.7m以下弥生の流路2、柱穴、土壌各1、壱町の土壌、落ち込み各1。	15 - 12
＊	南、久世隠城町465地先	立	3 / 2・5	GL-0.42mにて時期不明の包含層。	15 - 13
大蔵遺跡	南、久世大蔵町地先	立	1 / 24	巡回時工事終了。	15 - 11
南春日町遺跡	西、大原野南春日町、石作町、灰力町	試	'84 11 / 1 ~'85 4/5	E区にて奈良の竪穴住居址、平安~鎌倉のピット、土壌、溝、井戸、包含層。D区にて壱町のピット、土壌。本文43ページ。	

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	南、久世大蔵町425	試	1 / 28・31	GL-1.1mにて時期	
＊	伏、羽東師志水町地先	立	1 / 30	GL-1.1mにて時期不明の溝、土壌各1。	15 - 19
＊	伏、羽東師志水町336-19	立	2 / 13	検出できず。	
＊	伏、久我森の宮町地	立	3 / 4	検出できず。	
＊	伏、横大路西海道2-1	試	3 / 12	GL-0.85m以下時期不明の池状堆積。	

II 60年度4~12月期

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安宮跡	中、聚楽園西町165	立	4 / 15	盛土のみ。	2 - 1
＊	中、聚楽園南町24-4	立	4 / 18	盛土のみ。	2 - 2
＊	上、智恵光院通竹園町下る主税町827	立	4 / 20	GL-0.7mにて時期不明の包含層。	2 - 3
＊	上、御前通下立売下下之町地先	立	4 / 22, 5 / 8・10	GL-0.98mにて時期不明の包含層、-1.1m以下平安後期の包含層2。	2 - 4
＊	中、聚楽園松町1-21	立	4 / 23	盛土のみ。	2 - 5
＊	上、日暮通下長者町下る押口町158-2	立	5 / 1	盛土のみ。	2 - 6
＊	上、千本通上長者町下る草堂前之町116	試	5 / 2	GL-1.2mにて土壌5、江戸前期1、後期1、時期不明3、時期不明の井戸・柱穴各1。	2 - 7
＊	中、聚楽園松町6	立	4 / 30 5 / 15	GL-0.25mにて時期不明の土壌。	2 - 8
＊	中、西ノ京内畑町19, 34, 35	立	5 / 8	盛土のみ。	2 - 9
＊	中、西ノ京左馬寮町10-25	立	5 / 8	盛土のみ。	2 - 10

平安宮路	中、西ノ京左馬寮町10-25	立	5 / 8	盛土のみ。	2- 11
+	上、下立先通松屋町西入浮田町601-2	試	5 / 10	G L-1.2m以下桃山・江戸初期の包含層各1。	2- 12
+	下、下立先通御前東入西東町361	試	5 / 17	G L-0.5mにて平安・江戸の土壌各1。	2- 13
+	上、智恵光院通丸太町上る西院町地先	立	5 / 18	巡回時工事終了。	2- 14
+	上、榎木町通千本東入小山町地先	立	6 / 1	G L-0.5mにて時期不明の瓦層。	2- 15
+	上、榎木町通日暮西入佛前町地先	立	6 / 1	巡回時工事終了。	2- 16
+	上、智恵光院通竹屋町下る主税町827	試・立	6 / 4・27	G L-0.95mにて江戸の池伏地堆積。	2- 17
+	上、日暮通榎木町下る北伊勢屋町地先	立	6 / 6	巡回時工事終了。	2- 18
+	上、大宮通下立先下る薬屋町地先	立	6 / 7	掘乱のみ。	2- 19
+	中、西ノ京右馬寮町1	立	6 / 10	盛土のみ。	2- 20
+	中、聚楽園西町102-3の一部	立	6 / 12	検出できず。	2- 21
+	中、聚楽園中町27, 39-1	試	6 / 17	G L-1.1mにて江戸の包含層。	2- 22
+	上、松屋町通榎木町下る三丁目地先	立	6 / 20	検出できず。	2- 23
+	上、智恵光院通出水下る分銅町	立	6 / 26	G L-1.05m以下時期不明の包含層2。	2- 24
+	上、千本通丸太町上る小山町880	試	6 / 28	G L-0.3mにて平安の基礎。発掘調査に切り替える。	2- 25
+	上、丸太町通御前東入下之町11	立	7 / 5	巡回時工事終了。	2- 26
+	上、竹屋町通千本東入主税町911	立	7 / 5	盛土のみ。	2- 27
+	中、西ノ京車坂町4-1	立	7 / 9	盛土のみ。	2- 28
+	上、下長者町通七本松西入下る鳳鳴町245-22	立	7 / 12	検出できず。	2- 29
+	上、中立先通千本東入丹波屋町360	立	7 / 15	検出できず。	2- 30
+	上、中立先通千本東入丹波屋町360	立	7 / 15	検出できず。	2- 31
+	中、西ノ京車坂町2	立	7 / 16	盛土のみ。	2- 32
+	上、智恵光院通出水上る天秤丸町191	試	7 / 17	検出できず。	2- 33
+	中、聚楽園東町9	立	7 / 19	盛土のみ。	2- 34
+	上、下立先通大宮西入浮田町617-2	立	7 / 23	検出できず。	2- 35
+	上、智恵光院通中立先下る多門町地先	立	7 / 30	掘乱のみ。	2- 36
+	上、下立先通御前東入西東町357	立	7 / 30	検出できず。	2- 37
+	中、聚楽園東町8-2	試	7 / 31	G L-0.7mにて江戸の土壌。	2- 38
+	上、千本通出水下る東入十四軒町413	立	8 / 5	盛土のみ。	2- 39
+	中、西ノ京内堀町5	立	8 / 10	盛土のみ。	2- 40
+	上、大宮通下長者町下る清元町736-6	立	8 / 17	盛土のみ。	2- 41
+	上、上長者町通土屋町東入山王町510-1	立	8 / 24	検出できず。	2- 42
+	上、下立先通七本松東入長門町435	立	8 / 24	検出できず。	2- 43
+	上、浄福寺通一条下る東入東西依徳町642-2・10	試	8 / 29	G L-1.6mにて時期不明の土壌2。	2- 44
+	上、六軒町通出水上る西入七番町344-2	立	8 / 29	盛土のみ。	2- 45
+	上、六軒町通出水上る西入利生町294-29	立	9 / 2・3	G L-1.07mにて江戸の包含層。	2- 46
+	上、丸太町通日暮東入南伊勢屋町750	試	9 / 4	G L-0.59m以下江戸の包含層、平安の整地層、平安後期の落ち込み。	2- 47
+	中、西ノ京右馬寮町14	立	9 / 14	検出できず。	2- 48
+	上、土屋町通一条下る東西伊屋町642-12	立	9 / 17	G L-0.8mにて江戸の包含層。	2- 49
+	上、中立先通浄福寺西入加賀屋町409	試	9 / 20	G L-0.12m以下江戸の包含層2。	2- 50
+	中、聚楽園松町3-23, 5	立	9 / 21	検出できず。	2- 51
+	上、下の森通下立先上る鳳鳴町	立	9 / 24	G L-0.2mにて平安の包含層。	2- 52
+	上、御前通下立先上る仲之町289-20	立	9 / 26	盛土のみ。	2- 53
+	上、千本通出水下る尾ヶ崎横町350	立	9 / 30	G L-0.29mにて時期不明の包含層。	2- 54
+	上、千本通竹屋町下る聚楽園町848	立	9 / 30	G L-0.4mにて江戸の落ち込み。	2- 55
+	中、聚楽園東町1	立	10 / 3	検出できず。	2- 56
+	中、西ノ京左馬寮町28-2	試	10 / 9	G L-0.78mにて時期不明の包含層。	2- 57
+	上、榎木町通千本東入小山町908-53	試	10 / 18	G L-0.2mにて基礎化粧石の採取。掘削調査に	2- 58

平安宮跡	上、淨福寺通出水上の白銀町257-1	立	10/18	切り換える。 巡回時工事終了。	2-59
	中、聚楽庵西町184-3	立	10/23	盛土のみ。	2-60
	上、中立亮通浄福寺西入加賀墨町398-1	立	10/29	検出できず。	2-61
	中、聚楽庵西町74-5	立	11/1	検出できず。	2-62
	上、上長者町通千本西入五番町	立	11/5	G L-0.4mにて時期不明の包含層。	2-63
	上、松屋町通中立亮下の神明町443-6	立	11/6	巡回時工事終了。	2-64
	上、浄福寺通出水上の白銀町地先	立	11/6 7-14	検出できず。	2-65
	上、浄福寺通中立亮上の東西使里町157	立	11/8	巡回時工事終了。	2-66
	上、丸太町通日暮西入南伊勢屋町757-2	立	11/12-13	G L-0.3m以下平安後期・江戸の包含層各1、平安・桃山の整地層各1。	2-67
	上、下立亮通千本西入福廣町464	試・立	11/13 12/5-9	G L-1.11mにて掘込み地盤による 版築遺構。推定中和成神墓殿。	2-68
	上、浄福寺通上長者町上の要丸町681-1	立	12/4	盛土のみ。	2-69
	上、日暮通出水上の金馬場町163-1・3	立	11/16	盛土のみ。	2-70
	上、仁和寺街道七本松西入二番町194-15	立	11/16	検出できず。	2-71
	中、西ノ京左馬寮町地先	立	11/18・ 20-21	検出できず。	2-72
	上、六軒町通出水下の西入七番町329-10	立	11/19	巡回時工事終了。	2-73
	中、西ノ京小堀町2	立	11/19	検出できず。	2-74
	上、竹屋町通千本東入主税町911 二条中学校	立	11/19~ 22	G L-0.5m以下包含層3、平安後期1、 宝町1、江戸1。	2-75
上、六軒町通出水上の七番町	立	11/21	G L-0.4m以下後期不明の包含層3。	2-76	
上、千本通上長者町下の革堂前之町96-1	立	12/9-11	G L-0.64m以下平安後期・時期不明の包含層各1。	2-77	
上、千本通出水上の東入弁天町315	立	12/10-12	盛土のみ。	2-78	
上、旗木町通土屋町西入中務町490	立	12/11-12	G L-0.4m以下包含層3、平安中期1、 江戸1、時期不明1。	2-79	
上、千本通出水下の東入十四軒町402-7	立	12/13-17	G L-0.3m以下包含層3、平安前期2、 時期不明1、時期不明の土壌。	2-80	

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺一坊 四町	上、六軒町通中立亮上の西入三軒町57-2	立	7/25	検出できず。	4-68
上、六軒町通中立亮上の西入三軒町57-1他	立	7/25	検出できず。	4-159	
北辺二坊 二町	上、御前通仁和寺街道下の下野町152	立	5/22	検出できず。	4-31
北辺二坊 三町	上、仁和寺街道御前西入下横町209	立	4/16	G L-0.9mにて平安後期の土壌、 -1.0mにて平安中期の包含層。	4-7
上、仁和寺街道御前西入下横町	立	5/21	検出できず。	4-30	
北辺三坊 二町	北、大将軍南一条町51	立	5/10	盛土のみ。	3-20
北辺三坊 三町	北、大将軍南一条町65	立	12/5-9	G L-0.12m以下平安前期・時期不明の包含層各1。	3-160
北辺四坊 一町	北、等持院南町75-8・34	立	11/25-26	G L-0.2mにて時期不明の整地層。	3-152
一条二坊 二町	上、御前通西裏上の下立亮上の北町566	立	6/28	検出できず。	4-47
一条二坊 七町	上、上の下立亮通御前西入二丁目堀川町S27-34	立	5/4	巡回時工事終了。	4-38
上、上の下立亮通御前西入二丁目堀川町S21	立	9/4	検出できず。	4-96	
一条二坊 九町	北、大将軍東廣司町172	立	8/8	検出できず。	4-77
一条二坊 十町	中、西ノ京中保町64	試	11/8	G L-0.15mにて江戸の包含層、-0.35mにて土壌4、宝町1、時期不明3。	4-141
一条二坊十二町	中、西ノ京門町17	立	10/31	検出できず。	4-133

一条三坊 二町	中、西ノ京御興岡町2-8	立	11 / 1		
＊	中、西ノ京御興岡町9	立	9 / 3	検出できず。	3 - 95
一条三坊 六町	中、西ノ京伯楽町10-6	立	10 / 31	検出できず。	3 - 134
＊	中、西ノ京伯楽町4-15	立	5 / 8	G L - 0.6mにて葦町の落ち込み。	3 - 19
一条三坊 七町	中、西ノ京御興岡町18	立	5 / 11	検出できず。	3 - 24
一条三坊 八町	北、大將軍西宮司町18	立	6 / 3	G L - 0.26mにて時期不明の土壌。	3 - 39
一条三坊十五町	右、花園北町14-12	立	10 / 14-16	G L - 0.48m以下時期不明の土壌2。	3 - 124
一条四坊十一町	右、花園寺ノ前町40	立	9 / 20	検出できず。	3 - 109
二条二坊 一町	中、西ノ京四町	立	12 / 14	検出できず。	3 - 165
二条二坊 四町	中、西ノ京冷泉町 145	立	12 / 7	検出できず。	4 - 163
二条二坊 五町	中、西ノ京笠殿町159	立	8 / 2	検出できず。	4 - 74
二条二坊 七町	中、西ノ京平町81-1	立	11 / 5	検出できず。	4 - 138
二条二坊 十町	中、西ノ京南円町83	立	10 / 18	盛土のみ。	4 - 196
		立	4 / 30~	G L - 0.99mにて平安中期の包含層、	4 - 15
		立	5 / 2	-1.17にて平安中期の土壌。	
二条三坊 一町	中、西ノ京中御門西町28-2	立	5 / 13-15	G L - 0.1mにて平安前期の包含層。	3 - 25
二条三坊 二町	中、西ノ京中御門西町52, 53	立	4 / 30	G L - 0.95mにて平安の春日小路の路面。	3 - 14
二条三坊 七町	中、西ノ京春日町16	試・立	11 / 28-30	G L - 0.36mにて平安の包含層。	3 - 154
			12 / 2・10		
			・23		
二条三坊十一町	北、大將軍一条町76	立	12 / 17	盛土のみ。	3 - 169
二条三坊十四町	右、太樂安弁藤ノ木町	立	5 / 23	検出できず。	3 - 32
三条一坊 一町	中、西ノ京小堀池町地先~西ノ京榊尾町地先	立	10 / 14	巡回時工事終了。	4 - 125
三条一坊 五町	中、西ノ京小倉町22	立	6 / 5	検出できず。	4 - 41
三条一坊 十町	中、西ノ京永本町20	立	9 / 11	検出できず。	4 - 103
三条一坊十一町	中、西ノ京東月光町35	立	12 / 24	G L - 0.22mにて平安の包含層、	4 - 172
				-0.32mにて平安の土壌2。	
三条二坊 三町	中、西ノ京樋口町39	立	5 / 30	G L - 0.48mにて時期不明の包含層2。	4 - 35
＊	中、西ノ京樋口町35	立	9 / 17	G L - 0.81mにて平安中期の落ち込み。	4 - 106
三条二坊 四町	中、西ノ京樋口町115	立	10 / 12	G L - 0.53mにて江戸の包含層。	4 - 123
三条二坊 七町	中、西ノ京藤町地先	立	12 / 14	盛土のみ。	4 - 167
三条二坊 八町	中、西ノ京藤町97	試・立	6 / 6 - 10	G L - 0.7mにて土壌3、平安中期1、	4 - 43
				時期不明2。	
＊	中、西ノ京藤町98, 100	試	7 / 4・5	G L - 1.29mにて平安後期の池伏地積、	4 - 55
				-1.4mにて平安の柱穴・土壌各1。	
＊	中、西ノ京藤町28-2	立	11 / 15	G L - 0.19mにて葦町の包含層、	4 - 147
				-0.78mにて平安中期の包含層。	
三条二坊 十町	中、西ノ京藤町117-5	立	8 / 22	検出できず。	4 - 90
三条二坊十三町	中、西ノ京三条坊町地先	立	5 / 2・10	G L - 0.5mにて時期不明の土壌。	4 - 17
＊	中、西ノ京三条坊町2	立	11 / 27-29	G L - 0.58mにて平安後期の包含層、	4 - 153
				-0.76mにて平安中期・時期不明の土壌各1。	
三条三坊十二町	中、西ノ京桑原町9-2	立	10 / 17	検出できず。	3 - 128
三条三坊十三町	中、西ノ京島ノ内町22	試	9 / 6	G L - 1.25mにて平安前期の包含層。	3 - 98
三条三坊十五町	中、西ノ京月輪町27-6	立	11 / 21	G L - 0.55mにて時期不明の土壌2。	3 - 150
＊	中、西ノ京月輪町22-1 その他	試	11 / 22	G L - 0.43mにて土壌7、鎌倉~室町	3 - 151
				2、時期不明5。 - 0.52mにて火山灰堆積。	
三条四坊 五町	右、山ノ内北ノ口町地先	立	6 / 24	巡回時工事終了。	3 - 52
三条四坊 九町	右、太樂安弁西沢町23	立	8 / 20-21	G L - 1.4m以下湿地状地積。	3 - 89
四条一坊 四町	中、壬生花井町15, 16-2	試	7 / 10	G L - 0.75mにて葦町後期の土壌。	8 - 60
四条一坊 八町	中、壬生天池町40	立	4 / 17	盛土のみ。	8 - 9

四糸一坊	九町	中、壬生神明町地先	立	6 / 1	盛土のみ。	8 - 37
"	"	中、壬生森町地先	立	6 / 20-22	G L - 0.86mにて時期不明の包含層。	8 - 49
"	"	中、壬生森町56-22	立	8 / 23	検出できず。	8 - 91
"	"	中、壬生森町60-15・16・17・18	立	9 / 10	検出できず。	8 - 101
四糸一坊十四町		中、壬生森町68	立	4 / 16	検出できず。	8 - 8
四糸一坊十五町		中、壬生中川町地先	立	4 / 25-30 5 / 10	検出できず。	8 - 10
四糸二坊	一町	中、壬生上大竹町7	立	9 / 14	検出できず。	8 - 105
四糸二坊	三町	中、壬生東源田町8地先-15地先	立	4 / 1	G L - 0.4m以下平安前期の土壌。	8 - 1
四糸二坊	四町	中、壬生東源田町5-1, 5-4	立	9 / 18	G L - 0.78m以下平安中期・室町・ 時期不明の包含層各1。	8 - 107
四糸二坊	五町	中、壬生源田町30-3	立	5 / 17	G L - 0.5mにて時期不明の包含層。	8 - 28
四糸二坊	十町	右、西院東今田町37-5	立	6 / 21	G L - 1.21mにて平安前期の包含層。	8 - 50
四糸二坊十一町		右、西院東今田町43-1	立	5 / 30	G L - 0.5mにて時期不明の包含層。	8 - 36
四糸二坊十二町		中、壬生源田町1-5	立	10 / 25	検出できず。	8 - 131
"	"	右、西院東洋和院町33	立	11 / 2	盛土のみ。	8 - 137
四糸二坊十三町		右、西院御町40	立	10 / 7	G L - 0.58m以下平安後期の包含層。	8 - 117
四糸三坊	八町	右、西院上花田町8-1・2	立	12 / 2	G L - 0.55mにて時期不明の包含層。	7 - 158
四糸三坊	九町	右、西院金鐘町1-1, 2-1	試	5 / 30	G L - 0.85m以下時期不明の南北溝3。	7 - 34
"	"	右、西院金鐘町8	試	8 / 1	盛土のみ。	7 - 73
四糸三坊	十町	右、西院春榮町18	試	5 / 8-10	G L - 0.96m以下室町後期・江戸の 包含層各1、-1.18mにて平安前期の 溝、-1.23mにて古墳期の溝。	7 - 18
"	"	右、西院春榮町19-6	立	12 / 21	巡回時工事終了。	7 - 170
四糸四坊	一町	右、山ノ内賢老町3-1・3・10・11	立	6 / 3	G L - 2.1mにて時期不明の流れ堆積。	7 - 40
四糸四坊	四町	右、西院四糸畑町1-18	立	8 / 28	検出できず。	7 - 93
五糸一坊	一町	中、壬生高橋町4-12, 5-15・17-20	立	9 / 6	巡回時工事終了。	8 - 99
五糸一坊	二町	中、壬生高橋町地先	立	6 / 5・7	検出できず。	8 - 42
"	"	中、壬生高橋町46-14・22	立	7 / 11-12	G L - 0.8mにて江戸の包含層。	8 - 61
"	"	中、壬生高橋町59	立	10 / 9	G L - 0.65m以下湿地状堆積。	8 - 121
五糸一坊	六町	中、壬生松原町51-1, 53-1	試	5 / 1	G L - 0.7m以下時期不明の包含層2。	8 - 16
"	"	中、壬生松原町54	立	5 / 27	検出できず。	8 - 33
"	"	中、壬生松原町49-4	立	9 / 10	検出できず。	8 - 102
五糸一坊	八町	中、壬生高橋町27	立	8 / 19	検出できず。	8 - 86
"	"	中、壬生高橋町28-10	立	12 / 12	G L - 0.4mにて時期不明の土壌。	8 - 164
五糸一坊十一町		中、壬生下溝町	立	6 / 17	検出できず。	8 - 46
五糸一坊十四町		中、壬生下溝町5-9	立	4 / 25	G L - 0.7mにて時期不明の土壌。	8 - 11
五糸一坊十六町		中、壬生仙念町5	立	6 / 1	盛土のみ。	8 - 48
五糸二坊	五町	中、壬生西権町29	立	12 / 14	巡回時工事終了。	8 - 166
五糸二坊	八町	中、壬生仙念町19	立	4 / 30	G L - 2.0mにて時期不明の包含層。	8 - 12
"	"	中、壬生西土居ノ内町15-2	立	7 / 16	G L - 0.32mにて時期不明の路面。	8 - 63
"	"	中、壬生仙念町21	立	11 / 28	検出できず。	8 - 155
五糸二坊十五町		右、西院北矢掛町	立	5 / 15	巡回時工事終了。	8 - 26
五糸三坊	三町	右、西院矢掛町18-2	立	7 / 26	検出できず。	7 - 70
五糸三坊	四町	右、西院西矢掛町10地先	立	10 / 14	検出できず。	7 - 126
五糸三坊	六町	右、西院北矢掛町7-1	立	11 / 30	盛土のみ。	7 - 157
五糸三坊十二町		右、西院久田町128-1	立	12 / 23-24	検出できず。	7 - 171
五糸三坊十四町		右、西院日勝町96	立	4 / 3	検出できず。	7 - 2
"	"	右、西院日勝町109-1	立	7 / 5	検出できず。	7 - 58
五糸四坊	一町	右、西院日勝町10, 11	試	7 / 13	G L - 1.1mにて室町の包含層。	7 - 62
五糸四坊	五町	右、西院月双町地先	立	11 / 16	巡回時工事終了。	7 - 148
五糸四坊	九町	右、西院安塚町4-2	試	4 / 15	G L - 1.5mにて湿地状堆積。	7 - 6
六糸一坊十四町		下、中堂寺薬田町1	立	5 / 15	巡回時工事終了。	8 - 27
六糸二坊	一町	中、壬生東高田町51	立	4 / 5	G L - 1.3mにて時期不明の包含層。	8 - 5
六糸二坊	二町	中、壬生東高田町45	立	7 / 5	盛土のみ。	8 - 56

六条二坊 三町	中、壬生東高田町地先	立	8 / 8	検出できず。	8 - 78
六条二坊 五町	下、西七条御前田町6	立	10 / 16	検出できず。	8 - 127
六条二坊 六町	下、西七条東御前田町22	試	10 / 4	G L - 0.88m にて時期不明の包含層。	8 - 116
六条三坊 一町	右、西院西寿町17	立	9 / 11	盛土のみ。	7 - 104
六条三坊 二町	右、西院寿町1-5	立	8 / 24	検出できず。	7 - 92
六条三坊 六町	右、西院西清崎町20	立	4 / 3	盛土のみ。	7 - 3
七条一坊 六町	下、朱雀宝蔵町34	立	6 / 7	検出できず。	8 - 44
七条一坊 七町	下、朱雀分水町77	立	11 / 14	検出できず。	8 - 145
七条一坊 八町	下、朱雀分水町地先	立	11 / 18	検出できず。	8 - 149
七条一坊 九町	下、西七条西八反田町6-1	立	8 / 27	検出できず。	8 - 94
七条一坊 十町	下、西七条西八反田町112地先	立	7 / 23	検出できず。	8 - 66
七条一坊十二町	下、西七条北東野町116	立	9 / 6	検出できず。	8 - 100
七条一坊十五町	下、西七条西八反田町145-2	立	8 / 10	検出できず。	8 - 84
七条二坊 二町	下、西七条西八反田町 御前通五条～七条	立	9 / 3・5	検出できず。	8 - 97
七条二坊 五町	下、西七条北西野町	立	6 / 15・17	G L - 0.73m にて時期不明の包含層。	8 - 45
七条二坊 九町	下、西七条石西ヶ坪町2-1	立	8 / 19	G L - 0.6m 以下時期不明の流れ堆積。	8 - 88
七条二坊 十町	下、西七条比輪田町地先	立	10 / 25	G L - 0.55m にて平安の包含層、 -1.1m にて券生～古墳期の遺物を含む流れ堆積。	8 - 132
七条二坊十三町	下、西七条北月読町78-33	立	10 / 31	G L - 0.42m にて時期不明の包含層。	8 - 135
七条三坊 一町	下、西七条八幡町6, 1-4	試	8 / 7	G L - 0.82m にて時期不明の包含層2。	7 - 76
七条三坊 四町	下、西七条北月読町34	立	7 / 5	G L - 0.51m 以下平安中期の包含層2。	7 - 57
*	下、西七条北月読町地先	立	11 / 7・8	G L - 0.6m 以下平安・江戸後期の流れ堆積各1。	7 - 140
*	下、西七条北月読町地先	立	12 / 16～18	G L - 0.89m 以下平安後期・時期不明の包含層各1。	7 - 168
七条三坊 八町	右、西京極北庄境町48	立	7 / 16	G L - 0.97m にて時期不明の路面。	7 - 64
七条三坊十一町	右、西京極三反田町12-2	立	8 / 9	盛土のみ。	7 - 80
七条三坊十二町	右、西京極大門町19-32	立	10 / 22・23	盛土のみ。	7 - 129
七条三坊十三町	右、西京極大門町20-1・4	立	12 / 6	盛土のみ。	7 - 162
七条四坊 七町	右、西京極東池田町地先	立	5 / 11	巡回時工事終了。	7 - 23
七条四坊 十町	右、西京極東池田町地先	立	7 / 26	混乱のみ。	7 - 69
七条四坊十三町	右、西京極中町40他5筆	立	7 / 1	G L - 0.25m にて土壌5、鎌倉3、時期不明2。	7 - 53
七条四坊十五町	右、西京極西池田町46地先	立	11 / 8・18	G L - 1.2m 以下時期不明の流れ堆積。	7 - 142
七条四坊十六町	右、西京極西大丸町80	試	10 / 2	G L - 1.0m にて平安前期の土壌・落ち込み各1。	7 - 113
八条一坊 八町	下、朱雀裏畑町地先	立	7 / 18	検出できず。	12 - 65
八条一坊十六町	下、西七条南東野町91	立	10 / 8	G L - 0.25m 以下時期不明の流れ堆積。	12 - 119
八条二坊 一町	下、西七条石井町61	立	7 / 23	検出できず。	12 - 67
八条二坊 七町	下、西七条南西野町83-2	立	8 / 19	盛土のみ。	12 - 87
*	下、西七条石井町30-1	立	12 / 5	G L - 0.52m 以下時期不明の包含層2。	12 - 161
八条二坊十三町	下、七条御所 / 内本町79	立	7 / 1	G L - 0.18m にて時期不明の包含層。	12 - 54
八条二坊十五町	下、七条御所 / 内北町1	立	8 / 13	検出できず。	12 - 85
八条二坊十六町	下、西七条南衣田町42	立	10 / 1	検出できず。	12 - 112
*	下、西七条南衣田町14-1他	試	11 / 14	G L - 1.0m にて重町の溝。	12 - 144
八条三坊 一町	下、西七条南月読町31	立	10 / 2・3	G L - 0.55m 以下平安中期・時期不明の包含層各1。	11 - 114
八条三坊 二町	下、七条御所 / 内西町18	立	5 / 7	検出できず。	11 - 13
八条三坊 七町	下、七条御所 / 内西町1	立	7 / 30	盛土のみ。	11 - 71
*	下、七条御所 / 内西町67地先	立	8 / 9	盛土のみ。	11 - 81
八条三坊 八町	下、七条御所 / 内西町45-2他	立	5 / 11	検出できず。	11 - 21
八条四坊 七町	右、西京極畑田町54-4	立	9 / 19	G L - 1.03m にて時期不明の包含層。	11 - 108
八条四坊十二町	南、吉祥院西 / 庄向田町4-1他	試	7 / 8	G L - 0.95m 以下江戸の沼登堆積。	11 - 59

二坊三坊	四町	中、釜座通奥川下る大黒町691	立	4 / 18	検出できず。	6 - 22
二条三坊	七町	中、衣標通丸太町下る玉越町237	立	8 / 20	検出できず。	6 - 147
	*	中、新町通丸太町下る大炊町地先	立	10 / 4・7	盛土のみ。	6 - 203
二条三坊	八町	中、丸太町通衣標西入玉越町	立	4 / 18	検出できず。	6 - 23
二条三坊	九町	中、丸太町通鳥丸西入常真横町187	立	7 / 1	G L-1.7mにて室町の土壌。	6 - 105
二条三坊	十町	中、岡替町通丸太町下る西方寺町178-4	立	11 / 15-30	G L-1.25m以下室町・桃山の包含層各1。	6 - 242
二条三坊十一町		中、室町通奥川上る鏡屋町33-1	立	9 / 4	検出できず。	6 - 196
二条三坊十二町		中、二条通岡替町西入東五屋町490	立	10 / 8	G L-0.6mにて江戸の包含層、 -1.0mにて時期不明の路面。	6 - 208
二条三坊十三町		中、東洞院通二条上る壹屋町515	立	11 / 26	G L-1.2mにて時期不明の包含層。	6 - 250
二条三坊十五町		中、東洞院通丸太町下る三本木町453	立	4 / 10-17	G L-0.7m以下時期不明の包含層2、 江戸・時期不明の土壌各1、-2.0m にて江戸の土壌4。	6 - 13
二条四坊	三町	中、高倉通奥川上る福屋町716-1	立	6 / 5	盛土のみ。	6 - 80
二条四坊	四町	中、間之町通二条上る松屋町49-2	立	10 / 26	盛土のみ。	6 - 220
二条四坊	五町	中、堺町通二条上る観音町85	立	6 / 17	G L-1.34mにて土壌5、室町2、時 期不明3、-1.5m以下平安後期の包 含層。	6 - 93
	*	中、堺町通二条上る亀屋町167-1	立	11 / 22	G L-0.7m以下鎌倉・桃山の包含層 層各1、時期不明の土壌。	6 - 249
二条四坊	六町	中、竹屋町通標町東入桐屋町117-2	立	7 / 15	盛土のみ。	6 - 113
二条四坊	七町	中、柳馬場通竹屋町上る四丁目183	立	6 / 7・8	G L-1.13mにて室町の包含層、 -1.4mにて平安後期の土壌。	6 - 81
二条四坊	十町	中、富小路通丸太町下る料屋町326-2	立	8 / 26	検出できず。	6 - 160
二条四坊十三町		中、御幸町通二条上る達磨町600	立	5 / 9	G L-0.96mにて時期不明の包含層。	6 - 41
二条四坊十五町		中、丸太町通御幸町西入毘沙門町533-1	立	7 / 1・15	G L-1.32mにて平安中期の包含層。	6 - 91
	*	中、丸太町通御幸町東入毘沙門町557	立	7 / 11-13	G L-1.33mにて江戸の包含層。	6 - 107
	*	中、寺町通竹屋町上る下御霊前町656-1	立	7 / 31	検出できず。	6 - 129
三条一坊	一町	中、西ノ京北聖町地先	立	8 / 21	検出できず。	5 - 150
	*	中、西ノ京小堀町2-3	立	11 / 1・5-9	検出できず。	5 - 228
三条一坊	六町	中、西ノ京助学院町1-36	立	4 / 5	盛土のみ。	5 - 5
	*	中、西ノ京助学院町1-1	立	11 / 18	G L-0.4m以下時期不明の池状堆積。	5 - 246
三条一坊	七町	中、西ノ京職司町66-6	立	8 / 6		5 - 139
三条一坊	八町	中、西ノ京式部町50-11	立	12 / 4	G L-1.25mにて平安の包含層。	5 - 256
三条一坊	十町	中、西ノ京職司町67-87	立	5 / 17	検出できず。	5 - 53
三条一坊十三町		中、三条通大宮西入上瓦町49	立	4 / 17	検出できず。	5 - 20
	*	中、三条通大宮西入上瓦町49-1	立	4 / 17	G L-0.9m以下包含層3、平安1、平 安後期1、時期不明1。	5 - 21
三条二坊	四町	中、黒門通三条上る上一文字町地先	立	6 / 7	盛土のみ。	5 - 82
三条二坊	六町	中、御池通猪熊東入三坊猪熊町北組	立	7 / 22	検出できず。	5 - 122
三条二坊	七町	中、猪熊通御池上る龜上町389-3	立	5 / 13	検出できず。	5 - 48
三条二坊	九町	中、油小路通二条下る二条油小路町284	試	6 / 14-15	G L-1.25mにて室町の包含層、 -1.5mにて平安の二条大路路面。発 掘調査に切り換える。	5 - 87
三条二坊	十町	中、油小路通御池上る押油小路町地先	立	10 / 8	掘土のみ。	5 - 207
三条二坊十一町		中、御池通堀川東入龜治町地先	立	6 / 11	盛土のみ。	5 - 86
三条二坊十二町		中、油小路通三条上る森林町85	立	6 / 7	検出できず。	5 - 83
	*	中、三条通油小路西入京林町94	立	9 / 30	G L-0.65mにて室町の包含層、 -1.05mにて土壌3、鎌倉1、時期不 明2。	5 - 199
三条二坊十三町		中、西洞院通御池下る姉西洞院町545	立	9 / 9	検出できず。	5 - 177
三条二坊十三町		中、西洞院通三条上る姉西洞院町531-2他	立	11 / 6	G L-0.7mにて鎌倉・室町の土壌各 1。	5 - 233
三条二坊十四町		中、御池通小川東入石橋町425	立	11 / 6	G L-0.85mにて時期不明の整地層。	5 - 232

九条一坊 三町	南、唐橋高田町19地先	立	8 / 9	検出できず。	12- 83
*	南、唐橋高田町11-10	立	11 / 1	G L-0.3m以下時期不明の流れ堆積。	12- 136
九条一坊 四町	南、唐橋羅城門町52	立	10 / 5	検出できず。	12- 139
*	南、唐橋羅城門町43	立	11 / 9	盛土のみ。	12- 143
九条一坊十四町	南、唐橋川久保町20	立	8 / 8	検出できず。	12- 79
九条一坊十五町	南、唐橋平垣町地先	立	8 / 6	検出できず。	12- 75
九条二坊 三町	南、唐橋平垣町2-2	立	9 / 26	盛土のみ。	12- 110
九条二坊 九町	下、七条御所ノ内南町99	立	8 / 9	検出できず。	12- 82
九条二坊十三町	南、唐橋西平垣町24-3	立	5 / 18	巡回時工事終了。	12- 29
*	南、唐橋西平垣町地先	立	10 / 9	G L-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	12- 120
九条二坊十五町	南、七条御所ノ内町町53-2	立	11 / 30	G L-0.88m以下平安・時期不明の包含層各1。	12- 156
九条三坊 二町	南、吉祥院西ノ庄東屋敷町地先	立	7 / 30	検出できず。	11- 72
九条三坊 七町	南、吉祥院西ノ庄溜ノ西町地先	立	10 / 23,	G L-0.8mにて時期不明の包含層。	11- 130
			11 / 18		
九条三坊 八町	南、吉祥院西ノ庄溜ノ西町地先	立	9 / 27,	検出できず。	11- 111
			10 / 12		
*	南、吉祥院西ノ庄溜ノ西町18	立	10 / 12	G L-0.7mにて室町の包含層。	11- 122
九条三坊十三町	南、吉祥院新出巻ノ段町5	立	10 / 3	盛土のみ。	11- 115
九条三坊十四町	南、吉祥院中河原里北町47	立	11 / 15	検出できず。	11- 146
九条三坊十五町	南、吉祥院前河原町33-1	立	5 / 11	G L-0.74mにて室町の包含層。	11- 22
九条四坊 九町	南、吉祥院宮ノ西町1	立	10 / 7	G L-1.5m以下時期不明の流れ堆積。	11- 118
九条四坊十四町	南、吉祥院流作町	試	6 / 24	G L-0.7m以下時期不明の流れ堆積。	11- 51

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図番番号
北辺一坊 四町	上、一条通淨福寺西人車堂之内町298	立	4 / 10-16	検出できず。	5- 12
北辺二坊 一町	上、黒門通中立亮上る飛騨町161, 161-1-2	立	7 / 16	盛土のみ。	5- 117
*	上、大宮通中立亮上る糸屋町205	立	9 / 27	G L-1.3mにて江戸の包含層。	5- 198
北辺二坊 四町	上、大宮通一条下る石橋南平町50	試	6 / 19	G L-1.3mにて桃山の豊地層、 -1.4mにて平安中期の包含層2。	5- 95
*	上、扇屋町通一条下る福大明神町地先	立	11 / 18・ 21-22-29	G L-0.61m以下室町の包含層3。	5- 245
北辺三坊 二町	上、上長者町通新町西人土御門町312-1他15兼	試	5 / 13	G L-1.0m以下鎌倉・室町・江戸の 包含層各1。	6- 46
一条二坊 四町	上、備後通下立亮下る大黒町地先	立	6 / 14	検出できず。	5- 88
*	上、大宮通横木町下る一町下る一町目823-3	立	7 / 18	G L-0.57m以下包含層3、室町1、 時期不明2。	5- 118
一条二坊十一町	上、油小路通下立亮上る近衛町160	試	12 / 4	G L-0.4m以下室町後期・江戸後期 の包含層各1。	5- 255
一条二坊十二町	上、下立亮通堀川東入東橋詰町176	立	8 / 12	盛土のみ。	5- 144
一条三坊 五町	上、横木町通新町東入春符町345-3	立	9 / 2	G L-0.8mにて江戸の包含層。	6- 167
一条三坊 七町	上、室町通下長者町下る近衛町33-2	立	6 / 17	G L-1.15mにて室町の包含層。	6- 92
*	上、下長者町通室町西入西園寺町8-1-4	立	8 / 19	G L-0.8mにて江戸の包含層。	6- 145
二条二坊 一町	上、播磨通丸太町上る木塚之町地先	立	6 / 19	巡回時工事終了。	5- 96
*	上、丸太町通大宮東入羅屋町地先	立	6 / 22	雑土のみ。	5- 98
二条二坊 九町	中、丸太町通堀川東入丸太町14-1-5	試	6 / 26	G L-0.98mにて平安前期の落ち込 み1、包含層6。本文32ページ。	5- 99
二条二坊 十町	中、油小路通丸太町下る大文字町41	立	9 / 13	盛土のみ。	5- 179
*	中、丸太町通油小路西入大文字町42-3	立	10 / 9	G L-0.75m以下鎌倉・江戸の包含 層各1。	5- 210
二条二坊十六町	中、丸太町通小川東入横綱橋町119	立	7 / 15	巡回時工事終了。	5- 114
二条三坊 二町	中、並座通丸太町下る判屋町149	立	7 / 31	検出できず。	6- 127
*	中、竹屋町通新町西入舟附天町375-2	立	8 / 29	検出できず。	6- 164

三条二坊十六町	中、油小路樋二条下る二条油小路町282	立	8 / 28	-0.93mにて室町の土壌。	5 - 163
三条三坊 二町	中、新町通押小路下る中野町33	立	8 / 3	検出できず。	6 - 135
三条三坊 六町	中、衣櫛通御池下る長浜町156	立	4 / 18	GL-0.35mにて江戸の包含層。	6 - 26
三条三坊 七町	中、押小路通衣櫛西入上妙覚寺町207	立	7 / 15	GL-0.86mにて時期不明の包含層。	6 - 112
三条三坊 八町	中、衣櫛通二条下る上妙覚寺町231	立	8 / 23	検出できず。	6 - 157
三条三坊十一町	中、鳥丸通御池下る虎屋町地先	立	4 / 3	巡回時事故終了。	6 - 2
*	中、室町通御池下る円福寺町342-1	立	12/20-21	GL-2.1mにて室町の包含層。	6 - 271
三条三坊十五町	中、車屋町通御池上る塗師町348	立	8 / 5	検出できず。	6 - 138
*	中、御池通鳥丸東入神保町185	立	11 / 12	検出できず。	6 - 239
三条三坊十六町	中、東洞院通二条下る瓦之町393-2	立	6 / 1	検出できず。	6 - 75
*	中、東洞院通二条下る瓦之町372	立	10 / 30	GL-0.8m以下時期不明の包含層3。	6 - 226
*	中、東洞院通二条下る瓦之町397-1	立	12 / 9・12	GL-0.85m以下鎌倉・室町の包含層各1。	6 - 259
三条四坊 二町	中、御池通高倉西入高宮町200, 高田町499-5, 512	試	12 / 25	GL-1.35mにて室町の包含層、 -1.5mにて平安中期・鎌倉・室町中期の土壌各1。	6 - 274
三条四坊 五町	中、三条通高倉東入桐畑町57	試	4 / 13-16	GL-0.8m以下古墳前期～江戸前期の包含層。	6 - 15
*	中、高倉通三条上る東片町619	立	4 / 18	GL-0.65mにて江戸の包含層、 -1.2mにて室町前期・時期不明の土壌各1。	6 - 25
*	中、高倉通姉小路下る東片町	立	7 / 18	GL-0.74mにて土壌3、室町2、時期不明1。	6 - 119
*	中、堺町通姉小路下る大阪材木町	立	8 / 22	検出できず。	6 - 154
*	中、姉小路通高倉東入木之下町290-1	立	10 / 14	GL-0.7mにて鎌倉の土壌。	6 - 212
*	中、姉小路通高倉東入木之下町294	立	11 / 29	検出できず。	6 - 251
三条四坊 六町	中、堺町通御池下る丸木材木町671, 673	立	8 / 23-24 ・29-31	GL-1.35m以下平安後期・鎌倉の包含層各1、-1.72mにて平安後期の土壌。	6 - 156
三条四坊 七町	中、堺町通押小路下る扇屋町647	立	5 / 13	GL-1.55mにて室町の包含層。	6 - 47
*	中、柳馬場通御池上る虎石町43	試	8 / 8	GL-1.05m以下包含層5、江戸3、室町2。	6 - 141
三条四坊十一町	中、富小路通南川上る大坊町地先	立	9 / 25-30	攪乱のみ。	6 - 190
三条四坊十二町	中、富小路通姉小路下る福長町118-2	立	4 / 30	GL-0.2mにて江戸末期の包含層。	6 - 36
*	中、三条通柳馬場東入中之町10	立	5 / 27	検出できず。	6 - 67
三条四坊十三町	中、御幸町通三条上る丸屋町320	試	5 / 8	GL-2.2m以下室町後期の包含層2。	6 - 40
*	中、熱屋町通三条上る下白山町307	立	7 / 11-16	GL-1.15m以下江戸の包含層2。	6 - 108
三条四坊十四町	中、姉小路通寺町西入姉大東町547-2, 3	立	4 / 8	GL-1.0mにて室町の包含層。	6 - 9
*	中、寺町通姉小路下る下本能寺前町518	立	5 / 16	検出できず。	6 - 52
三条四坊十六町	中、熱屋町通二条下る尾張町220	立	5 / 7	GL-1.6mにて平安末期・江戸の土壌各1。	6 - 39
*	中、押小路通御幸町西入橋町608	立	5 / 21-27	検出できず。	6 - 59
*	中、二条通富小路東入晴明町682	立	9 / 17	GL-0.5m以下江戸の包含層2。	6 - 181
四条一坊 二町	中、壬生朱雀町37-3	立	9 / 25	GL-0.71mにて平安中期及び時期不明の池状堆積。	9 - 191
四条一坊 七町	中、壬生馬場町35-3	立	9 / 17	GL-0.9mにて平安後期の土壌。	9 - 184
四条一坊 八町	中、壬生馬場町6	立	10 / 8	検出できず。	9 - 209
四条一坊 九町	中、今新在家東町77	立	12 / 14	検出できず。	9 - 268
四条一坊十二町	中、壬生坊城町8	立	5 / 18	盛土のみ。	9 - 58
四条二坊 一町	中、六角通黒門西入巖治屋町350	立	9 / 14	検出できず。	9 - 180
四条二坊 二町	中、猪熊通船業師上る六角猪熊町地先	立	5 / 17	検出できず。	9 - 54
四条二坊 五町	中、若上通姉小路下る松浦町866-1	立	12 / 13	検出できず。	9 - 265
四条二坊 九町	中、六角通油小路西入越後町194	立	11 / 11	検出できず。	9 - 237
四条二坊十二町	中、姉小路通堀川東入三文字町571-3, 5	立	9 / 18-19	GL-0.51m以下鎌倉の包含層3。	9 - 185

四条二坊十五可 *	中、小川通納葉師上る元本能寺町380	立	4 / 25	GL-0.05mにて江戸の包含層。	9 - 24
四条二坊十六可	中、小川通六角下る元本能寺町377	立	12 / 2	GL-1.5mにて室町の包含層。	9 - 353
四条三坊 二町	中、六角通小川西入本能寺町地先	立	9 / 21	巡回時工事終了。	9 - 201
四条三坊 四町	中、新町通六角下る六角町367	立	7 / 31	検出できず。	10 / 132
四条三坊 六町	中、新町通四条上る小結柳町431	立	7 / 22	検出できず。	10 - 123
四条三坊 七町	中、姥柳町209	立	8 / 1	検出できず。	10 - 134
四条三坊十一町 *	中、六角通室町西入玉蔵町115-3	立	7 / 31	検出できず。	10 - 133
四条三坊十二町	中、室町通錦小路上山伏山町550-1	試	4 / 5	GL-2.1mにて鎌倉末期の井戸。	10 - 4
	中、納葉師通鳥丸西入橋弁慶町	立	9 / 30	GL-0.6mにて江戸の包含層。	10 - 200
	中、錦小路通室町東入占出山町308	立	5 / 17・18	GL-1.6mにて平安末期・室町の土 塚各1。	10 - 55
四条三坊十五町 *	中、納葉師通東洞院西入一蓮社町306	立	5 / 17	GL-1.4mにて鎌倉の土塚。	10 - 56
	中、鳥丸通六角下る七観音町634	試・立	7 / 24,	GL-1.35m以下平安後期・室町の 包含層各1。本文34ページ。	10 - 125
四条四坊 二町	中、東洞院通六角下る御射山町271	立	8 / 28	盛土のみ。本文34ページ。	10 - 104
四条四坊 四町	中、錦小路通東洞院東入西魚屋町619-1	立	7 / 1	盛土のみ。	10 - 66
四条四坊 五町	中、高倉通四条上る帯屋町578	立	5 / 27	GL-1.72m以下包含層4、平安中期 ・30	10 - 221
四条四坊 *	下、四条通堺町西入立売中之町90-2	試	10 / 26・28	GL-2.0m以下鎌倉後期・時期不明 の包含層各1。発掘調査に切り換える。	10 - 269
四条四坊 七町 *	中、六角通榎馬場西入井筒屋町398	立	12 / 20	GL-2.0m以下鎌倉後期・時期不明 の包含層各1。発掘調査に切り換える。	10 - 3
	中、榎馬場通納葉師上る井筒屋町430-2	立	4 / 3	GL-1.2mにて室町の包含層。	10 - 6
	中、六角通堺町西入堀之上町117	立	4 / 5・10	GL-1.15mにて室町の包含層、 -1.3mにて室町の土塚2。	10 - 50
	中、高倉通六角下る和久屋町345-1	立	5 / 15	GL-2.05mにて鎌倉の土塚。	10 - 53
四条四坊 八町	中、六角通高倉東入堀之上町124, 125-2	立	5 / 22	検出できず。	10 - 63
四条四坊十三町 *	下、四条通御幸町西入奈良物町360	立	4 / 18・22	盛土のみ。	10 - 24
	下、船屋町通四条上る奈良物町358	立	4 / 11	巡回時工事終了。	10 - 11
	中、新京極通錦小路下る中之町542	立	5 / 17	GL-1.2m以下鎌倉・室町・時期不 明の包含層各1。	10 - 57
四条四坊十四町	中、御幸町通納葉師下る船屋町384	立	7 / 31	巡回時工事終了。	10 - 128
四条四坊十五町 *	中、高小路通六角下る骨張之町549	立	9 / 4	検出できず。	10 - 170
	中、寺町通六角下る西側式部町245	立	4 / 8	検出できず。	10 - 10
	中、寺町通納葉師上る西側式部町216	立	8 / 19	GL-1.21mにて室町の包含層。	10 - 146
		立	9 / 17・ 20・25	GL-0.58m以下包含層5、鎌倉～室 町3、江戸1、時期不明1。土塚5、鎌 倉1、室町1、江戸1、時期不明2。	10 - 182
五条一坊 一町 *	中、壬生傳ノ宮町17	立	7 / 16	盛土のみ。	9 - 116
	中、壬生傳ノ宮町地先	立	8 / 29・31	攪乱のみ。	9 - 165
	中、壬生傳ノ宮町2-9	立	10 / 28	GL-0.56mにて平安後期の包含層1、 溝1、推定朱雀大路東側溝。	9 - 225
五条一坊 二町	中、壬生傳ノ宮町31	立	8 / 21	GL-1.05mにて時期不明の土塚。	9 - 151
五条一坊 五町	中、壬生相合町66-3	立	5 / 15	検出できず。	9 - 51
五条一坊 十町	中、壬生賀福朝所町28-5	立	6 / 25	GL-0.7mにて土塚3、室町2、時期 不明1。	9 - 100
五条一坊十一町	中、壬生相合町25-4	試	5 / 22	GL-0.5mにて江戸中期の土塚2。	9 - 61
五条一坊十二町	中、壬生相合町25-2	立	12 / 14	GL-0.65mにて時期不明の盛土層。	9 - 266
五条二坊 一町 *	下、黒門通四条下る下り松町167-1	立	4 / 30	検出できず。	9 - 35
	下、横小路通黒門西入丸屋町549	立	6 / 5	盛土のみ。	9 - 79
五条二坊 二町	下、仏光寺通黒門東入西田町611	立	11 / 19	盛土のみ。	9 - 247
五条二坊 三町	下、曙橋通高辻上る鶴屋町318他	試	4 / 24	GL-0.7mにて室町後期の土塚12、 井戸3、溝1。	9 - 27
五条二坊 五町	下、松原通岩上西入来迎堂町715	立	4 / 11	巡回時工事終了。	9 - 14
五条二坊 九町	下、油小路通四条下る石井筒町531	立	4 / 17	検出できず。	9 - 19
五条二坊十四町	下、油小路通仏光寺下る太子山町614他	試	5 / 15	GL-1.75mにて土塚13、室町後期9、 江戸1、時期不明3。	9 - 49

五条二坊十五町	下、西洞院通綾小路下る綾西洞院町723・2	立	7 / 20	検出できず。	9 - 121
五条二坊十六町	下、因条通油小路東入牟鉦町45	立	6 / 5	検出できず。	9 - 78
五条三坊 一町	下、綾小路通西洞院東入矢田町112	立	6 / 28	検出できず。	10 - 38
五条三坊 三町	下、新町通仏光寺下る若戸山町地先	立	12 / 21	G L - 0.55m にて江戸の包含層。	10 - 272
五条三坊 六町	下、室町通高辻上る山王町572	立	7 / 8	G L - 0.6m にて室町後期の包含層。	10 - 106
五条三坊 七町	下、室町通綾小路下る白染天町512	立	9 / 26	G L - 0.6m 以下包含層3、室町1、時期不明2。	10 - 188
*	下、新町通綾小路下る船鉦町377	立	9 / 25・27	G L - 1.8m にて室町の包含層、 -2.1m にて鎌倉・室町の土壌各1。	10 - 192
五条三坊十一町	下、烏丸通仏光寺下る大政所町677	立	8 / 21・23	G L - 0.7m にて室町の包含層、 -1.05m にて室町の土壌2。	10 - 153
五条三坊十二町	下、室町通高辻下る高辻町588	立	10 / 18	検出できず。	10 - 217
*	下、室町通高辻下る高辻町	立	11 / 30	G L - 1.23m にて鎌倉の土壌。	10 - 252
五条三坊十三町	下、烏丸通高辻下る東洞因幡堂町714	立	6 / 1	検出できず。	10 - 74
五条三坊十四町	下、烏丸通東裏高辻上る匂天神町	試	8 / 26	G L - 1.15m 以下室町~江戸の包含層3、土壌8、室町2、江戸後期1、時期不明5。本文36ページ。	10 - 159
五条三坊十五町	下、東洞院通綾小路下る厨酒屋町234	立	8 / 8	検出できず。	10 - 143
*	下、東洞院通綾小路下る厨酒屋町	立	8 / 20	G L - 0.7m 以下江戸の包含層。	10 - 148
五条三坊十六町	下、東洞院通因条下る元悪王子町47-5	立	6 / 27	検出できず。	10 - 102
五条四坊 一町	下、綾小路通高倉西入神明町233外	立	12 / 7	G L - 1.15m 以下包含層3、江戸2、時期不明1。-1.65m にて室町の土壌。	10 - 258
五条四坊 四町	下、関之町通高辻下る稲荷町525	立	6 / 17	検出できず。	10 - 94
*	下、高倉通高辻下る露籠屋町498・500	立	7 / 27	検出できず。	10 - 126
五条四坊 五町	下、柳馬場通高辻下る吉文字町438	立	9 / 7	検出できず。	10 - 176
*	下、柳馬場通高辻下る吉文字町442-1・2	立	9 / 20	検出できず。	10 - 189
五条四坊 七町	下、堺町通綾小路下る東側永原町153、153-24	立	10 / 4	G L - 1.6m にて土壌3、室町2、江戸1。	10 - 204
五条四坊 九町	下、柳馬場通因条下る立売東町7	立	6 / 10	盛土のみ。	10 - 84
五条四坊十一町	下、柳馬場通高辻上る万里小路町170	立	9 / 5	検出できず。	10 - 172
五条四坊十三町	下、松原通御幸町西入石不動之町667-1	試	4 / 3	検出できず。	10 - 1
*	下、寺町通高辻下る京極町497	立	5 / 27	検出できず。	10 - 68
*	下、寺町通高辻下る京極町497-2	立	8 / 26	検出できず。	10 - 161
五条四坊十四町	下、寺町通仏光寺下る恵美須之町553、534-9他	試	4 / 18	G L - 1.35m 以下平安後期の包含層。	10 - 17
五条四坊十五町	下、船屋町通仏光寺上る仏光寺東町133-3	立	7 / 1	盛土のみ。	10 - 103
五条四坊十六町	下、船屋町通因条下る八文字町338-1	立	9 / 13	検出できず。	10 - 178
六条一坊 六町	下、中堂寺壬生川町2	試	8 / 21	G L - 0.5m にて鎌倉~室町の包含層2。	9 - 149
六条一坊十三町	下、大宮通丹波口上る中堂寺前町502-3	立	11 / 11・ 13・14	検出できず。	9 - 238
六条一坊十四町	下、大宮通五条下る西側下五条町458	立	12 / 14	巡回時工事終了。	9 - 267
六条一坊十五町	下、中堂寺御勢町28地先	立	4 / 23・24	G L - 0.34m 以下時期不明の路面6。	9 - 29
*	下、大宮通松原下る西側上五条町405-18	立	6 / 1	検出できず。	9 - 72
六条二坊 七町	下、黒門通五条上る榎本町588地先	立	8 / 23・26 10 / 18・19	G L - 0.4m にて鎌倉の包含層、 -0.45m にて室町の包含層。	9 - 158
六条二坊 十町	下、万寿寺通油小路西入上倉町275	立	12 / 24~ 26	G L - 0.83m にて平安の土壌1、 -0.88m にて時期不明の土壌3、弥生・ 時期不明の土壌各1、-1.04m にて 平安後期・時期不明の土壌各1。	9 - 273
六条二坊十一町	下、瀬川通五条下る泉水町地先	立	6 / 26 7 / 8・13	擾乱のみ。	9 - 101
六条二坊十二町	下、瀬川通六条上る佐女牛井町152	立	12 / 13・ 14・18	G L - 0.75m にて平安後期・時期不明の土壌各1、-1.4m にて古墳後期の包含層。	9 - 264

六条二坊十三町	下、六条通油小路東入ト味金仏町178-2	立	4 / 25	GL-0.35m以下包含層3、平安末期	9- 33
＊	下、東中筋通六条上る天使変換四丁目	立	10 / 14	GL-0.13mにて鎌倉の包含層、 -1.43mにて平安中期の包含層。	9- 214
六条二坊十五町	下、油小路五条上る上仏町266	立	6 / 1	検出できず。	9- 73
＊	下、西洞院通五条上る八幡町537-3	立	10 / 7	検出できず。	9- 205
六条三坊 二町	下、五条通西洞院東入西鶴屋町3	立	7 / 31	検出できず。	10- 131
六条三坊 三町	下、新町通五条下る蛭子町105, 106	立	5 / 22-23	検出できず。	10- 62
＊	下、新町通五条下る蛭子町118-1	立	6 / 15	盛土のみ。	10- 90
六条三坊 五町	下、新町通五条下る蛭子町134-1	立	9 / 5	検出できず。	10- 173
六条三坊 七町	下、新町通五条上る材木町134-2	立	9 / 20-27	GL-1.07mにて室町の土壌1、 -1.15mにて平安後期の包含層。	10- 186
六条三坊 八町	下、新町通万寿寺上る富永町110-11神徳小学校	立	11 / 5	盛土のみ。	10- 231
六条三坊十二町	下、深訪町通の場下る下深訪町地先	立	10 / 18	擾乱のみ。	10- 216
六条三坊十三町	下、東洞院通五条下る福島町520-1	立	7 / 13	検出できず。	10- 109
＊	下、東洞院通六条上る横訪町地先	立	9 / 7	盛土のみ。	10- 175
六条三坊十四町	下、東洞院通五条下る福島町509-2	立	6 / 5	巡回時工事終了。	10- 77
六条三坊十五町	下、東洞院通五条上る深草町572, 574, 576	立	8 / 29-30	GL-1.3mにて室町→江戸の包含層。	10- 166
＊	下、万寿寺通丸東入大堀町478	立	9 / 2	検出できず。	10- 168
＊	下、東洞院通五条上る深草町572	立	9 / 5	検出できず。	10- 171
六条三坊十六町	下、松原通丸東入俊成町443	立	9 / 20	GL-1.65mにて鎌倉の包含層、室 町の土壌。	10- 187
＊	下、松原通丸東入俊成町	立	10 / 7	GL-0.15mにて時期不明の包含層。	10- 206
＊	下、松原通丸東入俊成町	立	11 / 15	盛土のみ。	10- 243
六条四坊 一町	下、東洞院通松原下る大江町554	立	7 / 16	巡回時工事終了。	10- 115
＊	下、高倉通万寿寺上る西入福田寺町地先	立	11 / 14-15	GL-0.57mにて室町の包含層。	10- 241
六条四坊 二町	下、高倉通五条上る亀屋町184	立	11 / 2	巡回時工事終了。	10- 229
六条四坊十一町	下、富小路通五条下る寺壇町557	立	9 / 25	検出できず。	10- 194
六条四坊十六町	下、寺町通松原下る植松町718-1	立	4 / 24-25	GL-0.35m以下流れ堆積。	10- 31
七条一坊 一町	下、西新屋敷中堂寺町地先	立	7 / 15・ 16・18	GL-0.65mにて時期不明の土壌。	9- 111
七条一坊 七町	下、二人司町地先	立	11 / 15・ 16・18	GL-0.5mにて鎌倉の土壌。	9- 224
＊	下、西新屋敷中之町地先	立	12 / 25	検出できず。	9- 275
七条一坊 八町	下、小坂町7-4	立	9 / 2	検出できず。	9- 169
七条一坊 九町	下、薬園町地先	立	9 / 17	検出できず。	9- 183
七条一坊十一町	下、深訪町地先	立	10 / 12-14 16・17	検出できず。	9- 211
七条一坊十二町	下、西新屋敷町地先	立	10 / 14・23	検出できず。	9- 213
七条一坊十三町	下、七条通大宮西入花畑町592	立	5 / 23	検出できず。	9- 64
七条一坊十五町	下、佛前通花屋町下る裏片町195	立	11 / 2	盛土のみ。	9- 230
七条二坊 六町	下、門前町	立	4 / 5	盛土のみ。	9- 7
七条二坊十一町	下、西中筋通正面下る丸屋町125-2	立	8 / 22	検出できず。	9- 155
七条二坊十三町	下、油小路通七条上る米屋町176	立	8 / 21	GL-0.8m以下室町の包含層2。	9- 152
七条三坊 一町	下、新花屋町通若宮東入若宮町559	立	12 / 12	巡回時工事終了。	10- 262
七条三坊 二町	下、西洞院通花屋町下る西洞院町455	試	5 / 31	GL-1.68mにて鎌倉後半・時期不 明の土壌各1、室町後期の溝。	10- 70
七条三坊 三町	下、若宮通正面下る鏡屋町633	立	10 / 23	GL-0.47m以下時期不明の包含層2。	10- 218
七条三坊 四町	下、新町通七条上る辰巳町756-1	立	12 / 20	GL-0.83m以下包含層3、鎌倉1、 室町2。	10- 270
七条三坊十三町	下、不明門通七条上る粉川町226-2	立	10 / 26	GL-1.3m以下鎌倉・室町の包含層 2。	10- 222
七条四坊 二町	下、上珠数屋町通東洞院東入花屋町386	立	4 / 25	GL-0.65m以下鎌倉後期・時期不 明の包含層各1、平安後期・末期・時	10- 32

七条四坊 二町	下、間之町通花屋町下天神町397	立	12 / 3	期不明の土壌各1。	10-	254
七条四坊 五町	下、七条通河原町西人材木町470他	立	8 / 3	検出できず。	10-	137
七条四坊 八町	下、六条通高倉西入升屋町57-6	立	9 / 5	検出できず。	10-	174
七条四坊 九町	下、河原町通五条下第一路西人材木町593	立	12 / 13	G L-0.55m以下江戸の包含層4。	10-	263
七条四坊十三町	下、木屋町通七条上る大宮町209	立	11 / 7	G L-0.3m以下時期不明の流れ堆積。	10-	234
七条四坊十四町	下、三ノ宮町通正面下る上三之宮町272	立	5 / 9	G L-0.8m以下時期不明の流れ堆積。	10-	42
*	下、木屋町通正面下る十俣町196-2	立	7 / 24	G L-0.76m以下時期不明の流れ堆積。	10-	124
七条四坊十五町	下、加茂川筋上ノ口下る平岡町368	立	4 / 24	G L-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	10-	30
八条一坊十二町	南、八条町地先	立	4 / 16	G L-0.4mにて平安後期の包含層。	11-	16
八条一坊十六町	下、上之町423-1	立	11 / 13	G L-0.96m以下時期不明の包含層2。	11-	240
八条二坊 一町	下、黒門通下魚ノ堀下る豊宝町394-1	立	11 / 7	G L-0.45m以下江戸の包含層。	11-	235
八条二坊 二町	下、黒門通木津屋橋下る上栲屋町46, 47	立	6 / 14	検出できず。	11-	89
*	下、栲屋通木津屋橋下る金換町106	立	7 / 31	検出できず。	11-	130
八条二坊 三町	下、栲屋通塩小路下る上興町612地先	立	8 / 27	検出できず。	11-	162
八条二坊 八町	下、下魚ノ堀通堀川西入二筋目下る蔵屋町11-1	立	9 / 27	G L-0.94mにて江戸の包含層。	11-	197
*	下、七条通栲屋東入西八百屋町136	立	12 / 6	G L-0.7m以下時期不明の包含層2。	11-	257
八条二坊 九町	下、油小路通下魚ノ堀下る油小路町288, 305	試	6 / 3	G L-0.2m以下平安中期・室町・江戸の包含層各1、-1.9mにて平安前期の土壌3。発掘調査に切り換える。	11-	76
八条二坊 十町	下、油小路通塩小路上る北不働堂町	立	5 / 31	検出できず。	11-	71
八条二坊十五町	下、西洞院通塩小路上る北不働堂町573	立	5 / 9	検出できず。	11-	44
*	下、西洞院通塩小路上る北不働堂町573	立	5 / 9	検出できず。	11-	45
*	下、塩小路通西洞院西入北不働堂町573	立	6 / 10	巡回時工事終了。	11-	85
*	下、塩小路通西洞院西入北不働堂町522	立	8 / 3	巡回時工事終了。	11-	136
八条三坊 一町	下、七条通新町西入興之町713	立	8 / 8	検出できず。	12-	142
八条三坊 二町	下、西洞院通塩小路下る東塩小路町地先	立	10 / 30	G L-0.62mにて時期不明の流れ堆積。	12-	227
八条三坊 七町	下、塩小路通鳥丸西入東塩小路町843-2, 842-16	試	4 / 17	G L-1.1m以下包含層7、平安後期1、鎌倉～室町6、-1.7mにて路面3、推定八条坊門小路。発掘調査に切り換える。	12-	18
八条三坊十五町	下、不明門通塩小路上る東塩小路町538-3	立	9 / 26	盛土のみ。	12-	195
八条三坊十六町	下、不明門通七条下る東塩小路町711	立	4 / 22	G L-2.45mにて平安後期の包含層。	12-	28
八条四坊 一町	下、東洞院通塩小路上る東塩小路町522	立	10 / 26	G L-0.9mにて室町の包含層。	12-	223
*	下、七条通河原町西人材木町	立	11 / 21, 12 / 3	-1.5mにて鎌倉・室町の土壌各1。 G L-0.95m以下時期不明の路面3。	12-	248
八条四坊十三町	下、屋形町7-1・2・3・8・9, 8-1他	立	5 / 9・11	G L-1.3m以下時期不明の流れ堆積。	12-	43
九条一坊 四町	南、四ッ塚町31	立	12 / 4	G L-0.8mにて時期不明の土壌。	11-	315
*	南、八条内田町20-2 南大内小学校	立	10 / 2, 11 / 2	検出できず。	11-	202
九条一坊 十町	南、東寺町592, 592-1他	立	7 / 15	G L-0.65m以下江戸の包含層。	11-	110
*	南、東寺町592, 592-1他	立	4 / 3	G L-0.5mにて時期不明の包含層。	11-	309
九条一坊十六町	南、九条町621-23	立	12 / 9	G L-0.65m以下時期不明の包含層3。	11-	260
九条二坊 四町	南、西九条踏輪町	立	4 / 30	検出できず。	11-	37
九条二坊 六町	南、西九条唐橋町23	立	5 / 28	検出できず。	11-	69
九条二坊 七町	南、西九条針小路町9	立	9 / 25・30	G L-0.65mにて室町の包含層、-0.7mにて平安中期の土壌。	11-	193
九条二坊 八町	南、西九条藤ノ木町45-1	試	5 / 27	G L-0.5m以下平安後期の包含層、室町後期の土壌・柱穴・井戸各1、時期不明の土壌4、柱穴1。	11-	65
*	南、西九条藤ノ木町19	立	11 / 8	盛土のみ。	11-	236

九条二坊十三町	南、西九条東島町61-1	立	12 / 9	G L-0.95mにて江戸の包含層。	11- 261
九条三坊 一町	南、西九条院町16-2	立	6 / 20	G L-0.11m以下時期不明の包含層2。	12- 97
九条三坊 十町	南、東九条上隈田町6	立	4 / 5・6	G L-0.54m以下時期不明の包含層2。 鎌倉・時期不明の土壌各1、-0.7m にて土壌3、鎌倉2、時期不明1。	12- 8
＊	南、東九条西山王町	立	5 / 21・23	検出できず。	12- 60
九条三坊十一町	南、東九条北島丸町8-11	立	7 / 18	G L-0.95mにて鎌倉の包含層。	12- 120
九条三坊十四町	南、東九条北島丸町8-1	立	10 / 15	検出できず。	12- 215
九条四坊 四町	南、東九条上御堂町29	立	8 / 7	検出できず。	12- 140
＊	南、東九条上御堂町1	立	10 / 24	検出できず。	12- 219
九条四坊十五町	下、屋形町21	立	10 / 26	盛土のみ。	12- 224

太秦地区 (U Z)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
広沢古墳群	右、嵯峨広沢町地先	立	8 / 14	巡回時工事終了。	
東衣手町遺跡	右、西京極東衣手町55	試	12 / 7・8・10	G L-0.15mにて飛鳥期の合わせ口 要石墓。本文13ページ。	
常盤東ノ町古墳群	右、常盤窪町19	立	11 / 13	G L-0.62mにて時期不明の包含層。	
＊	右、常盤北家町一ノ内町地先	立	11 / 22・25 26・29, 12 / 12	検出できず。	
＊	右、常盤東ノ町16-3	試	12 / 6	G L-0.2m以下江戸の包含層2、 -0.55mにて時期不明の土壌1、敷地 西端で石敷遺構。	
＊	右、常盤東ノ町、一ノ井町、太秦一ノ井町、 他地先	立	12 / 25・26	G L-0.11m以下時期不明の踏面6。	
蛇塚古墳	右、太秦面影町20-26	立	5 / 15	巡回時工事終了。	
蜂岡寺跡	右、太秦多蔵町14-45	試	6 / 12	G L-0.1mにて室町の土壌1。	
＊	右、太秦西陣町9-33、41外	試	7 / 24	G L-0.4mにて古墳後期の包含層。	
一ノ井遺跡	右、太秦堀内町3-6	立	5 / 15	検出できず。	
＊	右、太秦一ノ井町33-104・105	立	7 / 9	G L-0.3mにて時期不明の包含層。	
井戸ヶ尻遺跡	右、太秦井戸ヶ尻町地先	立	6 / 3-12	G L-1.0mにて池状遺構。	
円乗寺跡	右、御室野町25-7・8・9	試	4 / 8	検出できず。	
＊	右、御室野町25-6	立	10 / 22	検出できず。	
＊	右、御室野町25-11	立	12 / 19	G L-0.25mにて時期不明の包含層。	
円教寺跡	右、花園天授ヶ岡町地先	立	4 / 1	検出できず。	
＊	右、龍安寺池ノ下町地先	立	4 / 5- 7 / 15	G L-0.2mにて平安中期の包含層。	
＊	右、花園天授ヶ岡町地先	立	7 / 9	巡回時工事終了。	
御堂ヶ池古墳群	右、梅ヶ畑向ノ地町26-11	立	9 / 5	検出できず。	
入道塚古墳	右、嵯峨大沢柳井手町27-1、28-1	立	9 / 20, 10 / 24	検出できず。	
大覚寺御所跡	右、太秦垂真山町1-76	立	11 / 5・13	検出できず。	
史跡・名勝・史跡	右、嵯峨天龍寺芒ノ馬場町40-9	試	8 / 2	G L-0.4mにて室町の包含層、 -0.55mにて室町前期の土壌、時期 不明の柱穴。	

洛北地区 (R H)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安京跡隣接地	上、七本松通管原町下る管原五丁目地先	立	4 / 16	G L-0.47mにて鎌倉の包含層。	4- 2
常盤井殿町遺跡	上、玄武町地先	立	8 / 2, 9 / 5	検出できず。	
相国寺旧境内	上、相国寺門前町	立	4 / 20	G L-0.6mにて室町の包含層。	

相国寺旧境内	上、烏丸通寺之内上る相国寺門前町647-23 烏丸中学校	立	7 / 18	G L—0.25m以下時期不明の包含層。	
+	上、今出川通寺町西入常盤井町地先	立	8 / 1・2	G L—0.4m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
室町殿跡	上、室町通今出川上る幕山南半町250	立	5 / 9・15	G L—0.9m以下室町後期・時期不明の包含層各1。	
+	上、烏丸通今出川上る西入岡松町254-1	試・立	7 / 26 ～31	G L—0.45m 室町後期の盛土層にて庭石3個、庭園遺構。本文30ページ。	
聚楽斎跡	上、大宮通笹町下る石薬師町地先	立	4 / 19	検出できず。	
+	上、大宮通一条上る西入東町663, 665	立	8 / 23	検出できず。	
紫野斎院跡	上、大宮通寺之内上る西入西千本町386	立	4 / 9	G L—0.58m以下土壌3、江戸1、時期不明2。	
一条室町殿	上、武者小路通室町西入武者小路町437	立	9 / 4	検出できず。	
+	上、室町通武者小路下る福長町526-1	立	9 / 27	G L—1.3mにて江戸の包含層。	
岩倉中在地遺跡	左、岩倉村松町70-1, 68-3	試	7 / 29	検出できず。	
栗橋野瓦窯跡	左、岩倉榎枝町666-1	立	6 / 19～ 21・27	G L—0.2m以下平安前期～中期の縁輪陶器窯跡の灰原、造法面に窯体の一部残存。本文21ページ。	
芝本瓦窯跡	左、松ヶ崎芝本町13-1・7～10他	立	12 / 6	検出できず。	
岩倉忠在地遺跡	左、岩倉忠在地町291-2, 286-1	立	5 / 15	盛土のみ。	
+	左、岩倉大鷲町	立	5 / 16	攪乱のみ。	
北野遺跡	北、平野宮本町71	立	7 / 25	検出できず。	
上賀茂遺跡	北、上賀茂土門町20	立	7 / 4	G L—0.13mにて室町の包含層。	
植物園北遺跡	北、上賀茂岩ヶ垣内町98	立	5 / 16	攪乱のみ。	13— 7
+	左、下鴨前萩町5-8	立	6 / 5	G L—0.25mにて時期不明の土壌。	13— 9
+	北、上賀茂畔跡町88-1	立	6 / 19	検出できず。	13— 10
+	北、上賀茂桜井町64	立	7 / 4・16	あげ土より五輪塔の一部露出。	13— 13
+	左、下鴨前萩町地先	立	7 / 19	G L—0.7mにて時期不明の包含層。	13— 16
+	北、上賀茂畔跡町88-1	立	8 / 13	G L—0.55mにて古墳前期の包含層。	13— 23
+	北、上賀茂向繩手町38	立	11 / 12-13	G L—0.65mにて古墳前期の竪穴住居址2。	13— 30
+	北、上賀茂豊田町34-1, 35-1	立	11 / 16-18	検出できず。	13— 31
+	左、下鴨水口町42	試	12 / 2	G L—0.2mにて時期不明の土壌2、柱穴2。	13— 32
+	北、上賀茂畔跡町地先	立	12 / 6	巡回時工事終了。	
北野庵寺	北、北野下白梅町24-1	立	8 / 5	G L—0.35m以下包含層5、平安4、時期不明1。	13— 33
+	北、北野紅梅町48	試	8 / 20	G L—1.2mにて室町の東西溝1、土壌1、時期不明の柱穴1。	
+	上、一条通紙屋川東入西町地先	立	12 / 10-13 16・17	攪乱のみ。	
+	北、北野上白梅町34-1	立	12 / 19～ 21	G L—0.8mにて平安中期の土壌。 本文25ページ。	
醍醐ノ森瓦窯跡	北、西賀茂中川上町200-3	立	9 / 17～ 21	調査済の醍醐ノ森瓦窯の燃焼室を再確認。	
角社瓦窯跡	北、西賀茂角社町37-7	立	9 / 5	盛土のみ。	
大徳寺境内	北、紫野上野山町39-10	立	6 / 27	検出できず。	

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
法成寺跡	上、荒神口通河原町東入亀屋町125	立	5 / 13	G L—0.75m以下時期不明の流れ地積。	
+	上、荒神口通河原町西入荒神町110-2	立	7 / 17	巡回時工事終了。	
+	上、荒神口通河原町西入荒神町110-1	立	7 / 17	G L—1.1mにて室町の包含層。	

法成寺跡 京都大学森田町406	上、荒神口通河原町西入下る上生洲町211地先 左、北白川西町	立 立	12/13・17 4/26	G L-0.5m以下時期不明の流れ堆積。 G L-0.57m以下包含層3、蓋町1、 時期不明2、-1.4mにて時期不明の 落ち込み。	
+	左、田中西橋/口町90	立	10/11	G L-0.75m以下包含層3、平安1、 重町2。	
一乗寺向畑町遺跡	左、一乗寺向畑町17-1, 19	試	11/27	1 T、G L-0.35mにて縄文後期・ 江戸の土壌各1、縄文後期以前のがら。 2 T、G L-0.5mにて平安中期・時 期不明の落ち込み各1。 3 T、G L-0.9mにて平安中期の柱 穴3、縄文の落ち込み。発掘調査に切 り換える。	
小倉町・別当町遺跡	左、北白川下別当町地先	立	5/10	巡回時工事終了。	
岡崎遺跡	左、岡崎東天王町1 岡崎中学校	立 立	10/15、 12/2	G L-0.14m以下時期不明の包含層2、 土壌。	13- 23
北白川麩寺	左、北白川上別当町11	立	7/30	検出できず。	
+	左、北白川山田町地先	立	10/9	検出できず。	
白河北殿跡	左、聖護院蓮華蔵町47	立	5/25	盛土のみ。	13- 7
白河南殿跡	左、聖護院蓮華蔵町9	立	4/25	G L-1.95mにて江戸の包含層。	13- 2
+	左、聖護院蓮華蔵町8	立	6/19	検出できず。	13- 9
尊勝寺跡	左、聖護院円頓寺町	立	7/25	検出できず。	13- 15
+	左、岡崎西天王町98	試	9/9・10	G L-0.2m以下江戸の溝6、平安前 期の土壌1、盤地層3、平安前期1、後 期2、発掘調査に切り換える。	13- 17
+	左、岡崎徳成町24	立	10/4	盛土のみ。	13- 20
+	左、聖護院円頓寺町45	立	12/27	G L-0.8mにて江戸の包含層。	13- 31
法勝寺跡	左、岡崎法勝寺町 京都市動物園	試	4/8	G L-1.18m以下平安後期・鎌倉の 包含層各1。	13- 1
+	左、岡崎東天王町1 岡崎中学校	立	8/20	G L-0.3mにて平安末期の包含層。	13- 16
+	左、岡崎法勝寺町113、113-5	立	12/6・7	G L-0.97m以下包含層4、江戸2、 時期不明2。	13- 28
白河街区	左、岡崎天王町79	立	5/10	G L-0.3mにて鎌倉の土壌。	13- 5
+	左、吉田中大路町31-42	立	6/15	盛土のみ。	13- 8
+	左、岡崎天王町16-1	立	6/26	検出できず。	13- 10
+	左、吉田近衛町1-13	立	7/18	G L-0.56mにて室町の土壌。	13- 13
+	左、大雷町96	立	9/30	盛土のみ。	13- 19
+	左、岡崎入江町53-4	立	10/18	検出できず。	13- 24
+	左、岡崎入江町44-4	立	10/21	検出できず。	13- 25
+	左、聖護院中町10	試	12/18	G L-0.5m以下平安・室町の包含層 各1。	13- 30
宝荘殿跡	左、下堤町94-7	試	9/30	G L-1.64mにて江戸の包含層。	13- 18
+	左、聖護院東寺頓町2	立	10/23	G L-1.35mにて江戸の包含層。	13- 26

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図番番号
平安京跡隣接地	下、西木瀬町通松原下る難波町406	立	7/13	G L-2.5m以下室町の遺物を含む流 れ堆積。	10- 32
法興院跡	中、河原町通二条上る清水町	立	5/15	盛土のみ。	
+	中、新橋木町通二条上る角倉町224	立	7/17	G L-0.25mにて時期不明の流れ堆 積。	
正覚寺跡	伏、深草輪成町7-1・2, 12-7	立	10/14	G L-0.35m以下江戸の包含層。	
中臣遺跡	山、勧修寺西栗園野町26-2, 28-3	試	4/2	G L-0.6mにて南北朝、弥生後期の 方形周溝墓。発掘調査に切り換える。	13- 2

中 匠 遺 跡	山、西野山中匠町15	立	4 / 24	盛土のみ。	13- 8
＊	山、勤修寺東栗橋野町3-7	立	5 / 17・23	検出できず。	13- 12
＊	山、勤修寺西金ヶ崎76	立	5 / 17	検出できず。	13- 13
＊	山、勤修寺東金ヶ崎20-2	試	5 / 27	G L-3.45m 以下時期不明の柱穴2、溝1。	13- 16
＊	山、西野山中匠町3	立	6 / 4・12	検出できず。	13- 20
＊	山、御辻番所ヶ口町18、19-1の一部	試	6 / 5	1 T、G L-1.16m にて縄文の包含層。	13- 21
＊				3 T、G L-1.2m にて弥生の壺穴住居址。	
＊	山、御辻番所ヶ口町38-1	立	6 / 12	盛土のみ。	13- 23
＊	山、東野舞台町地先	立	6 / 12	検出できず。	13- 24
＊	山、勤修寺西栗橋野町	立	6 / 28	巡回時工事終了。	13- 27
＊	山、勤修寺西金ヶ崎82	立	6 / 28	盛土のみ。	13- 28
＊	山、栗橋野草ノ木町19-8	立	8 / 6	検出できず。	13- 40
＊	山、栗橋野草ノ木町19-8	立	8 / 6	検出できず。	13- 41
＊	山、栗橋野草ノ木町19-8	立	8 / 6	検出できず。	13- 42
＊	山、栗橋野打越町5、6	試	8 / 23	検出できず。	13- 44
＊	山、御辻番所ヶ口町2-5、10-1	試	9 / 2	G L-1.62m 以下平安の包含層、縄文後期の湿地状堆積。	13- 46
＊	山、勤修寺西金ヶ崎89-6	立	10 / 5	巡回時工事終了。	13- 52
＊	山、栗橋野草ノ木町19-2	立	10 / 8	G L-0.3m にて時期不明の包含層。-0.5m にて時期不明の土壌。	13- 54
＊	山、勤修寺東金ヶ崎18-1	試	10 / 21	G L-2.53m にて時期不明の包含層。	13- 56
＊	山、勤修寺西金ヶ崎68-1	立	11 / 15	盛土のみ。	13- 63
大 宅 禰 寺	山、大宅中小路町地先	立	7 / 9	巡回時工事終了。	
山科本願寺跡	山、竹鼻サイカシ町地先	立	5 / 23	検出できず。	
＊	山、西野広見町42-1	立	10 / 28	検出できず。	
＊	山、東野百拍子町47	立	11 / 7	G L-1.4m にて時期不明の包含層。	
＊	山、西野今屋敷町9-6 安祥寺中学校	立	11 / 13	盛土のみ。	
勤修寺境内	山、勤修寺福岡町9の一部、11-7	試	6 / 10	検出できず。	
人摩親王山荘跡	山、安米東海道町16-2	立	6 / 24	検出できず。	
六波羅政庁跡	東、下堀跡町252-2	立	4 / 16	検出できず。	
＊	東、上梅屋町162	立	4 / 22	検出できず。	
＊	東、大蔵町地先	立	5 / 21・22	掘土のみ。	
＊	東、上新シ町382-3	立	5 / 25	検出できず。	
＊	東、妙法院前町422-1	立	7 / 8	盛土のみ。	
＊	東、下堀跡町256	立	7 / 15	検出できず。	
＊	東、正面町326-1-7	立	7 / 18	盛土のみ。	
＊	東、本町新五丁目163-3	立	7 / 24	検出できず。	
＊	東、大蔵町357-6	立	8 / 3	検出できず。	
＊	東、北御門町262	立	8 / 27	検出できず。	
＊	東、正面町314	立	9 / 7	検出できず。	
＊	東、金櫃町547	立	9 / 7	検出できず。	
＊	東、上堀跡町277	立	10 / 7	G L-1.1m 以下時期不明の流れ堆積。	
＊	東、芳野町91	立	11 / 13	盛土のみ。	
六波羅政庁跡隣接地	東、竹村町地先	立	5 / 9	検出できず。	
法住寺殿跡	東、泉涌寺東林町地先	立	4 / 1	検出できず。	
＊	東、上池田町541-2	試・立	4 / 11-19	G L-0.43m にて平安末～鎌倉初期の池の堆積。	
法性寺跡	東、本池田町530	立	4 / 9	検出できず。	
＊	東、今熊野雨日吉町2-18	立	4 / 15	検出できず。	
＊	東、今熊野宝蔵町62	立	4 / 30	検出できず。	
＊	東、泉涌寺門前町23	立	5 / 27	検出できず。	
＊	東、本町十五丁目755-1・3	立	5 / 31	検出できず。	

法 住 寺 跡	東、今熊野御ノ森町32-1	立	6 / 14	盛土のみ。	
＊	東、今熊野池田町6-27	立	7 / 8	盛土のみ。	
＊	東、今熊野南谷町地先	立	7 / 15-19	擾乱のみ。	
＊	東、泉通寺東林町17	立	8 / 6	検出できず。	
＊	東、今熊野御ノ森町45-12	立	8 / 9	検出できず。	
＊	東、本町十五丁目地先	立	9 / 19	GL-0.3m 以下時期不明の包含層。	
＊	東、本町十五丁目4	立	10 / 1	GL-0.2m にて時期不明の包含層。	
＊	伏、深草南明町5-15	立	10 / 5	検出できず。	
鳥 辺 野	東、上馬町地先～常盤町地先	立	11 / 6	GL-0.5m にて江戸後期の包含層。	
＊	東、上馬町536地先	立	11 / 13	擾乱のみ。	
＊	東、今熊野南日吉町57	立	12 / 17	盛土のみ。	

伏見・醍醐地区 (FD)

遺 跡 名	所 在 地	試・立	調 査 日	概 要	図版番号
極 楽 寺 跡	伏、深草野手町40-25	立	4 / 18	盛土のみ。	
＊	伏、深草野手町13	立	11 / 6	GL-0.38m にて時期不明の包含層。	
伏 見 城 跡	伏、桃山最上町9-2	立	4 / 5	GL-0.5m にて桃山の包含層。	
＊	伏、桃山町金森出雲地先	立	4 / 5・16	GL-0.27m 以下江戸・時期不明の包含層各1。	
＊	伏、相屋町190	立	4 / 10	GL-0.72m にて江戸の包含層。	
＊	伏、桃山町通山100-1他	試	5 / 21	検出できず。	
＊	伏、桃山町藤長老133-3	立	4 / 30, 5 / 18	盛土のみ。	
＊	伏、京町二丁目224-2	立	5 / 16	検出できず。	
＊	伏、東大手町718	立	5 / 28	検出できず。	
＊	伏、桃山井伊掃部西町23-5	立	6 / 14	盛土のみ。	
＊	伏、両替町二丁目349	立	7 / 5	検出できず。	
＊	伏、桃山羽架長吉中町24	立	7 / 5	盛土のみ。	
＊	伏、桃山水野左近東町81-1	立	7 / 17	検出できず。	
＊	伏、新町七丁目463-1	立	7 / 19	検出できず。	
＊	伏、丹後町711	立	7 / 23	盛土のみ。	
＊	伏、納屋町135-1	立	7 / 30	盛土のみ。	
＊	伏、新町六丁目465	立	8 / 3	検出できず。	
＊	伏、東大手町778	立	8 / 10	検出できず。	
＊	伏、肥後町359-1・3	立	8 / 15	検出できず。	
＊	伏、京橋町311	立	8 / 19	GL-1.2m にて池状堆積。	
＊	伏、新町六丁目470	立	8 / 30	検出できず。	
＊	伏、深草大亀谷万帖敷町169他	立	8 / 31	GL-0.15m にて時期不明の落ち込み。	
＊	伏、山崎町地先	立	9 / 9	検出できず。	
＊	伏、東組町698他	試	9 / 18	GL-0.6m 以下桃山～江戸後期の土壌16、整地層。発掘調査に切り換える。	
＊	伏、桃山筑前町1-2	立	9 / 20	GL-0.7m にて時期不明の包含層。	
＊	伏、指物町559	立	9 / 21	GL-0.45m にて江戸の包含層。	
＊	伏、深草墨染町5-9他	試	10 / 7	GL-0.5m にて江戸末期の土壌。	
＊	伏、桃山井伊掃部西町・京町南八丁目	立	10 / 7	検出できず。	
＊	伏、指物町574	立	10 / 7	検出できず。	
＊	伏、紙子屋町544	試	10 / 16	GL-1.3m にて時期不明の整地層。	
＊	伏、両替町十二丁目215-7	立	10 / 21	盛土のみ。	
＊	伏、桃山福島大夫北町28-10・39	立	10 / 28	盛土のみ。	
＊	伏、桃山富井伊賀西町25-5	立	11 / 7	盛土のみ。	
＊	伏、豊後橋町62-1 他6筆	試	11 / 11	GL-0.4m にて江戸前期の落ち込み。	
＊	伏、彈正町113	立	11 / 13	検出できず。	
＊	伏、納屋町135-5	立	12 / 14	検出できず。	

伏見城跡	伏、桃山町丹後地先	立	12/23	攪乱のみ。	
------	-----------	---	-------	-------	--

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
深草遺跡	伏、深草西浦町四丁目20	立	5/17	G L-0.54mにて時期不明の包含層。	
	伏、深草西浦町六丁目39-1	立	5/31	巡回時工事終了。	
	伏、深草西浦町四丁目33-4・5	立	9/11	検出できず。	
	伏、深草西浦町四丁目85-2	立	9/30	検出できず。	
	伏、深草西浦町三丁目57	立	10/16	検出できず。	
	伏、深草西浦町四丁目82	立	10/31	G L-1.2mにて江戸の包含層。	
	伏、深草西浦町三丁目3-55	立	10/31	検出できず。	
	伏、深草キトリ町33-1	立	12/7	G L-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	
鳥羽庭宮跡	伏、竹田橋ノ井町46	試	4/1	G L-0.66mにて平安後期の土壌2。	14- 1
	伏、竹田内畑町	立	4/8・9	G L-1.1mにて時期不明の包含層。	14- 2
	伏、竹田中畑町	立	4/8	検出できず。	14- 3
	伏、竹田内畑町48-2	立	4/15	盛土のみ。	14- 4
	伏、竹田内畑町83	立	5/16	盛土のみ。	14- 5
	伏、竹田内畑町11-1	立	5/17	検出できず。	14- 7
	伏、中島御所ノ内町37-2	試	5/27	G L-0.57m以下時期不明の流れ堆積。	14- 9
	伏、竹田内畑町91-2	試	6/21、 8/22	G L-0.62m以下建物基礎の掘り込み地盤。後に破壊される。	14- 12
	伏、竹田小屋ノ内町1-1	試	7/4	G L-1.9mにて平安後期の庭園遺構 庭石及び汀線。発掘調査に切り換える。	14- 13
	伏、中島宮ノ前町8-1	試	7/15	G L-0.78mにて平安中期の整地層。	14- 14
	伏、中島宮ノ前町24-1	試	7/22	検出できず。	14- 15
	伏、中島御所ノ内町27-9、12	立	7/22	G L-1.3m以下時期不明の流れ堆積。	14- 16
	伏、竹田小屋ノ内町76、72	試	8/1	G L-0.7mにて東へ落ちる池。	14- 17
	伏、中島中道町4-1、9-1	立	8/3・21	G L-0.65m以下池内堆積。	14- 18
	伏、竹田内畑町	立	8/21	G L-0.04mにて室町の包含層。 -0.29mにて鎌倉前期の池内堆積。	14- 20
	伏、竹田内畑町79地先	立	9/3	検出できず。	14- 21
	伏、竹田内畑町124	立	9/17	検出できず。	14- 23
	伏、竹田小屋ノ内町3-1	試	9/26	G L-1.0mにて南へ下る池跡、発掘調査に切り換える。	14- 24
	伏、竹田小屋ノ内町15、29 合併換地	試	9/27	G L-0.18mにて平安後期の包含層。	14- 25
	伏、竹田浄菩提院町36-4	立	10/31	巡回時工事終了。	14- 31
	伏、中島秋ノ山町27-1	試	11/1	1 T、G L-0.6mにて平安前期の整地層、北に落ち込む平安後期の池。 2 T、G L-1.0mにて庭石。発掘調査に切り換える。	14- 32
	伏、下鳥羽北ノ口町33-1	立	11/11	検出できず。	14- 33
伏、竹田小屋ノ内町地先	立	11/16	検出できず。	14- 34	
伏、中島宮ノ前町29-3・8、30-4、7-5	試	11/20	G L-0.3m以下鎌倉～室町の流れ堆積。	14- 35	
伏、竹田内畑町100、101-5、102-2地	立	11/22	検出できず。	14- 36	
伏、竹田小屋ノ内町43-3	試	11/25	G L-0.6m以下池内堆積。	14- 37	
伏、竹田中畑町27	立	12/3	盛土のみ。	14- 39	
伏、竹田橋ノ井町60	試	12/9	G L-0.37m以下時期不明の包含層2。	14- 41	
伏、竹田橋ノ井町63、63-5	試	12/11	G L-1.62m以下時期不明の流れ堆積。	14- 42	
伏、竹田橋ノ井町54-10	試	12/13	G L-0.65m以下時期不明の流れ堆積。	14- 43	

下鳥羽遺跡	伏、竹田弘ノ川町17、17-1、24	試	5 / 22	GL-1.1mにて江戸の溝。	14- 8
*	伏、下鳥羽城ノ越町100-2	立	6 / 8	巡回時工事終了。	14- 11
*	伏、寝小屋町70-2	立	8 / 8	検出できず。	14- 19
*	伏、竹田弘ノ川町地先	立	12 / 3	検出できず。	14- 38
*	伏、竹田弘ノ川町15	試	12 / 16	GL-0.47m以下時期不明の流れ堆積。	14- 44
西飯食町遺跡	伏、深草飯食町地先	立	10 / 22	擾乱のみ。	

南・桂地区 (MK)

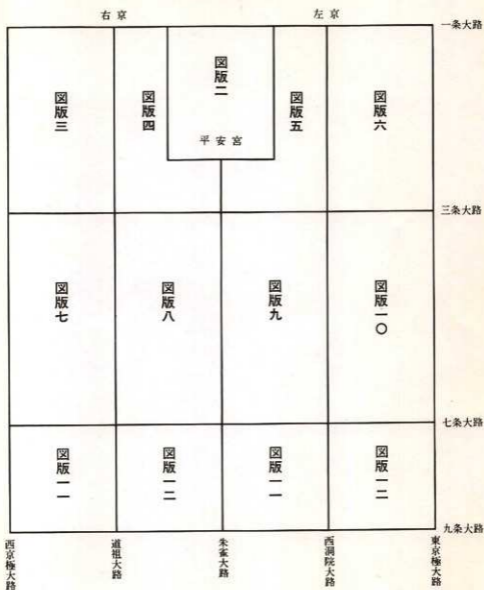
遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世中久町729	試	5 / 15	GL-2.1mにて時期不明の流れ堆積。	15- 1
*	南、久世中久世町五丁目71-1	立	8 / 7	検出できず。	15- 2
*	南、久世中久世町三丁目72-1、3	試	11 / 15	GL-0.25mにて弥生~平安の東西方向の河川。	15- 4
大蔵遺跡	南、久世大蔵町地先	立	11 / 13	検出できず。	15- 4
福西古墳群	西、大枝東長町・大枝中山町地先	立	10 / 12-24	検出できず。	

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	西、大原野上里鳥見町5-5	試	4 / 10	盛土のみ。	
*	伏、淀本町174-16	立	4 / 20	GL-0.9mにて時期不明の包含層。	
*	南、久世大蔵町552	試・立	4 / 22、 5 / 2-3	GL-0.35mにて長岡京期の南北溝1、柱穴2、溝は鑑定東三坊大路東側溝。→0.8mにて弥生後期の溝3。本文3ページ。	15- 3
*	伏、羽東師古川町189-1	試	5 / 9	GL-0.4mにて長岡京期の東西溝1、柱穴8、溝は鑑定四条第二小路北側溝。本文17ページ。	
*	伏、葎島渡嶋町32	立	5 / 16	巡回時工事終了。	
*	伏、久我東町8-35	立	5 / 27	GL-0.9mにて壱町の包含層。	
*	西、大原野上里紅藪町7-7	立	5 / 31	盛土のみ。	
*	伏、淀樋爪町104の一部、105の一部	試	6 / 5	GL-1.42m以下時期不明の湿地状堆積。	
*	伏、久我本町11-262、11-268	立	6 / 12	盛土のみ。	15- 10
*	伏、羽東師古川町306	立	7 / 23	GL-0.98mにて時期不明の路面。	
*	伏、羽東師古川町303	立	7 / 23	85-B-B-NG-11の東隣接地。	
*	南、久世大蔵町464-4、465-4	立	7 / 24	巡回時工事終了。	15- 13
*	南、久世東土川町200-61	立	7 / 30	盛土のみ。	15- 14
*	伏、納所妙徳寺24、25	立	8 / 14	巡回時工事終了。	
*	伏、淀池上町180-5・6・9	立	8 / 20	GL-1.05m以下淀城の堀の堆積。	
*	南、久世茶山町263	試	8 / 30	GL-1.23mにて時期不明の包含層。	15- 17
*	伏、淀本町174-45	立	8 / 30	GL-0.4mにて淀城の堀の堆積。	
*	西、大原野上里鳥見町地先	立	9 / 26、 10 / 2-12	擾乱のみ。	
*	伏、淀本町他	立	10 / 9	GL-0.8mにて時期不明の流れ堆積。	
*	伏、久我西出町2-20	試	10 / 23	GL-1.72mにて時期不明の包含層。	15- 21
*	伏、羽東師古川町293	試	11 / 5	GL-0.3m以下古墳前期・長岡京期の流れ堆積各1。	
*	南、久世大蔵町448地先	試	11 / 29	GL-0.34mにて鎌倉の柱穴6、江戸の溝2。	15- 23
*	南、久世東土川町200-93	立	11 / 30	検出できず。	15- 24
長岡京跡隣接地	南、久世茶山町212-1	立	5 / 28	盛土のみ。	15- 6

調査地点位置図

平安京図葉分割図



凡例

- | | | | |
|---|------------|---|------------|
| □ | 59年度試掘調査地点 | ■ | 60年度試掘調査地点 |
| △ | 59年度立会調査地点 | ▲ | 60年度立会調査地点 |

— — — — — 遺跡範囲

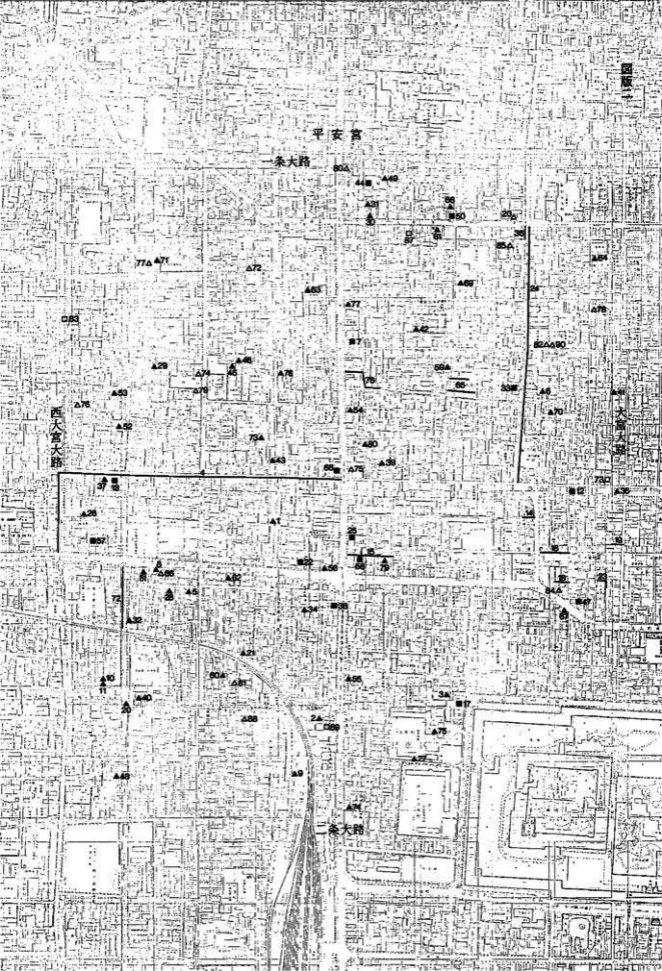
平安宮

一条大路

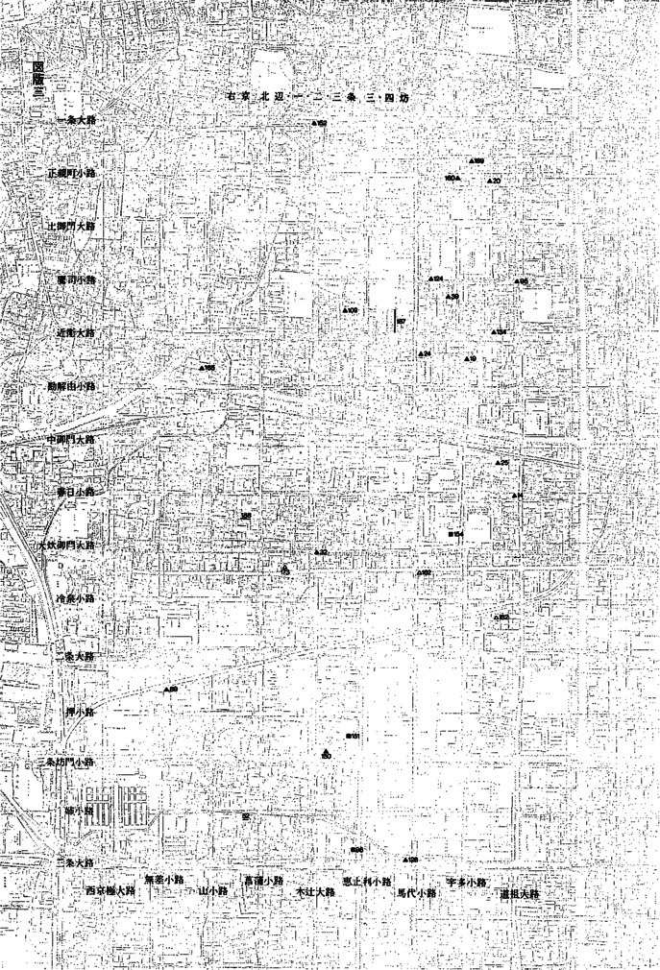
西大宮大路

大宮大路

二条大路



右京北辺一・二・三条三・四坊



西京區

一条大路

正藏門小路

止關門大路

喜町小路

通衢大路

應解由小路

中關門大路

春日小路

大伏前門大路

冷泉小路

香大路

押小路

桑門門小路

藤小路

三條大路

西京極大路

無差小路

山小路

高麗小路

木辻大路

惠正利小路

馬代小路

宇多小路

道根大路

右京北迎・一・二・三条 一・二筋

902

90AA00

一条大路

156

A36

正親町小路

30A 47

土御門大路

A77

蜜司小路

B94

A47

近衛大路

30A

A90

勘解由小路

A132

中門門大路

A93

春日小路

A6

A78

大炊御門大路

A84

冷泉小路

A90

A4

A97

10A

B93

30A

B9

30A

B9

A50

A92

A97

A97

A97

藏前大路

野寺小路

西堀川小路

西御門小路

西朱雀大路

西御門小路

星門大路

西坊城小路

東宮大路

一条大路

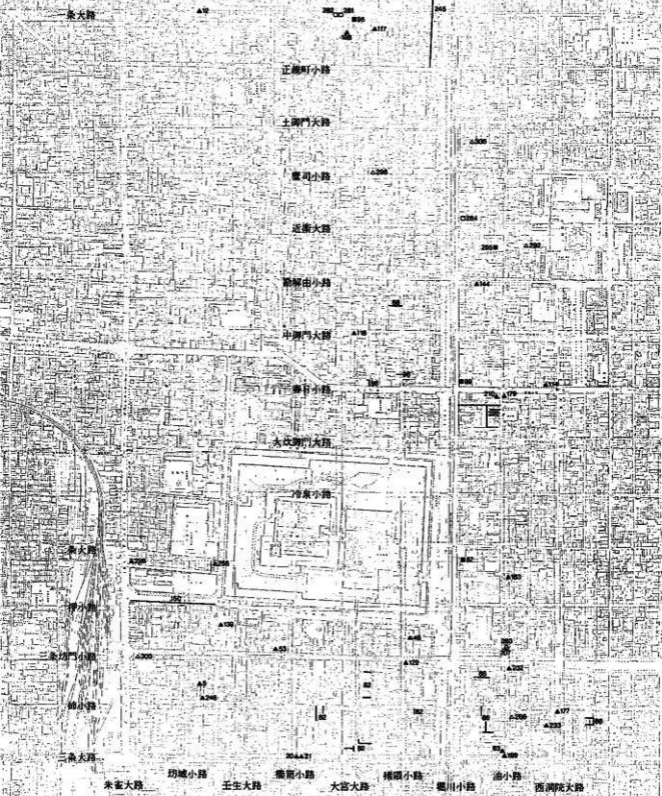
御小路

三条坊門小路

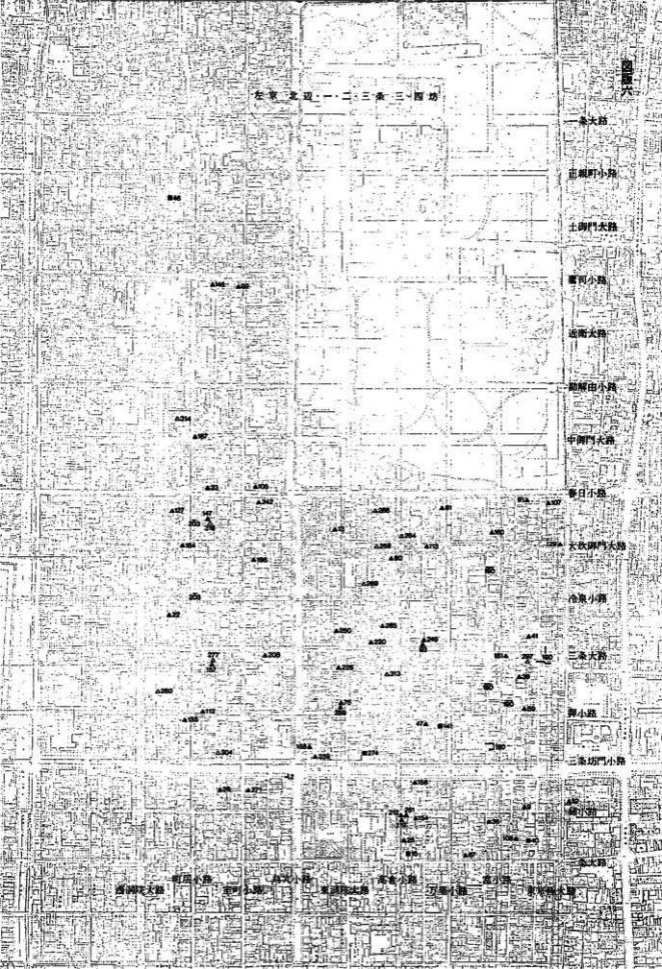
藤小路

二条大路

左京北邊一・二・三條一・二坊



左京北辺一・二・三条三・四坊



一宮大路

直親町小路

土御門大路

雷河小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

三条大路

舞小路

三条坊門小路

堀小路

堀大路

西御門大路

新屋小路

北門小路

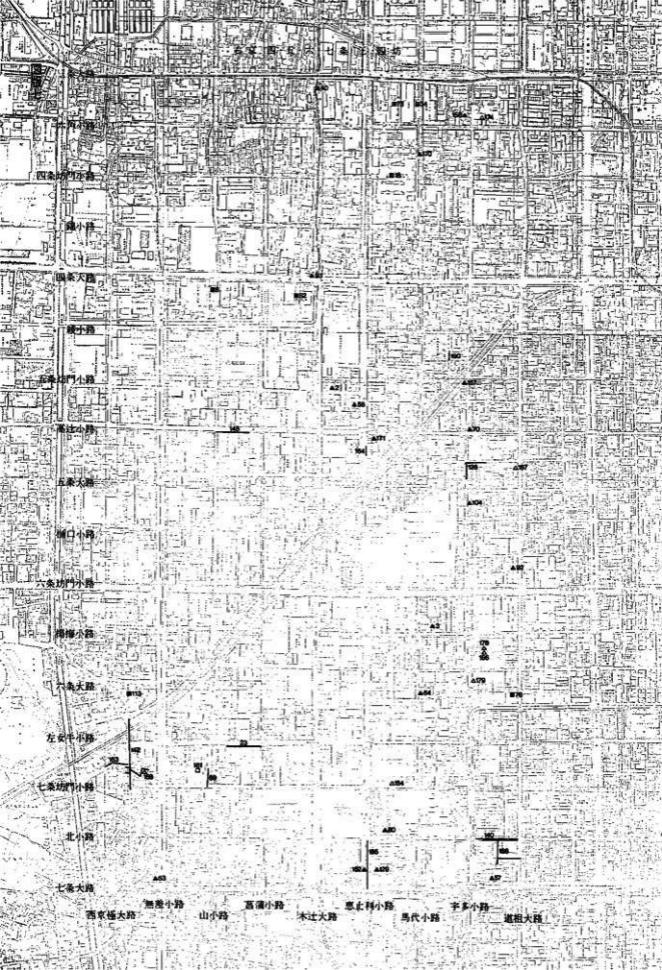
東御門大路

高倉小路

刀部小路

高倉

東御門小路



西安西大街 七象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

四象門大街

無名小路 山小路 高橋小路 木過大路 惠止利小路 馬代小路 千多小路

西家橋大路 道祖大路



右京 四五六七巷 二坊

三條大路
四條大路
六條大路

四條坊門小路
五條坊門小路

四條大路
五條大路

五條坊門小路
六條坊門小路

五條大路
六條大路

六條坊門小路
七條坊門小路

六條大路
七條大路

右女牛小路
北小路

七條大路

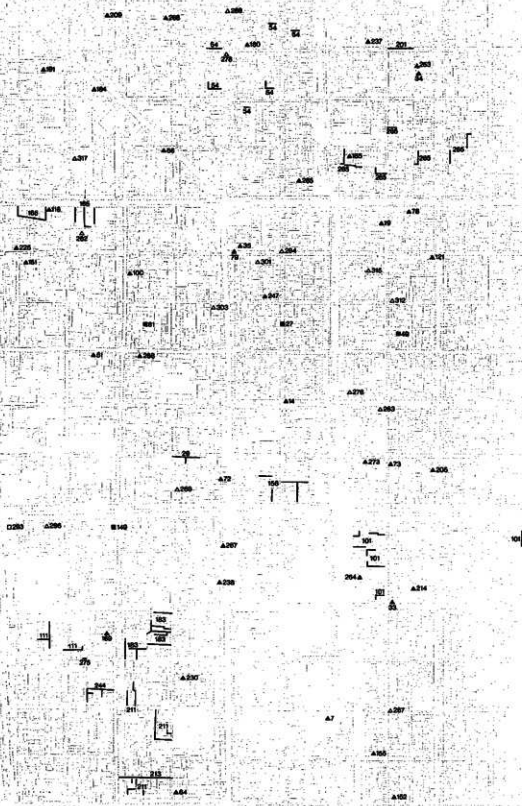
道祖大路 野寺小路 西堀川小路 西柳島小路 西橋筋小路 西太道大路 意橋門大路 西坊城小路 朱雀大路

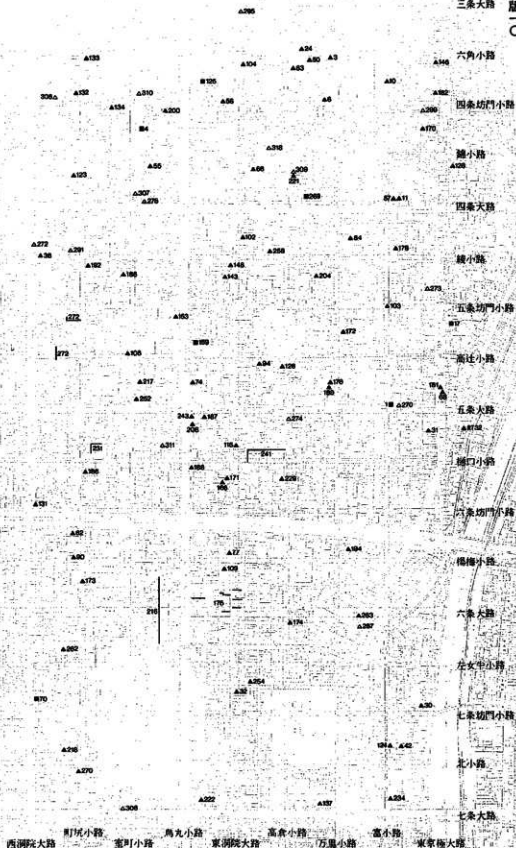
左京 四・五・六・七条 一・二坊

圖版九

三條大路
六角小路
四條坊門小路
錦小路
四條大路
錦小路
五條坊門小路
高辻小路
五條大路
橋口小路
六條坊門小路
櫻梅小路
六條大路
左女牛小路
七條坊門小路
北小路
七條大路

朱雀大路 坊城小路 壬生大路 備前小路 大宮大路 猪飼小路 堀川小路 油小路 西洞院大路





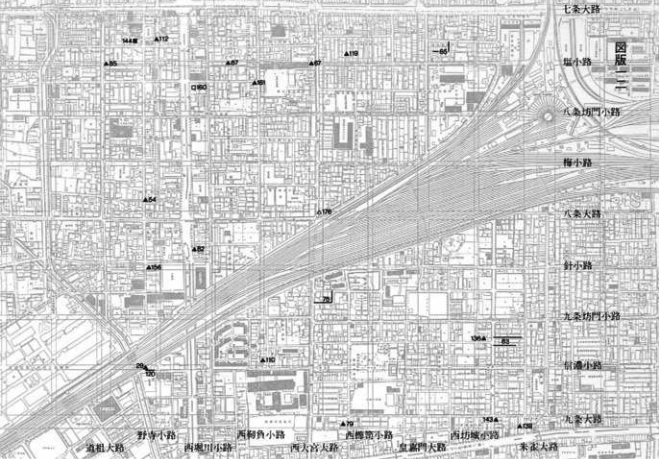
西洞院大路 町尻小路 馬丸小路 東洞院大路 高倉小路 万屋小路 高小路 東家極大路

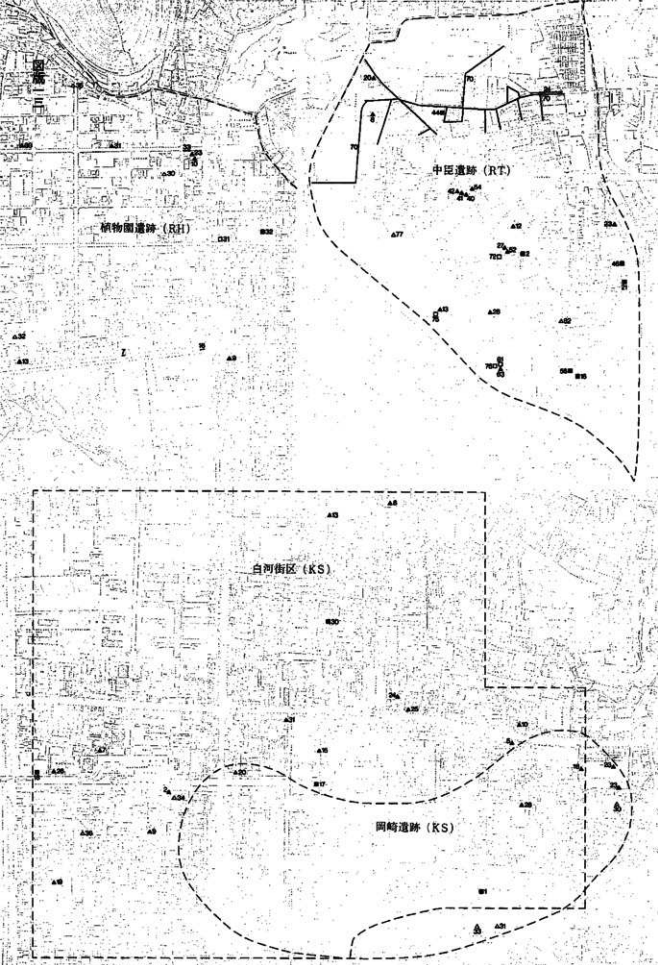
右京 八・九条 三・四坊

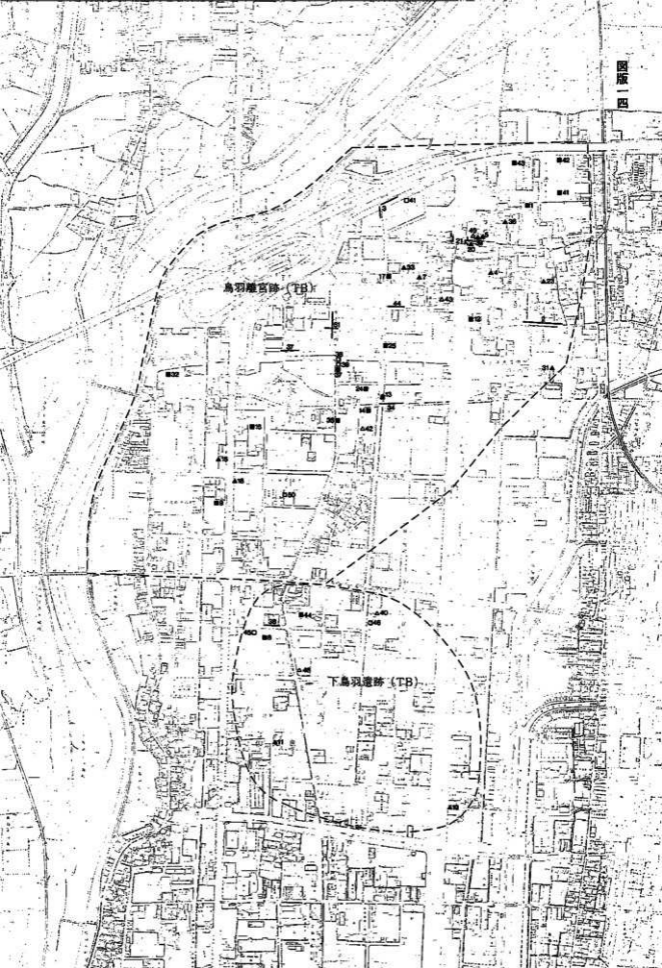


左京 八・九条 一・二坊











東土川道跡 (NC)

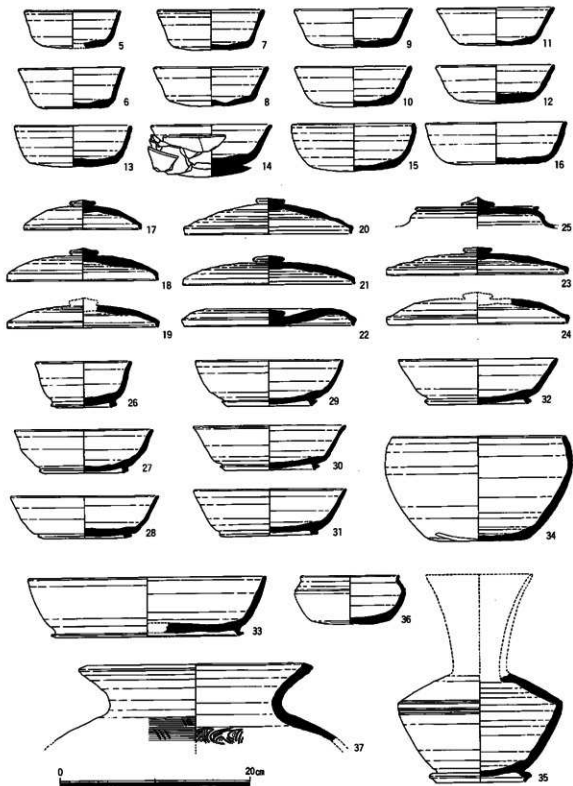
大坂道跡 (M)

長岡京道跡 (NG)

東土川道跡 (NC)







雙穴住居址出土須恵器



1 SD 1・5（南東から）



2 SD 6（北西から）



1 棺材の合わせ状況 (西北から)



2 甕棺墓全景 (西から)



1 遺跡全景 (北から)



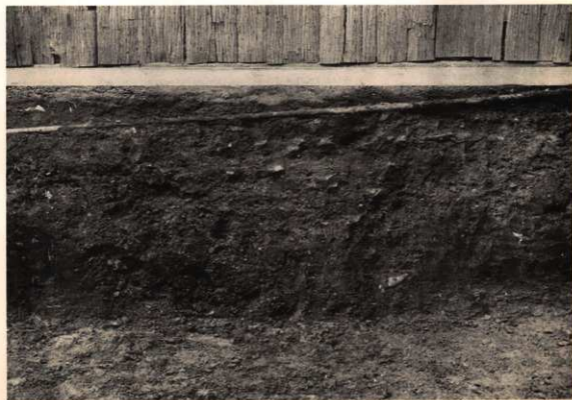
2 柱穴6 (北から)



3 柱穴3 土器出土状況 (北から)



1 13号窯 (南から)



2 SX4北壁断面 (南から)



1 遺跡全景 (南から)



2 庭石 (東から)



1 E地区東半全景(西から)



2 E地区西半全景(東から)



1 D地区全景(南東から)



2 F地区西半全景(東から)



1 E地区 251周辺全景（東から）



2 E地区 251竪穴住居址全景（南から）



弥生土器



10



13



15



2



17



14



18



北棺



南棺



10



11



13

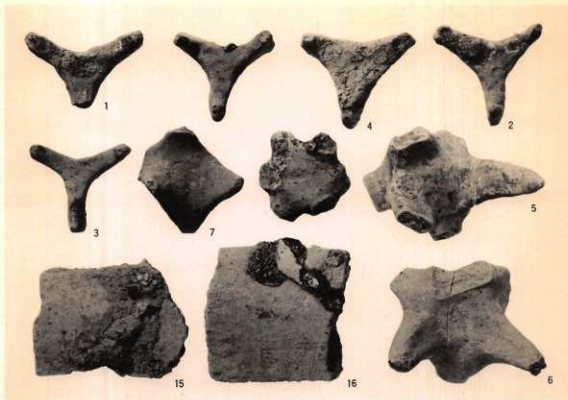


8



17

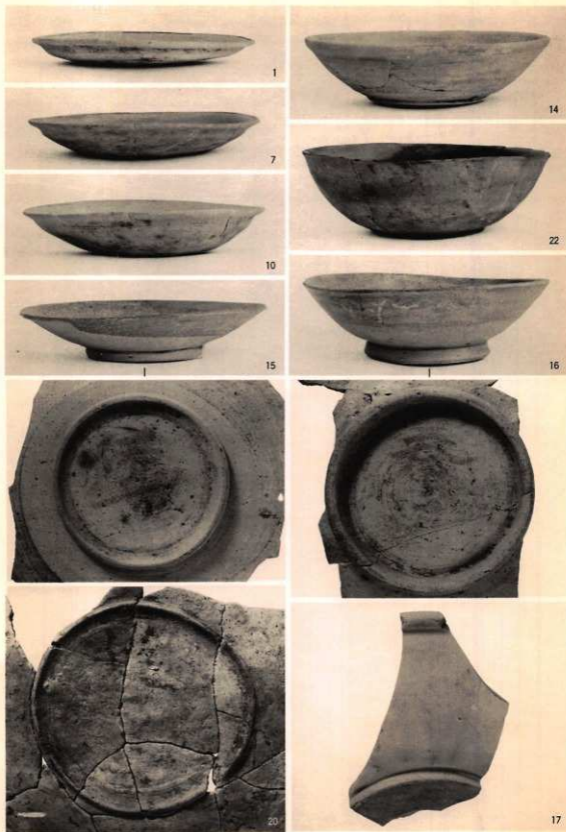
須恵器、緑釉陶器、軒瓦



1 窯道具類



2 緑釉陶器の素地



土師器、須恵器、灰釉陶器、黒色土器、白磁



22



27



23



28



34



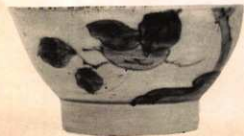
25



37



42



54



44



47



76



82



46



97



94



96



95



86



88



87



89



91



92



93



90



5



14



8



15



9



16



12



35



34



37



17



25



20



23



26



30



27



31



28



33

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和60年度

発行日 昭和61年3月31日

発行 京都市文化観光局

住所 京都市左京区岡崎最勝寺町13京都会馆内

編集 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

住所 京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL (075) 415-0521

印刷 真 陽 社

